TOSHIBA
Leading Innovation >>>

VARDIA

東芝ハイビジョンレコーダー取扱説明書

形名 RD-S1004K/RD-S304K

準備編

電源を「入」にしたとき
●電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。

本機の操作で「わからない」「困った!」そんなときは…

➡操作編の「困ったときの解決法」（193ページ）や「総合さくいん・用語解説」（207ページ）をご覧ください。

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー内蔵
ハイビジョンレコーダー

- 必ず最初に本書の**「安全上のご注意」**をお読みください。（➡6、7ページ）
- 本書では**「安全上のご注意」「接続」「設定」**などについて説明しています。

このたびは東芝ハイビジョンレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのハイビジョンレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

もくじと付属品の確認

本機を「楽しく」使っていただくために、「正しく」準備をすすめます。

重 要

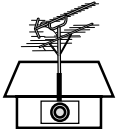
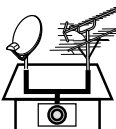
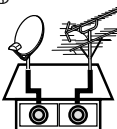
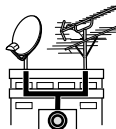
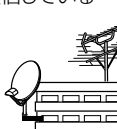
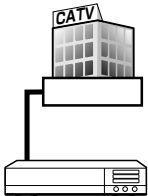
「安全上のご注意」「使用上のお願い」をよく読む

本機をお使いになる上で、大切なお知らせや注意などが書かれています。
必ずお読みください。

つぎに「接続」をします

接続 1

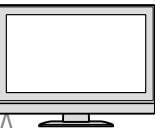
接続をする前に

アンテナ線やテレビと接続する前に、準備や確認をします。

接続 2

アンテナ線と接続する

番組を楽しんだり本機で録画するために、各放送波用アンテナ線と接続して、
放送を受信できるようにします。

アンテナの種類 設置やお使いのアンテナに合わせて選んでください。

お住まい独自でアンテナを設置している			マンションなど集合住宅の共聴アンテナを利用している		CATV（ケーブルテレビ）を利用している
地上放送(アナログ・デジタル)のみ受信している	地上放送（アナログ・デジタル）と、BS・110 度 CS デジタル放送を、同じアンテナ端子で受信している	地上放送（アナログ・デジタル）と、BS・110 度 CS デジタル放送を、別のアンテナ端子で受信している	地上放送（アナログ・デジタル）と、BS・110 度 CS デジタル放送を、同じアンテナ端子で受信している	地上放送（アナログ・デジタル）とは別に、BS・110 度 CS デジタル放送をお住まい独自のアンテナで受信している	
18 ページ	19 ページ	18 ページ	19 ページ	18 ページ	20 ページ

接続 3

テレビと接続する

テレビの映像・音声入力端子と接続して、録画した番組や市販の DVD ビデオ
などをテレビで見られるようにします。

テレビについている入力端子の種類 本機と接続するテレビの入力端子に合わせて選んでください。

HDMI 入力端子付きテレビと接続する	D 映像入力端子付きテレビと接続する	S1 映像入力端子付きテレビと接続する	映像（黄）入力端子付きテレビと接続する
22 ページ	23 ページ	23 ページ	23 ページ

接続 4

外部機器やネットワークなどに接続する

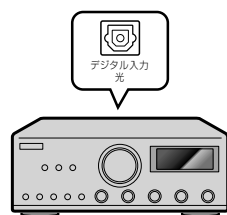
目的とお好みに応じて接続をします。
※本機のネットワーク機能には「e メールでの録画予約」や「パソコンから本機を操作する」などがあります。

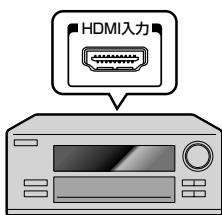
24 ページ

接続の目的

アンプなどのオーディオシステムを使って音声を楽しみたい

AV アンプと接続する

デジタル音声出力端子を使う

48 ページ

HDMI 端子付きアンプを経由する

49 ページ

本機のネットワーク機能を使いたい

ブロードバンド常時接続環境につなぐ（ネットワーク接続）

ご注意

放送波の受信が、以下の条件で「番組表」機能を使うには、ネットワークの接続が必要です。

①テレビ朝日系列非放送地域にお住まいで、地上アナログ放送の番組表を使いたい方
対象地域：富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、宮崎、徳島（2009 年 6 月現在）
②CATV やスカパー！などの外部チューナーの番組表を使いたい方

25 ページ

設定 1

「はじめての設定」をする前に

はじめての設定をする前に、リモコンを使えるようにしたり、本機の電源コードを接続するなどをします。

26 ページ

設定 2

「はじめての設定」をする

ご購入後、はじめて電源を入れると、はじめての設定画面が表示されます。
画面の指示にしたがって進むと、簡単に設定ができます。

28 ページ

準備完了

本機の使い方を知りたい

・基本的な操作を覚えたい！
・RD を使いこなしたい！

「操作編」をご覧ください

手持ちの機器でシステムアップ

・その他の機器と接続したい
・各アンテナ、本機やテレビに付いている入力／出力端子について知りたい

「その他の機器とつなぐ（応用の接続）」をご覧ください

43 ページ

・「はじめての設定」をやり直したい
・設定を個別に行ないたい

「詳しい設定をする（ 応用の設定)」をご覧ください

57 ページ

• 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
• 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なります。
• 本取扱説明書で説明しているイラスト、画面表示などは、例として表示してあります。

もくじと付属品の確認

その他の機器とつなぐ（応用の接続）

詳しい設定をする (応用の設定)

ご注意と参考資料

箱の中身を確かめる

□の中に、チェックマーク（✔）を付けてご確認ください。
欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■本体と付属品

□ 本体／1台	□ ワイヤレスリモコン／2本（単4形乾電池／4個）
RD-S1004K / RD-S304K	※小さいほうのリモコンは、「シンプルリモコン」といいます。基本的な操作が行なえます。大きいほうは「フルリモコン」といい、本機のすべての機能を操作できます。
□ 電源コード／1本	□ 同軸ケーブル（75 Ω）／1本
ご注意 電源コードは、他の製品への転用や、他の製品からの代用はしないでください。	
□ 映像・音声接続コード／1本	□ B-CAS カード／1枚
	※B-CAS カードはデジタル放送受信契約のための受信者 ID カードです。B-CAS カードは付属の説明紙についています。

●取扱説明書類

□ 本書（取扱説明書 準備編）／1 冊
□ 取扱説明書 操作編／1 冊
□ BS・110 度 CS デジタル放送受信契約申込書一式

テレビで映る地上アナログ放送局を確かめる

お使いのテレビでは、どの放送局（地上アナログ放送局）が何チャンネルで映り、リモコンのボタン番号が何番で切り換わりますか？下の表にメモしてください。

映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号	映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号
（例）NHK 総合	1CH ／ 1		

安全上のご注意 必ずお読みください。

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
禁止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

次のときは、ただちに電源プラグを抜くこと
- **煙が出ていたり、変なにおいがしたりするとき**
- **内部に水や異物がはいったとき**
- **落としたり、キャビネットを破損したとき**
- **電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。

電源コードは
- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**
- **他の電源コードは使用しないこと**
- **他の機器に使用しないこと**

火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れないこと
感電の原因となります。

時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること
電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。
また、接触不良による故障の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

電源プラグは交流 100V のコンセントに接続すること
交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置すること
万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。

修理・改造・分解はしないこと
火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと
火災・感電の原因となります。

上にものを置かないこと
金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

ディスクトレイなどから異物を入れないこと
金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

メモ 「安全上のご注意」をお読みになったあとは ➡「使用上のお願い」（94ページ）も「安全上のご注意」同様に、必ずお読みください。

⚠注意

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪い場所に置かないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これら通風孔とラックとの間は10cm以上離してください。

温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

高い場所に設置しないこと

本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎないこと

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

リモコンに使用している乾電池は、
- **●指定以外の乾電池は使用しないこと**
- **●極性［(＋) と (－)］を間違えて挿入しないこと**
- **●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと**
- **●乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと**
- **●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと**

これらを守らないと、液もれ･破裂などによって、やけど･けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

指示

移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずすこと

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

ディスクトレイに、手を入れないこと

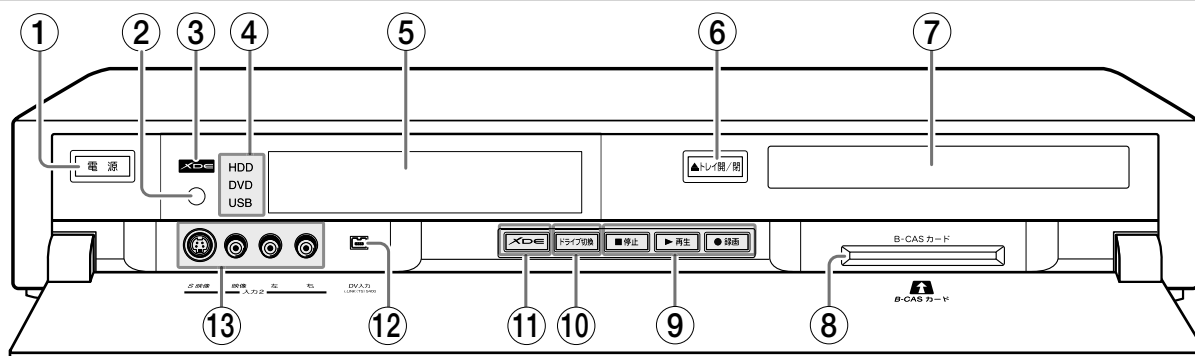
指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

確認と準備

各部のなまえとはたらき

本体前面

① **電源ボタン** ……………… ⇨26
本機の電源を入／切にします。

② **リモコン受光部** ……………… ⇨15

③ **XDE インジケーター**
本体の [XDE] やリモコンの [XDE] を押し、XDE 機能を「オン」にするとインジケーターが点灯します。「オフ」では消灯します。ボタンを押すたびに、「オン」と「オフ」が切り換わります。

④ **HDD/DVD/USB インジケーター**
選択されている側のインジケーターが点灯します。

⑤ **表示窓** ……………… ⇨右ページ

⑥ **トレイ開／閉ボタン**

⑦ **DVD ドライブのディスクトレイ**
DVD ドライブにディスクを入れます。

⑧ **B-CAS カードスロット** ……………… ⇨26
付属の B-CAS カードを挿入します。

⑨ **停止ボタン (■)**
再生や録画を停止します。
再生ボタン (▶)
再生を開始します。
録画ボタン (●)
録画を開始します。

⑩ **ドライブ切換ボタン**
ボタンを押して「内蔵 HDD」、「DVD ドライブ または USB HDD」を選択します。

⑪ **XDE ボタン**

⑫ **DV 入力端子**
デジタルビデオカメラなどからの映像・音声をダビングするときに使います。(RD-S1004K のみ)

⑬ **入力 2 端子**
カメラ一体型ビデオなどの外部機器から映像・音声をダビングするときに使います。

■電源を「入」または「切」した時の HDD/DVD/USB インジケーターの点灯・消灯や画面に表示されるアイコンについて

「入」のとき

HDD/DVD/USB インジケーター	
HDD または USB インジケーターが点灯します。	
画面に表示されるアイコン	
読込み中	ディスクの読み込み･録画終了時に表示されます。「読込み中」アイコンが消えると準備完了です。
準備中	電源を「入」にしたあと、しばらくすると接続したテレビなどの画面上に表示されます。本機が使えるまでの準備をしていますので、しばらくお待ちください。

「切」のとき

HDD/DVD/USB インジケーター	
HDD/DVD/USB インジケーターが消灯します。	
画面に表示されるアイコン	
処理中	ディスクの取出し・終了時に表示されます。画面上に「処理中」のアイコンが表示され、電源が切れて待機状態になります。

お知らせ

- 本体表示窓に「WAIT」と表示される場合は、本機内部で動作処理中です。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

■高速起動について

「高速起動にする」、または「高速起動設定」を「入」にすると、電源「切」状態から「入」にしたときに、通常よりも早く本体が起動します。
ただし、本機の状態によっては、高速起動にならない場合もあります。
設定方法は、⇨操作編 179 ページをご覧ください。

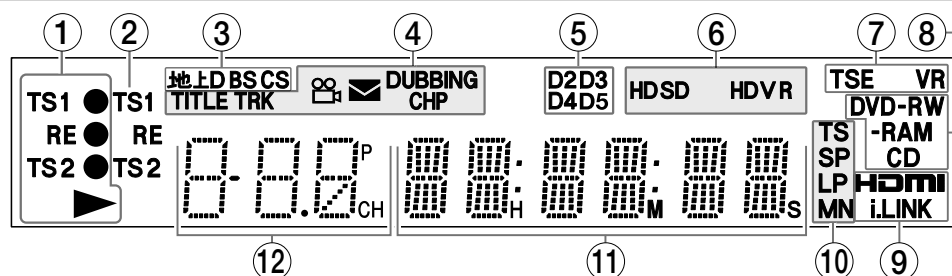
●高速起動中に表示されるアイコンについて

■ ▪ ▪ ▪ 高速起動しているときに表示されます。

お知らせ

- 設定メニューの【操作・表示設定】＞【画面表示設定】＞【スタートアップ】で「入：動画」または「入：メニュー」を選んでいても、高速起動時には表示されません。
- 待機時消費電力が若干増えます。

各部の名前や機能について説明しています。
詳しくは、⇨の参照ページをご覧ください。

表示窓

① HDD/DVD/USB 動作インジケーター
内蔵 HDD、DVD または USB HDD が動作しているときに点灯します。
TS1 ●内蔵 HDD または USB HDD で、TS1 で録画中に点灯します。●は、ダビング時に点滅します。
RE ●内蔵 HDD または USB HDD で、RE で録画中に点灯します。●は、ダビング時に点滅します。
TS2 ●内蔵 HDD または USB HDD で、TS2 で録画中に点灯します。
▶ 内蔵 HDD、DVD または USB HDD で再生中に点灯し、ダビング中は点滅します。

② W 録インジケーター
選択中の W 録（TS1、RE、TS2）が点灯します。
TS1 : TS1 を選択中に点灯します。
RE : RE を選択中に点灯します。
TS2 : TS2 を選択中に点灯します。

③ 放送メディア
選択中の放送メディアが点灯します。**地上アナログ放送を選んでいるときは何も点灯しません。**

④ TITLE（タイトル）表示
タイトル番号を表示しているときに点灯します。
TRK（トラック）表示
トラック番号を表示しているときに点灯します。
（アングルアイコン）表示
マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点滅します。
✉ お知らせインジケーター
未読のデジタル放送のお知らせ（放送局からのお知らせ／本機に関するお知らせ）があるときに点灯します。
DUBBING（ダビング）表示
ダビングしているときに点灯します。
CHP（チャプター）表示
チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑤ D 出力表示 ⇨47
D 端子／ HDMI の出力解像度が表示されます。
（D1（消灯）／ D2 ／ D3 ／ D4 ／ D5）

⑥ 記録フォーマット表示
ディスクトレイに入っているディスクの記録フォーマットが点灯します。
V : Video フォーマット　HDVR : HDVR フォーマット
VR : VR フォーマット
HD : TS 画質で解像度が HD（デジタルハイビジョン画質）
SD : TS 画質で解像度が SD（デジタル標準画質）
※TS または TSE での録画や再生ができる設定・状態のとき、HD と SD のどちらかが点灯します。
※DVD/USB 切換で USB が選ばれている場合は「HDVR」が表示され、ディスクトレイに入っているディスクの記録フォーマットは表示されません。

⑦ 動作中タイトル表示
今現在、録画、再生、ダビングをしているタイトルの種類が点灯します。
V : Video タイトル　TS : TS タイトル
VR : VR タイトル　TSE : TSE タイトル

⑧ ディスク表示
ディスクトレイに入っているディスクの種類が点灯します。
※DVD/USB 切換で USB が選ばれている場合は点灯しません。

⑨ HDMI 表示 ⇨47
HDMI 機器とのリンクが確立している場合に点灯します。
i.LINK 表示 ⇨49
i.LINK 接続が行なわれているときに点灯します。
(RD-S1004K のみ)

⑩ 録画モード表示
現在選ばれている録画モードが点灯します。
TS : トランスポート・ストリーム＝ HD/SD 画質
SP : スタンダード・プレイ＝標準
LP : ロング・プレイ＝長時間
MN : マニュアル＝任意
※AT のときは「MN」「SP」「LP」が同時に点灯します。

⑪ マルチ表示
現在の時刻、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

⑫ チャンネル表示
チャンネル、外部入力、タイトル番号、トラック番号などを表示します。

■表示窓に表示されている情報を切り換える

チャンネル表示、タイトル番号など、それぞれの表示をフルリモコンの [表示/時刻] で切り換えます。本機の状態によって表示が切り換わらなかったり、初期状態に戻ったり、切り換わり方が異なったりすることがあります。

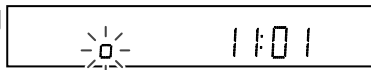
■表示窓の明るさを変える

電源「入」の状態で、フルリモコンの [表示/時刻] を約 3 秒以上押し続けるたびに、表示窓の明るさが切り換わります。

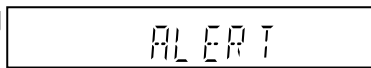
普通の明るさ → 減光 → 消灯 →（普通の明るさに戻る）

• 電源を入れ直すと、消灯の設定は解除されます（減光の設定は解除されません）。

■表示窓に「□」が点灯したら

表示例 　□　11:01

「□」が点灯しているときは、電源が「切」状態でも、番組表データの取得などで内部処理中であることを表します。
「□」が点灯中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になります。

■表示窓にメッセージが表示されたら

表示例 　ALERT

本体表示窓には、本機の状態を表すさまざまなメッセージが表示されます。
詳しくは⇨操作編 191 ページをご覧ください。

確認と準備・つづき

本体背面各部のなまえと、各端子のつなぎかた

■つなぐ場所を確認する（本機側）

アンテナ線やテレビとつなぐ場所は本体背面にあります。

冷却用ファン

冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
故障の原因となります。

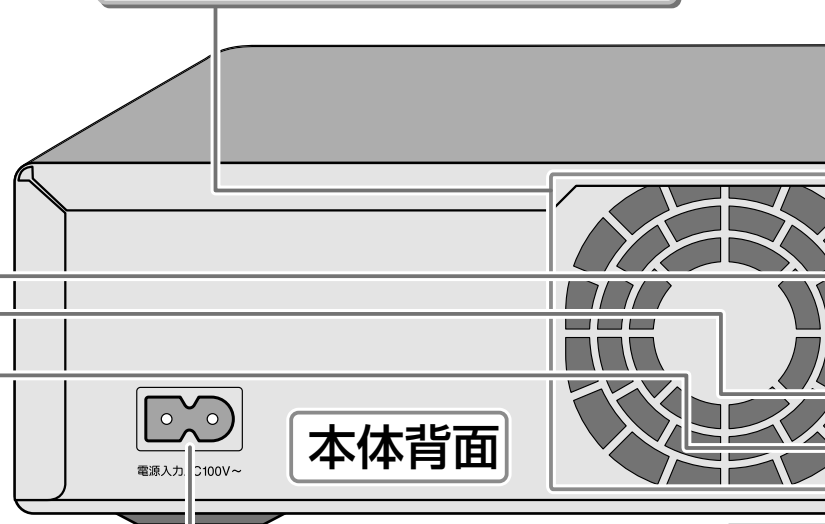
USB 端子 52ページ

録画や再生に使う USB HDD や、USB キーボードを接続します。

LAN 端子 25ページ

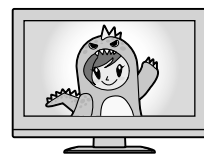
パソコンや、ネットワーク接続環境などと接続したいときに使います。

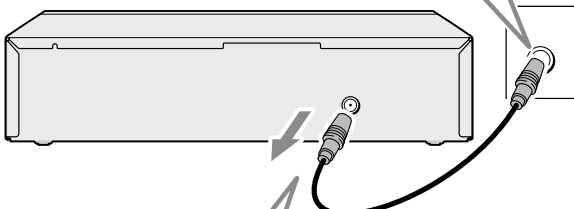
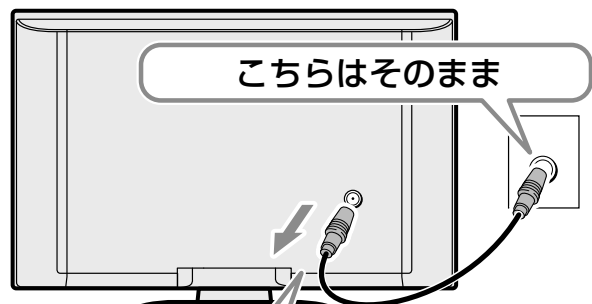
制御端子 21ページ

CATV 連動機能対応のケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックスを接続すると、CATV 連動機能が使えます。
※接続には専用のCATV 連動ケーブルが必要です。（形名：RD-CAC1（東芝））

電源入力端子 26ページ

付属の電源コードをつなぎます。アンテナ線やテレビなど、必要な接続が終わってからつないでください。
本機は番組表の情報などを通電状態（電源「入」／電源「切」）時に取得します。長期にわたって使用しないときなどを除いて、常時通電状態でお使いください。

HDMI 出力端子 22ページ

テレビの HDMI 入力端子につなぐときに使います。端子のなかでも一番おすすめで、きれいな映像と音声が楽しめます。
デジタルハイビジョン映像や音声を、他の端子よりも高品質※で楽しめます。
※つなぐテレビの性能にもよります。

■つなぐ場所を確認する（テレビ側）

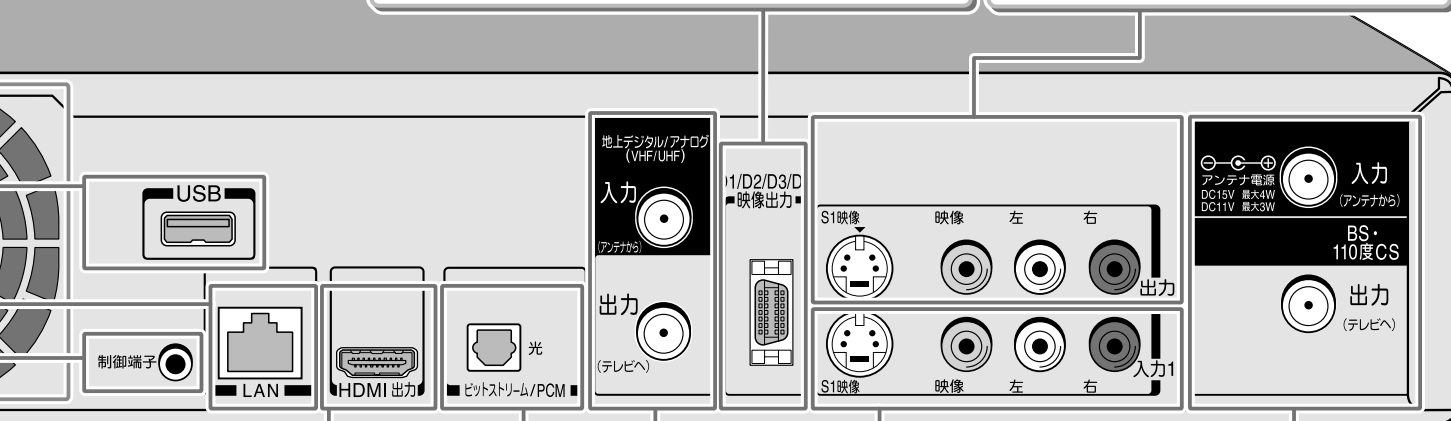
ビデオデッキやテレビなど、**アンテナ線のつながっている機器の電源を「切」の状態にします。**
電源プラグを先にコンセントから抜きます。そのあと、アンテナ線をはずします。

各部の名前や機能について説明しています。
詳しくは、⇨の参照ページをご覧ください。

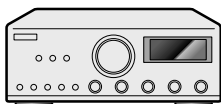
D1/D2/D3/D4 映像出力端子

テレビに D1/D2/D3/D4 端子があるときにつなぎます。 23ページ

映像（黄）や S1 端子よりも、きれいな映像でたのしめます。
音声は「出力」音声（赤・白）出力端子を使用します。

出力端子

映像・音声信号を出力します。
テレビの映像（黄）入力・音声（赤 / 白）入力端子や、S1 入力端子とつなぐときに使います。 20、23ページ

ビットストリーム / PCM（光）端子

デコーダ内蔵 AV アンプなどの、デジタル音声入力端子と接続します。 48ページ

地上デジタル / アナログ入力端子（上側）

今までテレビなどにつながっていた VHF/UHF アンテナ線（75Ω同軸ケーブル）をつなぎます。 18 ～ 20ページ

地上デジタル / アナログ出力端子（下側）

付属の同軸ケーブルまたは市販のアンテナ線（75Ω同軸ケーブル）で、テレビなどの地上デジタル / アナログ入力端子とつなぎます。 18 ～ 20ページ

入力 1 端子

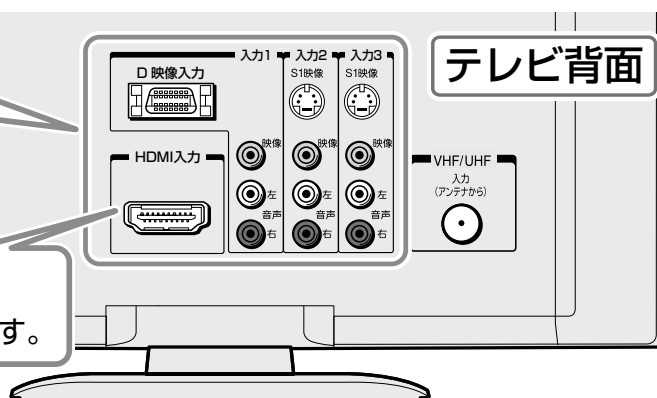
スカパー！チューナーやケーブルテレビ（CATV）のセットトップボックス、他のビデオデッキやカメラ一体型ビデオなどの外部機器の映像を録画したいときに、機器の映像・音声出力端子につなぎます。
※デジタル放送などのワイド映像を録画するには、S1 端子につないでください。ただし、外部機器の設定が正しくない場合や、映像端子（黄）でつないでいる場合は正しく動作しません。 20ページ

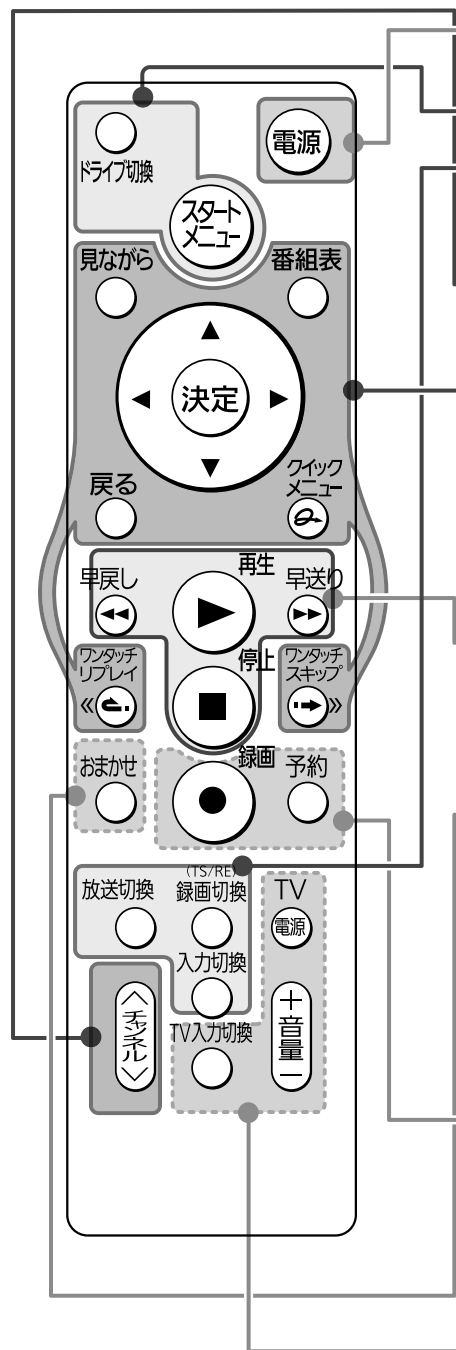
BS・110 度 CS 入力端子（上側）

BS・110 度 CS アンテナのアンテナ線（75Ω同軸ケーブル）をつなぎます。 18 ～ 20ページ

BS・110 度 CS 出力端子（下側）

BS・110 度 CS デジタル放送を見たり録画するときに、BS・110 度 CS デジタル放送のアンテナ線をつなぎます。 18 ～ 20ページ

映像・音声入力端子には、テレビで本機の映像を表示したり、音声を出す働きがあります。
お使いのテレビに**「HDMI 入力」**端子や**「D 入力」**端子があるときは、どちらかでつなぐのがおすすめです。

確認と準備・つづき

各部のなまえとはたらき：リモコン

本機の操作で、よく使うボタンです。

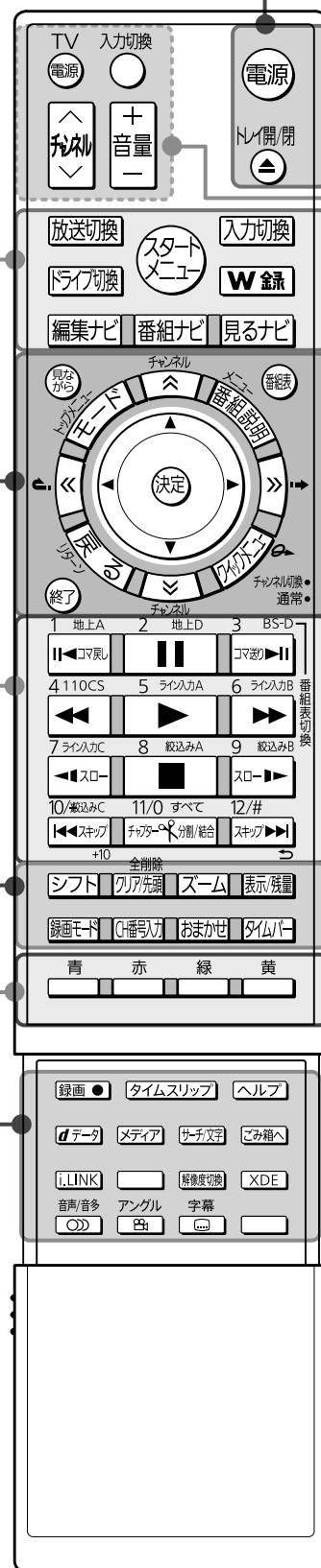
*1 市販の DVD ビデオディスクやファイナライズ済の DVD-R/RW（Video フォーマット）ディスク挿入時で、DVD ドライブが選択されているときは、それぞれ『トップメニュー』『メニュー』『リターン』として動作します。

リターンボタンとは？市販の DVD ビデオディスクなどで指定された画面に戻ります。ディスク側の説明書もご覧ください。

各部の名前や機能について説明しています。

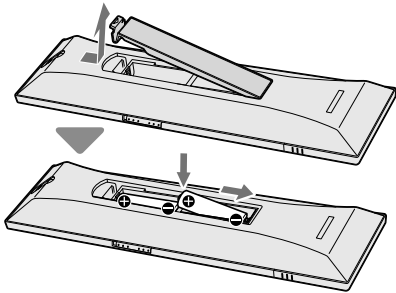
フルリモコンだけにあるボタン

ボタン	機能
トレイ開 / 閉ボタン	電源の「入」「切」や、ディスクの出し入れ
編集ナビ ボタン 番組ナビ ボタン 見るナビ ボタン W録 ボタン ：シンプルリモコンの録画切換 ボタンと同じ機能です。	いろいろ切り換えたいとき
終了ボタン 番組説明／メニュー [*1] ボタン モード／トップメニュー [*1] ボタン チャンネル切換／通常 スイッチ	テレビ放送を「見る」ときや「録画予約」するときなど、基本の操作はここだけでOK!
一時停止（II）ボタン コマ戻し／コマ送りボタン スロー ボタン スキップ ボタン チャプター分割／結合 ボタン	再生するときに便利な機能
シフト ボタン クリア／先頭／全削除 [*2] ボタン ズーム ボタン 表示／残量 ボタン 録画モード ボタン CH 番号入力 ボタン タイムバー ボタン	使いこなすと便利な機能
青ボタン [*3] 赤ボタン [*3] 緑 ボタン [*3] 黄 ボタン [*3]	データ放送や操作画面などで使います
タイムスリップ ボタン ヘルプ [*4] ボタン データ ボタン メディア ボタン サーチ / 文字 ボタン ごみ箱へ ボタン i.LINK ボタン [*5] 解像度切換 ボタン XDE ボタン 音声 / 音多 ボタン アングル ボタン 字幕 ボタン	その他の機能
TV チャンネル ボタン	テレビを操作するとき

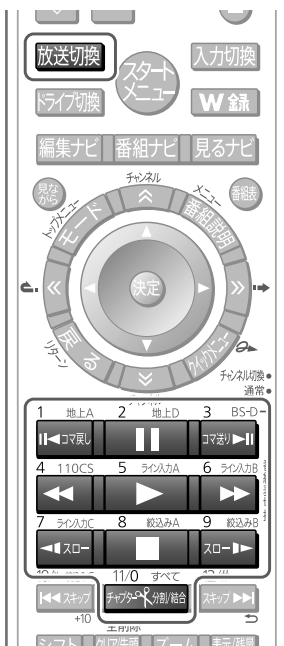
フルリモコン

*2 シフト を押しながら各ボタンを押すと、機能します。
*3 シフト を押しながら各ボタンを押すと、テレビ側の放送切換として機能します（対応していないテレビもあります）。⇒15 ページをご覧ください。
*4 ヘルプボタンについて
リモコンのボタンや、操作についての説明などを見ることができます。
*5 i.LINK ボタンは RD-S1004K のみ。

確認と準備・つづき

リモコンが使えるように準備する

乾電池を入れる

1. リモコン裏側のふたをはずす
2. 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように乾電池(単四形、2個)を入れる

本機のリモコンでお使いのテレビを操作できるようにする

シンプルリモコンの場合：
TV 電源 を押したまま、右の表の手順で入力(2ケタ)する。0から9の割り当ては、下の図を参照。

1. フルリモコンの 放送切換 を押したまま、お使いのテレビのメーカー番号を 11/0 チャプター分割/結合 (0) ～ 9 スロー (9)の番号ボタンで入力(2ケタ)する

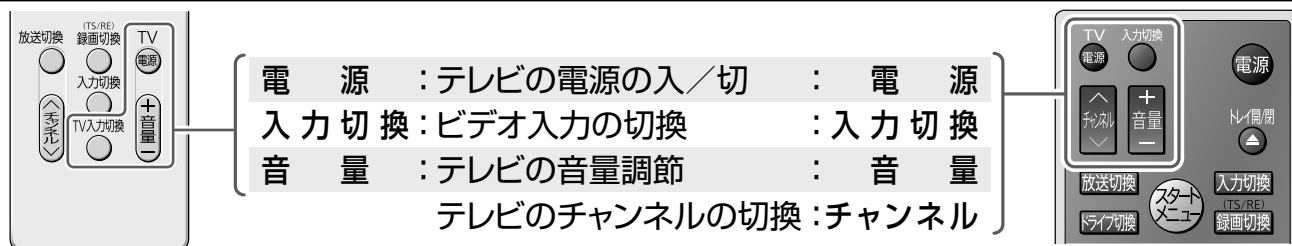
たとえば、東芝製のテレビなら 放送切換 を押したまま 11/0 チャプター分割/結合 → 11/0 チャプター分割/結合 を押します(11/0 チャプター分割/結合 は番号「0」です)。

対応するテレビメーカー	メーカー番号	シンプルリモコンの場合：
東芝	00 *	(TS/RE)録画切換 → (TS/RE)録画切換
パナソニック(松下) A	01 *	(TS/RE)録画切換 → 早戻し
パナソニック(松下) B	02	(TS/RE)録画切換 → 再生
日立	03 *	(TS/RE)録画切換 → 早送り
三菱	04	(TS/RE)録画切換 → ワンタッチリプレイ
シャープ A	05	(TS/RE)録画切換 → 停止
シャープ B	06 *	(TS/RE)録画切換 → ワンタッチスキップ
日本ビクター	07	(TS/RE)録画切換 → おまかせ
三洋 A	08	(TS/RE)録画切換 → 録画
三洋 B	09	(TS/RE)録画切換 → 予約
ソニー A	10 *	早戻し → (TS/RE)録画切換
ソニー B	11 *	早戻し → 早戻し
NEC	12	早戻し → 再生
富士通ゼネラル	13	早戻し → 早送り
パイオニア	14 *	早戻し → ワンタッチリプレイ
エプソン	15 *	早戻し → 停止

- 出荷時は東芝のテレビに設定しています。
- メーカーによっては、二つ以上の設定番号があります。その場合は、本機のリモコンで操作できるかどうか、一つずつ入力して試してみてください。
- 上記の表に記載の無いメーカーの場合、本機のリモコンを使ってのテレビ操作はできません。

2. 入力が終わったら 放送切換 から指をはなす

リモコンにメーカー番号が記録され、お使いのテレビが操作できるようになります。

■お使いのテレビで以下の操作ができるようになります

●フルリモコンなら、こんなこともできます

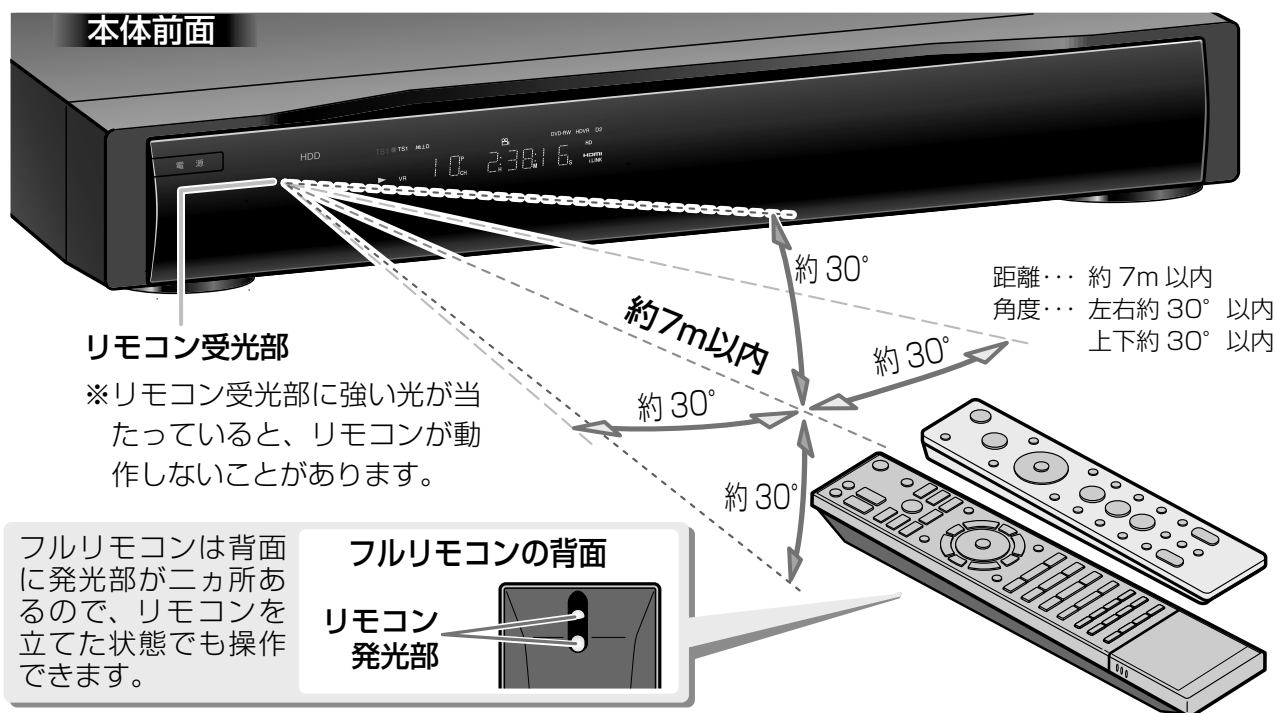
左ページの表で「メーカー番号」の後ろに「＊」の付いているメーカーのテレビをお使いの場合は、 シフト を押しながら以下の各ボタンを押すと、放送の種類を切り換えることができます。

- 青 ： 地上アナログ放送
- 赤 ： 地上デジタル放送
- 緑 ： BS デジタル放送
- 黄 ： 110 度 CS デジタル放送

ご注意 **電池の交換などをしたときは、再度メーカーコードを設定してください**

- 電池の交換など、電池が取りはずされると、メーカー番号は出荷時設定番号（00）に戻ります。その際は、テレビのメーカー番号を設定し直してください。
- **対応メーカーでも、テレビによっては本機のリモコンで操作できない場合や、一部操作できないボタンがあります。**

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

ご注意 **リモコンの取扱について**

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 動作しなかったり、到達距離が短くなったりしたときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。

基本の接続（アンテナとつなぐ）

地上デジタル放送の確認

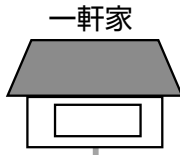
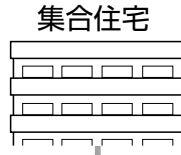
お住まいは一軒家ですか？マンションなどの集合住宅ですか？

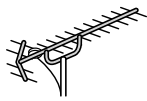
※ここでは例として屋外設置用の代表的なアンテナを掲載しています。これ以外に屋内用やベランダ設置用など、多様なアンテナが市販されています。

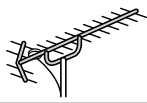
一軒家

または

集合住宅

【一軒家の場合】

お住まいの地域が地上デジタル放送が開始されていますか？
放送開始についてなどの確認を、下記の「地上デジタル放送の受信に関して」をご覧いただき、ご確認ください。

- 開始していない → 放送開始するまで地上デジタル放送はお楽しみいただけません。
- 開始している ↓

左図のような形状のアンテナ※が、家屋の屋根などに設置されていますか？
また、最近設置しましたか？

- 設置している → 本機とアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。（➡ 18 〜 20 ページ）
- 設置していない／わからない ↓

左図のような形状のアンテナ※が、ご近所の屋根などに設置されていますか？

- 設置している → 地上デジタル放送をお楽しみいただくには、対応のアンテナを設置する必要があります。
  - ●設置に関しては、販売店や、設置業者などにご相談ください。
- 設置していない／わからない ↓

お住まいの地域が「難視聴地域」である可能性があります。お住まいの市（町、村）役所などに難視聴地域であるかどうかを、ご確認ください。
「難視聴地域」の場合、CATV 会社とのご契約が必要になることがあります。その点などもご確認ください。
難視聴地域でない場合は、地上デジタル放送対応のアンテナを設置する必要があります。
●設置に関しては、販売店や、設置業者などにご相談ください。

【集合住宅の場合】

管理会社などに、建物が「地上デジタル放送に対応」しているかどうかをご確認ください。
また、お住まいの地域が地上デジタル放送が開始されているかも、ご確認ください。

- 開始されている → 本機とアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。（➡ 18 〜 20 ページ）
- 地域が開始されていない → 放送が開始されるまで地上デジタル放送はお楽しみいただけません。
  - ●放送開始についてなどの確認は、下記の「地上デジタル放送の受信に関して」をご覧ください。
- 地域は開始されているが、建物が対応していない → 地上デジタル放送をお楽しみいただくには、個人で対応のアンテナを設置する必要があります。
  - ●設置に関しては、販売店や、設置業者などにご相談ください。

●地上デジタル放送の受信に関して

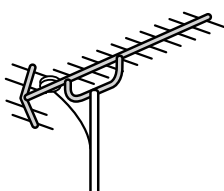
地上デジタル放送の放送開始地域かなどを、以下のホームページまたはお電話にてご確認いただけます。（以下は 2009 年 6 月現在の情報です。）

- 社団法人デジタル放送推進協会（ホームページ／ http://dpa.or.jp/）
- 総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
  (ホームページ http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html)
  ナビダイヤル…0570-07-0101 ／ IP 電話などでつながらない方は…03-4334-1111

平日	午前 9 時〜午後 9 時	土曜、日曜、祝日	午前 9 時〜午後 6 時

地上デジタル放送対応アンテナの設置などについては、販売店や設定業者にご相談ください。

地上デジタル放送対応 UHF アンテナ※

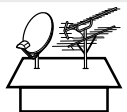
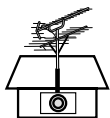
●地上デジタル放送をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。
電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

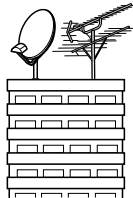
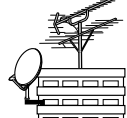
- 地上デジタル放送に対応しているかご確認ください。対応している場合はご使用中のアンテナで受信できますが、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要です。地上デジタル放送に対応していない場合は、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。
- 本機のアンテナ入力端子への接続は、必ず付属の同軸ケーブルか、地上デジタル対応の同軸ケーブル（市販品）をお使いください。
- アンテナ線はほかの電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 設置および接続が正しく行なわれていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、発信基地が遠距離のため電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。

接続のながれ

お使いの環境に合わせて、□の中に「✓」を付けておくと、あとで確認するときに便利です。

1 アンテナをつなぐ　お使いのアンテナに合わせて選んでください。

お住まい独自でアンテナを設置している

- 地上放送（アナログ・デジタル）のみ受信している □ 18ページ
- 地上放送（アナログ・デジタル）と、BS・110 度 CS デジタル放送を、同じアンテナ端子で受信している □ 19ページ
- 地上放送（アナログ・デジタル）と、BS・110 度 CS デジタル放送を、別のアンテナ端子で受信している □ 18ページ

マンションなど集合住宅の共聴アンテナを利用している

- □ 19ページ
- 地上放送（アナログ・デジタル）とは別に、BS・110 度 CS デジタル放送をお住まい独自のアンテナで受信している □ 18ページ

CATV（ケーブルテレビ）を利用している

CATV

CATV のホームターミナル／セットトップボックス

□ 20ページ

2 テレビにつなぐ　お使いのテレビに合わせて選んでください。

- HDMI 端子で接続 □ 22ページ
- D 端子で接続 □ 23ページ
- S 端子で接続 □ 23ページ
- 映像（黄）端子で接続 □ 23ページ

3 ～ 4 は、用途とお好みに応じて行なってください

3 ブロードバンド常時接続環境につなぐ　本機のネットワーク機能（➡24 ページ）を使いたい方は、接続してください。

□ 25ページ

4 オーディオシステムや i.LINK 端子付き機器などの外部機器とつなぐ

□ 48、49ページ

接続は完了です。「はじめての設定」をする前に（➡26 ページ）へすすみます

つなぐときの注意

●接続するまえに電源プラグをコンセントから抜いてください

接続するときは、必ず本機および接続するテレビやモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください（➡26 ページ）。

●テレビから外したアンテナ線形状、コネクター部分が以下のようなとき

地上デジタル放送用アンテナと接続には、同軸ケーブルをおすすめします。

- 平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。

今まで使っていた、または市販の同軸ケーブルが F 型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。

同軸ケーブル（付属品）のプラグ部分がテレビなどの VHF/UHF 端子と合わないことがあります。その場合は、端子に合った市販の同軸ケーブルをお買い求めください。

●BS・110度CSデジタル放送共通アンテナをつないだとき

BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナは、電源の供給が必要です。本機の「BS・110 度 CS アンテナ電源設定」をします（➡70 ページ）。

各放送波用のアンテナについて詳しくは、➡「アンテナやテレビと接続するときのヒント」（44 ージ）をご覧ください。

基本の接続（アンテナとつなぐ）・つづき

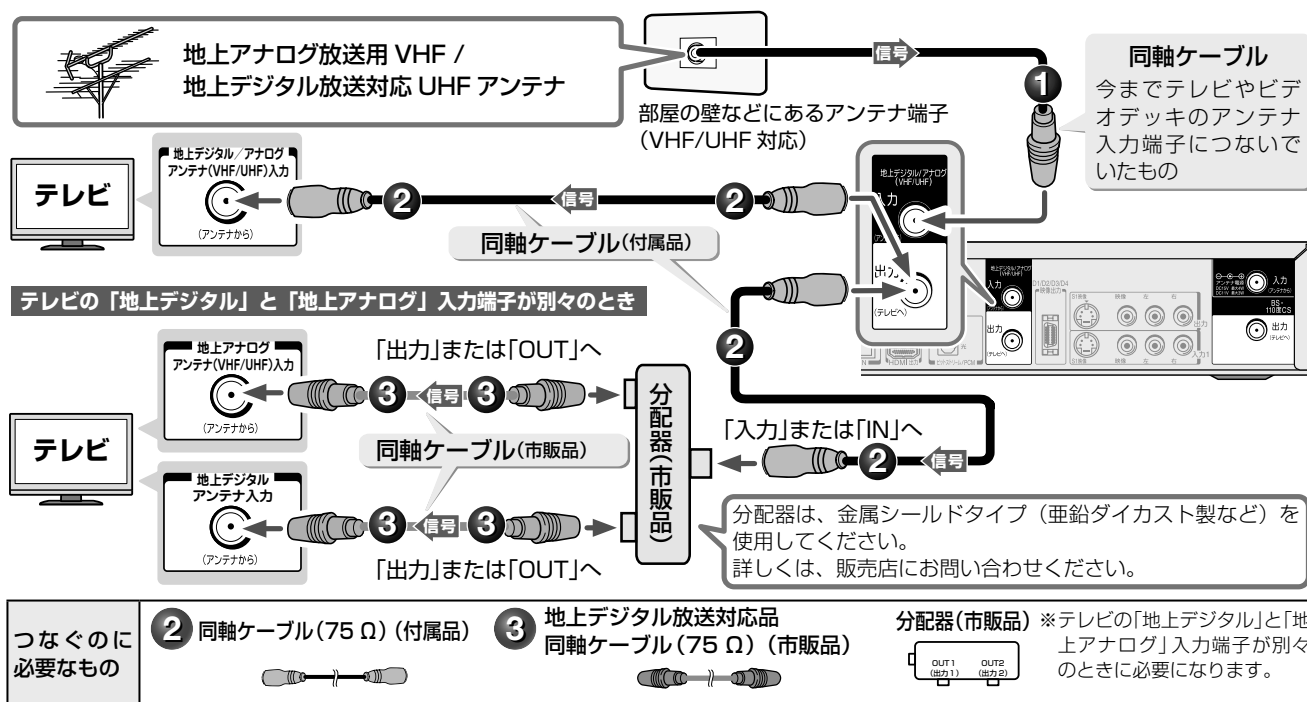
アンテナ線をつなぐ

※本機からテレビなどのアンテナ入力へつながない場合は、⇨71 ページをご覧ください。

❶などの番号は、接続する手順を表します。はずすときは、逆の手順ではずします。

「接続例A」地上デジタル・地上アナログ放送のアンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送、地上アナログ放送を見たり録画するために、必要なアンテナとつなぎます。本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

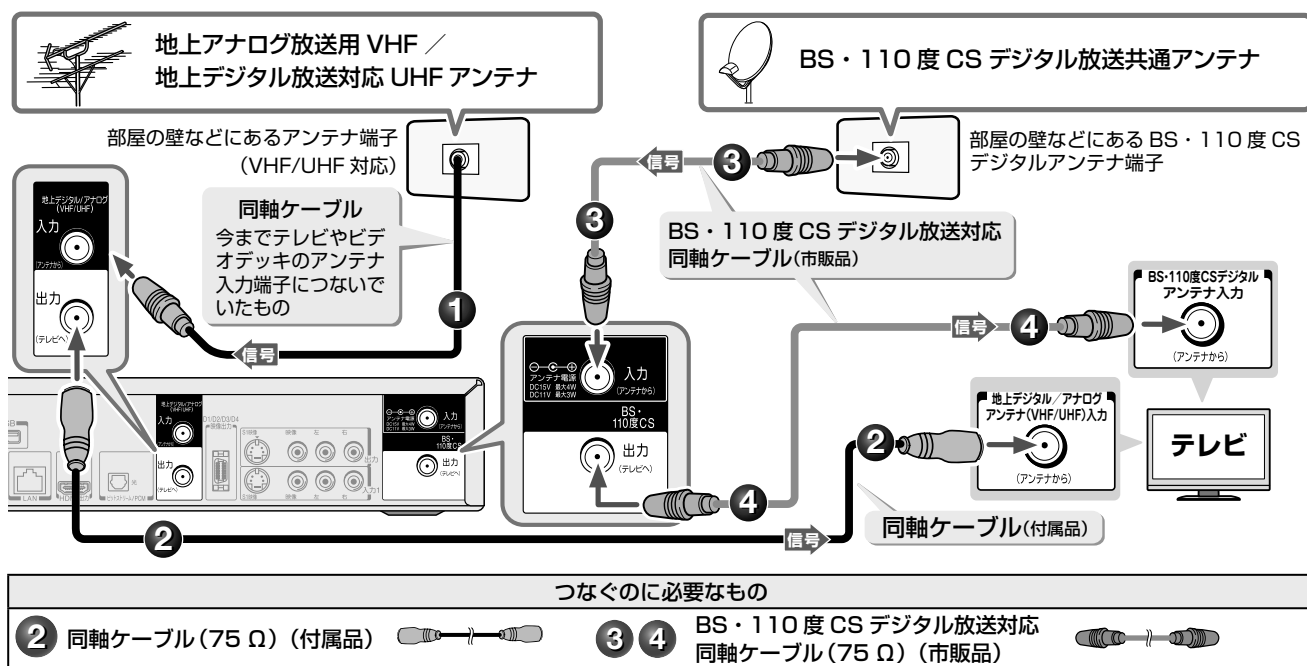
つなぐのに必要なもの	❷ 同軸ケーブル（75 Ω）（付属品）	❸ 地上デジタル放送対応品 同軸ケーブル（75 Ω）（市販品）	分配器（市販品） ※テレビの「地上デジタル」と「地上アナログ」入力端子が別々のときに必要になります。

「接続例B-1」地上デジタル・地上アナログ放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送・地上アナログ放送や、BS・110 度 CS デジタル放送を見たり録画するために、必要なアンテナとつなぎます。本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

BS・110 度 CS デジタル放送対応アンテナを別に取り付けている場合

つなぐのに必要なもの	
❷ 同軸ケーブル（75 Ω）（付属品）	❸❹ BS・110 度 CS デジタル放送対応 同軸ケーブル（75 Ω）（市販品）

「接続例B-2」地上デジタル・地上アナログ放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送・地上アナログ放送や、BS・110 度 CS デジタル放送を見たり録画するために、必要なアンテナとつなぎます。本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

各放送波の信号が混合されているときやマンションなどの共同受信の場合

つなぐのに必要なもの	❸ 同軸ケーブル（75 Ω）（付属品）	❶❹❺ BS・110 度 CS デジタル放送対応同軸ケーブル（75 Ω）（市販品）	BS・110 度 U/V 分波器・分配器（市販品）

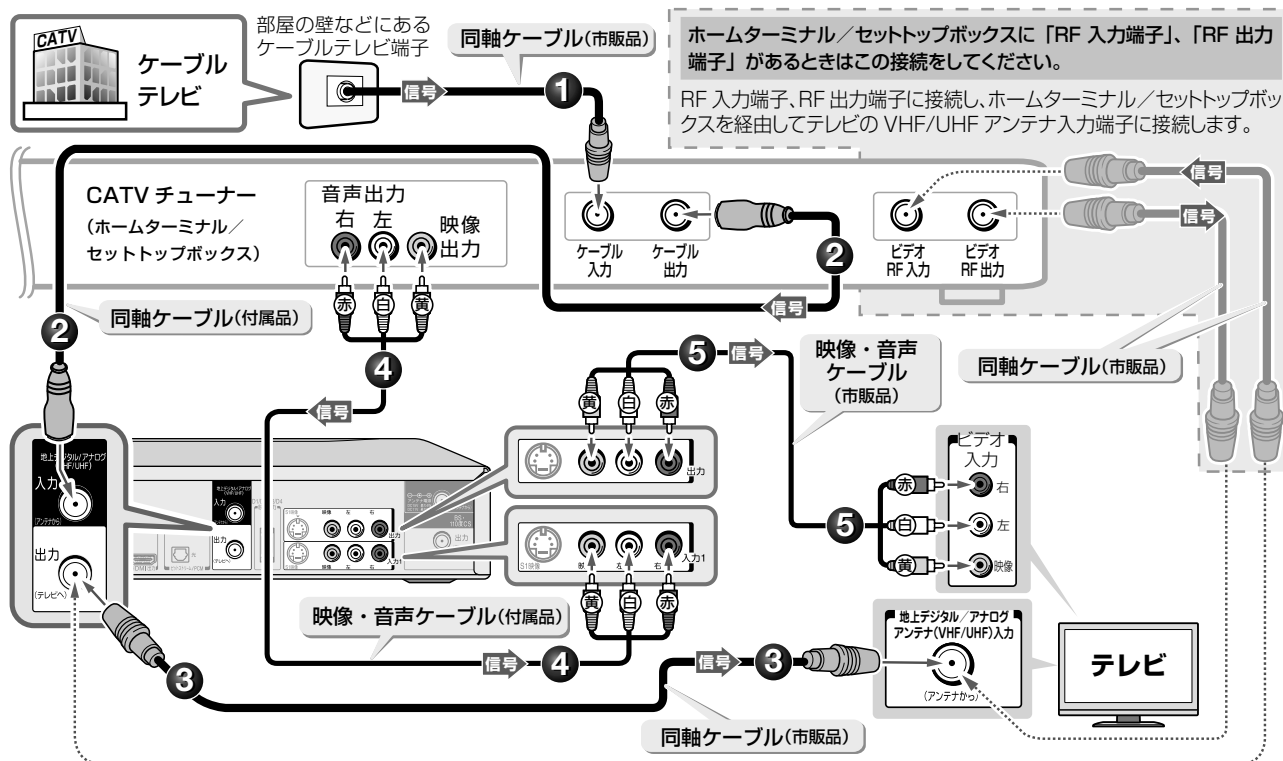
メモ

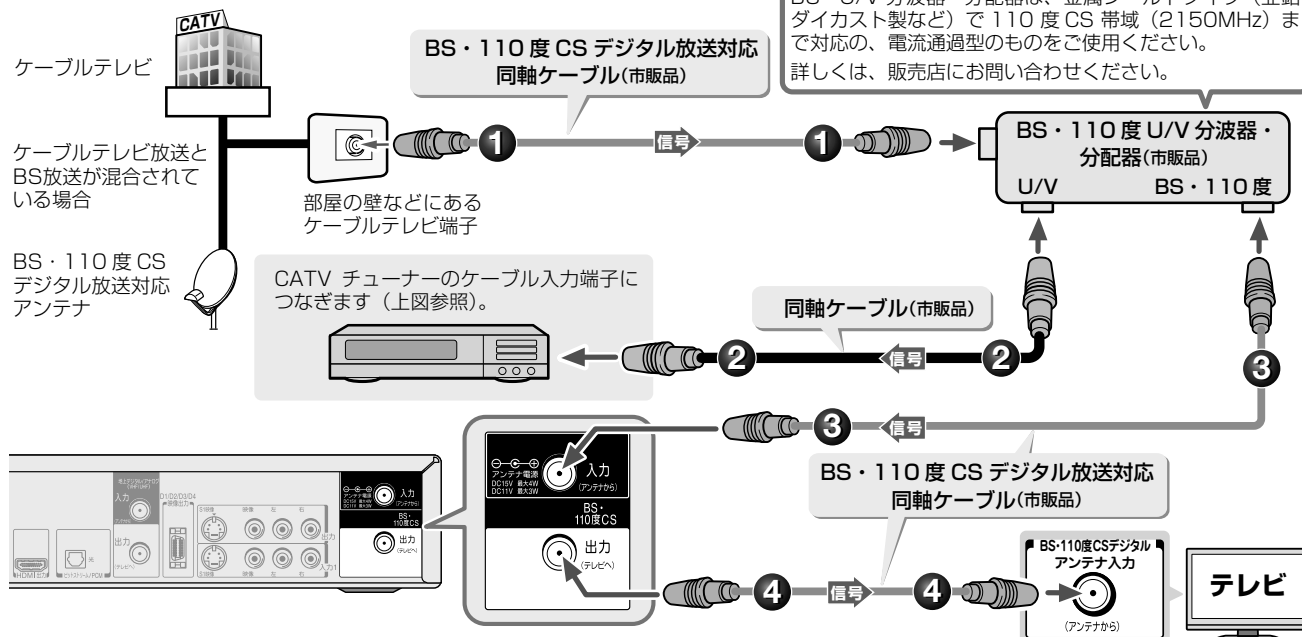
放送視聴中に、「映りが悪い」、「ノイズが出る」などのとき	設定を確認、変更したり、市販のブースターを使用するなどします。詳しくは、➡『「映りが悪い」「ノイズが出る」などの場合』（45 ページ）をご覧ください。
「はじめての設定」を行なったあとに、各放送波のアンテナを追加で接続したとき	アンテナをあとから追加したときは、「はじめての設定」などで放送波に必要な設定を追加で行なうなどしてください。また、各デジタル放送波の場合は、「番組ナビチャンネル設定」の「番組表表示」に「✓」がついているかご確認ください。詳しくは、➡「番組表でデジタル放送の表示／非表示を設定する」（80 ページ）をご覧ください。

基本の接続（アンテナとつなぐ）・つづき

※本機からテレビなどのアンテナ入力へつながない場合は、⇨71 ページをご覧ください。

「接続例C」CATV（ケーブルテレビ）のホームターミナル／セットトップボックス(STB)とのつなぎかた

以下は一例です。実際の接続とご使用にあたっては、機器や会社ごとに詳細が異なります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

BS・110 度 CS デジタル放送対応アンテナを設置している場合は

上の「接続例 C」に、以下の接続を加えください。

お知らせ

CATV についてのお知らせ

- 本機はパススルー方式に対応しています。パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送を信号変換せずそのままケーブルテレビに送る方式です。ご加入のケーブルテレビ会社がパススルー方式であれば、地上デジタル放送を本機で受信・録画できます。ケーブルテレビ経由の地上デジタル放送は、本来のUHFのチャンネルとは違うチャンネルに周波数を変換して送られてくることがあります。

メモ 他にも機器とつなぎたいとき　本機につなぐ外部機器について詳しくは、⇨「本機に接続できる外部機器について」(48 ページ)をご覧ください。

CATVのための便利な機能（CATV連動機能）

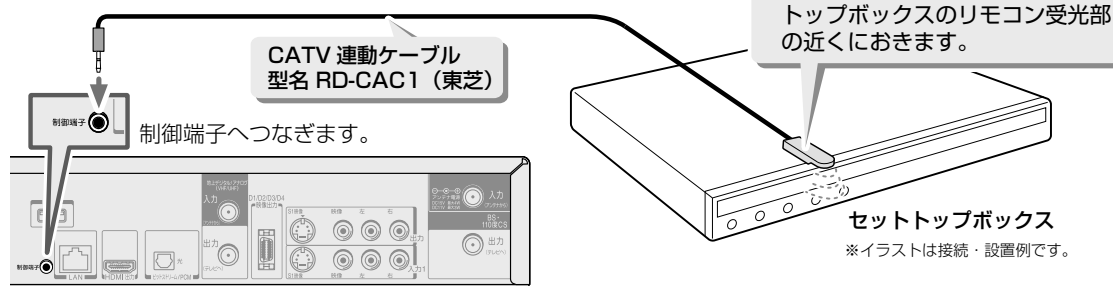
本機はIrシステム*に対応しています。別売のCATV連動ケーブル（Irブラスター）をつなげば、セットトップボックスをコントロールできます（お使いのセットトップボックスがIrシステムに対応している必要があります）。

・CATVチャンネルの番組表が利用できる
・CATVチャンネルを予約録画できる

***Irシステム**
リモコンなどで使われている赤外線信号を利用して、セットトップボックスの電源の入／切や、予約録画時にCATVチャンネルの選局を本機から操作できるようにするシステムです。

以下の接続と設定を行なってください。

接　続

1 CATV連動ケーブル（別売）をつなぐ

本体背面

- セットトップボックスの説明書もあわせてお読みください。
- CATV連動機能が正常に働かないときは、CATV連動ケーブルの発信部の位置を変えてみてください。
- 加入されているCATVサービス局やCATVチューナーが本機能に対応済みか、連動可能なチャンネルかどうかは、http://www.rd-style.com/epg/ch/ch_map.htm で確認してください。

2 本機をブロードバンド常時接続環境につなぐ

⇨24ページをご覧ください。

設　定

1 「はじめての設定」の ⇨「②本機のネットワーク機能の設定」（30ページ）をする

- 「イーサネットの利用設定」で【利用する】を選びます。
- 「iNETの利用設定」で【利用する】を選びます。

2 「はじめての設定」の ⇨「⑤外部チャンネル(CATV)の設定」（34ページ）をする

- 「CATV連動設定」で【連動設定する】を選びます。

接続したCATVチューナーの放送を見る

1 CATVチューナーのチャンネルを切り換える

CATVチューナーの取扱説明書をご覧ください。

2 リモコンの（入力切換）で、接続している外部入力(L-1またはL-2)を選ぶ

入力1端子に接続：「L-1」を選びます。
入力2端子に接続：「L-2」を選びます。

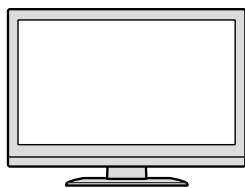
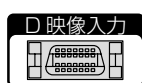
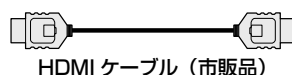
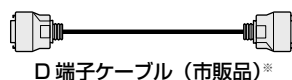
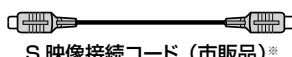
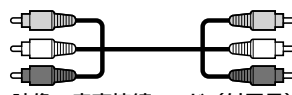
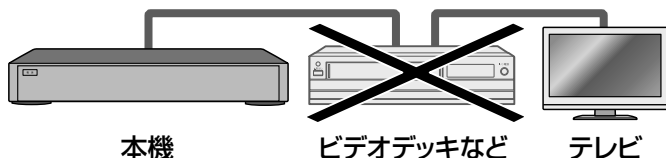
本機では、CATVチューナーがなくても、スクランブルのかかっていないC13～C63チャンネルが受信できます。

⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（62ページ）をご覧になり、受信の設定をしてください。

基本の接続（テレビとつなぐ）・つづき

テレビとつなぐ

本機につなぐテレビの入力端子と画質について

本機とつなぐ機器の背面などにある、映像や音声の入力端子をご確認ください。映像をよりきれいにご覧いただいたり、ハイビジョン映像をそのまままきれいな画質でお楽しみいただくには、**「HDMI 端子」**または**「D 端子」**に対応しているテレビ、モニターやプロジェクターが必要になります。**つなぐ機器が HDMI 端子に対応しているときは、HDMI 端子につなぐことをおすすめします。**
本機とつなぐテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

本機とつなぐには、右図のような、「HDMI 入力」、「D 映像入力」や「入力 1」といった、入力端子のいずれかが必要です。また、接続する入力端子によっては、専用のケーブルやコードが必要になります。

※音声をつなぐときは、付属の映像・音声接続コードや市販の音声接続コードをお使いください。

●**本機とテレビは直接接続してください。**
本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AV アンプなどを通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。

メモ

テレビとつなぐ端子についての詳しいお知らせを知りたいとき	各端子について詳しくは、➡「本機につなぐテレビの入力端子について」（46 ページ）をご覧ください。
ワイドテレビとつなぐとき	ワイドテレビと接続するときは、アスペクト比（画面の横：縦比）の異なった映像を自動的に識別する機能（オートワイド）を持つ、テレビの S1 （または S2）、D 端子または HDMI 映像入力端子と接続してください。詳しくは、➡「本機につなぐテレビの入力端子について」（46 ページ）をご覧ください。

HDMI端子付きテレビとつなぐ

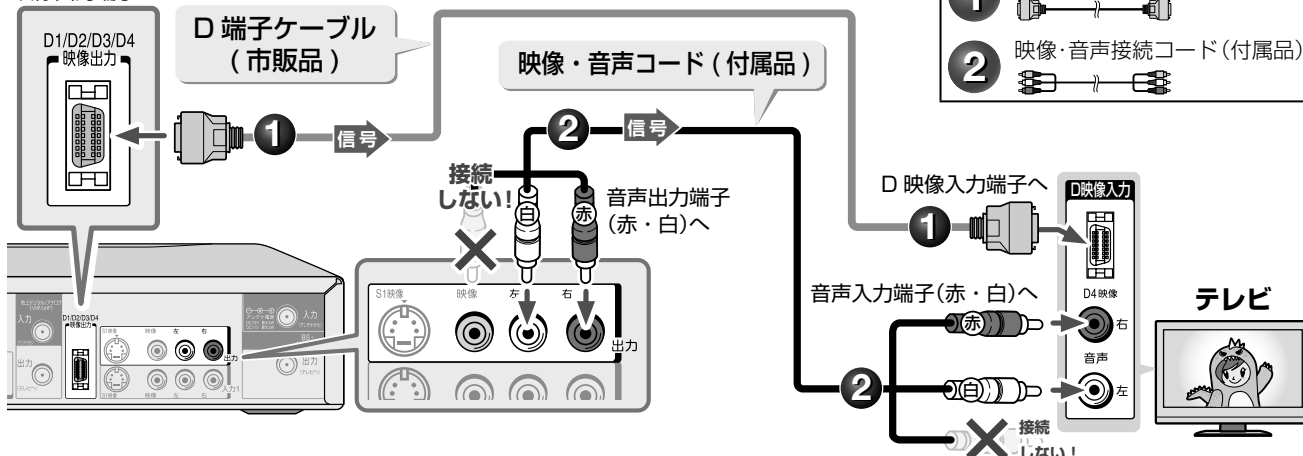
本機の HDMI 出力端子と**テレビの HDMI 入力端子**を**市販の HDMI ケーブル**でつなぎます。
HDMI 端子は、映像と音声の両方を兼ねているので、接続が 1 本のケーブルで済みます。
• HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（HDMI™）の表示があるケーブルをお使いください。

つなぐのに必要なもの
1 HDMI 接続ケーブル（市販品）

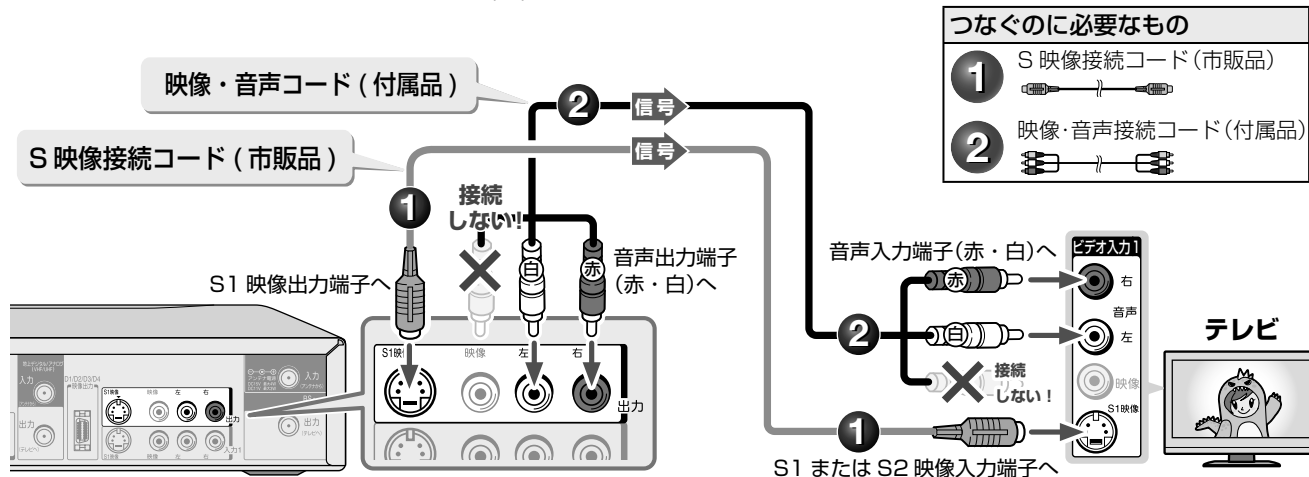
当社製 REGZA シリーズ (テレビ) と HDMI 端子を使ってつなぐと、「レグザリンク」機能が使えます (「レグザリンク」対応品に限ります)。「レグザリンク」機能について詳しくは、➡「レグザリンク機能について」(50 ページ) をご覧ください。

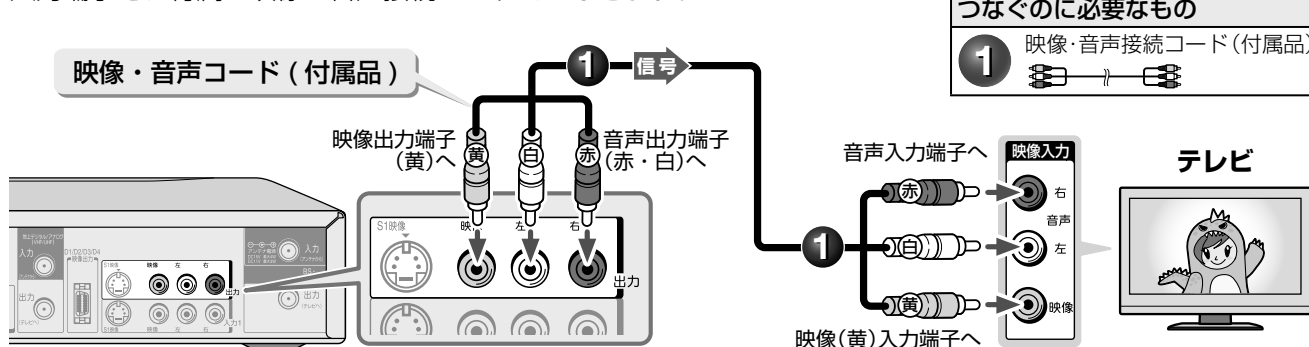
D端子付きテレビとつなぐ

本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子と、テレビのD映像入力端子を、市販のD端子ケーブルでつなぎます。

- 音声は本機の「出力」にある音声（右（赤）／左（白））出力端子と、テレビの音声（右（赤）／左（白））入力端子を、付属の映像・音声コードでつなぎます。このとき、映像（黄）には、つながないでください。

S端子付きテレビとつなぐ

本機の「出力」にある「S1映像」出力端子と、テレビのS1映像（またはS映像、S2映像）入力端子を市販のS映像接続コードで、つなぎます。

- 音声は本機の「出力」にある音声（右（赤）／左（白））出力端子と、テレビの音声（右（赤）／左（白））入力端子を、付属の映像・音声コードでつなぎます。このとき、映像（黄）には、つながないでください。

映像（黄）端子付きテレビとつなぐ

本機の「出力」にある映像（黄）·音声（右（赤）／左（白））出力端子と、テレビの映像（黄）·音声（右（赤）／左（白））入力端子を、付属の映像・音声接続コードでつなぎます。

基本の接続（アンテナ・テレビ・ネットワークとつなぐ）・つづき

ブロードバンド常時接続環境につなぐ（ネットワーク接続）

本機をネットワーク（ブロードバンド常時接続環境）に接続することで、iNETによる番組表情報取得や、パソコンや携帯電話のメール機能を使って番組の録画予約を行なうなど、便利な機能を使うことができます。
ブロードバンド常時接続環境につながず、ネットワーク機能を使用しない場合は、⇨「「はじめての設定」をする前に」26ページに進みます。
「ブロードバンド常時接続環境がない」場合でも、制限付きで利用できます。⇨操作編172、173ページもご覧ください。

ネットワーク機能と設定について

本機のネットワークを利用した主な機能には、以下のものがあります。
用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。以下の表で確認してから接続や設定をしてください。ネットワーク機能が働かないときには、設定をもう一度確認してください。

ネットワーク機能	ネットワーク環境（ブロードバンド常時接続環境）		必要な設定
	あり	なし	
ネット de ダビング（⇨操作編 164 ページ） ネット de ダビング対応機器と LAN で接続し、ネットワーク間ダビングが行なえます。 **・ネット de レック対応機器に TS/TSE タイトルのダビングのみする場合は、「ネット de ダビング設定」は不要です。**	○	○	・**アドレス / プロキシ設定**（⇨82 ページ～） ・**イーサネット / ネット de ダビング設定**（⇨82 ページ～） — ダビング要求を【受け付ける】に設定する — グループ名、グループパスワードを入力する ダビングしたい機器のグループ名とパスワードはすべて同一のものに設定します。
ネット de レック（⇨操作編 164 ページ） ネットワークに接続した、スカパー！ HD 対応チューナーからの映像や、REGZA に録画した高画質の映像を、そのまま録画することができます。	○	○	・**ネット de レック / サーバー設定**（⇨82 ページ～）
番組ナビ - iNET（番組ナビ（iNET）の設定） （⇨74 ページ） タイトル名や番組説明をインターネットから自動取得する機能です。	○	×	・**アドレス / プロキシ設定**（⇨82 ページ～） ・**番組情報サイトの設定**（⇨86 ページ）
番組ナビ - おすすめサービス（⇨操作編 97 ページ） おすすめの番組や録画予約ランキングを表示したり、クリップ映像のダウンロードなどができます。	○	×	・**アドレス / プロキシ設定**（⇨82 ページ～） ・**番組ナビ設定**（⇨74 ページ） — 地上アナログ／ライン入力の番組データ取得」を【iNET】または【しない】に設定する ・**おすすめサービス設定**（⇨操作編 97 ページ）
DLNA 対応機器にタイトルを配信する （ネット de サーバー HD 機能を使用する） ネットワークに接続した DLNA 対応機器（デジタルメディアプレイヤー）にタイトルを配信します。	○	○	・**アドレス / プロキシ設定**（⇨82 ページ～） ・**ネット de レック / サーバー設定（⇨88 ページ）**
ジャストクロック - 時計サーバ（⇨59 ページ） 専用のサーバーに本機が自動的にアクセスし、自動で時刻を合わせます。	○	×	・**アドレス / プロキシ設定**（⇨82 ページ～） ・**ジャストクロック**（⇨59 ページ） ・**その他の設定ー時計サーバー**（⇨87 ページ）

■以下の機能に関しての操作方法は、http://www.rd-style.com/　をご覧ください。

ネットワーク機能	ネットワーク環境（ブロードバンド常時接続環境）		必要な設定
	あり	なし	
ネット de ナビ 本機の操作や設定などを web 画面で行なえる機能です。また、以下のような便利な機能が利用できます。	○	○※	・**アドレス / プロキシ設定**（⇨82 ページ～）
e メールで録画予約をする 外出先などから e メールで録画予約ができます。	○	×	・**メール録画予約機能の設定**（⇨86 ページ）

ネット de ナビの動作環境は以下の通りです。
OS：Windows® 2000/XP ／ Mac OS X（10.4）
・ネット de ナビの Video 作成ツールには、Java VM Ver.1.5（Mac OS X は 1.4.2）が必要です。

※直接パソコンと接続

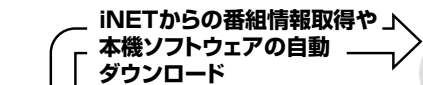
お知らせ

・「ブロードバンド常時接続環境あり」でも、お客様のネットワーク環境などの条件によっては、ご利用できない機能があります。

本機をブロードバンド常時接続環境につなぐ

iNETからの番組情報取得や本機ソフトウェアの自動ダウンロード

パソコンで本機を操作

LAN
本機背面にある「LAN」端子へ

ネットdeダビング対応機間でダビング

ネット de ダビング対応機

LAN

ネットdeダビング

当社運営サーバー

インターネット

ブロードバンド接続環境

LAN
例:ADSLモデム

LANケーブル（ストレート）

メール機能で録画予約

外出先からパソコンや携帯電話で本機に録画予約

WAN LAN1 LAN2 LAN3 LAN4 LAN5
ルーター

ネットdeナビ機能

LANケーブル（ストレート）

「LAN」端子付きネットワーク機能対応テレビ（DLNA対応機器）

LANケーブル（ストレート）

LANケーブル（ストレート）

LAN
スカパー！HD 対応チューナー

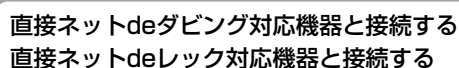
DLNA機能でタイトル配信／ネットdeレック

使用ケーブルについて

ブロードバンド常時接続環境につなぐときは、市販の LAN ストレートケーブル（カテゴリ 5 と表示された 10BASE-T / 100BASE-TX の LAN ケーブル）をお使いください。

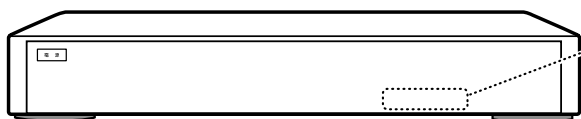
本機と直接パソコンやネットdeダビング対応機器とつなぐ

ご注意

- LAN ケーブルの抜き差しをするときは、必ず本機とパソコンや接続する機器の電源を切ってから行なってください。
- LAN ケーブルの抜き差しは、プラグを持って行なってください。
  抜くときは、LAN ケーブルを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。
- LAN 端子に電話のモジュラーケーブルを接続しないでください。
  故障の原因となる場合があります。
- CATV インターネット、B フレッツなども使用できますが、さまざまな接続形態がありますので回線業者やプロバイダの指示にしたがってください。

ネットワーク機器の接続の前に、必ず「ネットワーク機能の動作環境と制限・免責事項について」（⇨55 ページ）をお読みください。

「はじめての設定」をする前に

付属の B-CAS カードを本体にセットする

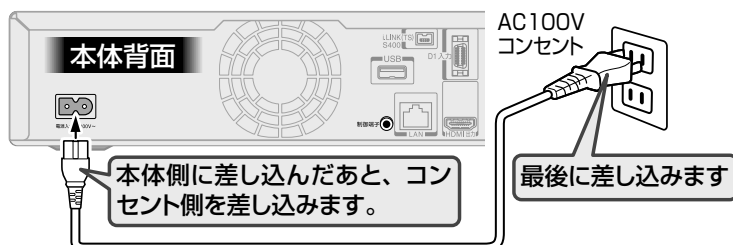
B-CAS カードはデジタル放送受信契約のための受信者 ID カードです。デジタル放送、放送局からのお知らせの受信などに必要です。常に本体に入れた状態でお使いください。

※ B-CAS カードの登録や取扱いの詳細は、カードが貼ってある台紙をご覧ください。

前扉を開き、B-CAS カードを B-CAS カードスロットに差し込む

「B-CAS」と書かれている側を上にしてください。

電源コードを接続する／電源を入れる

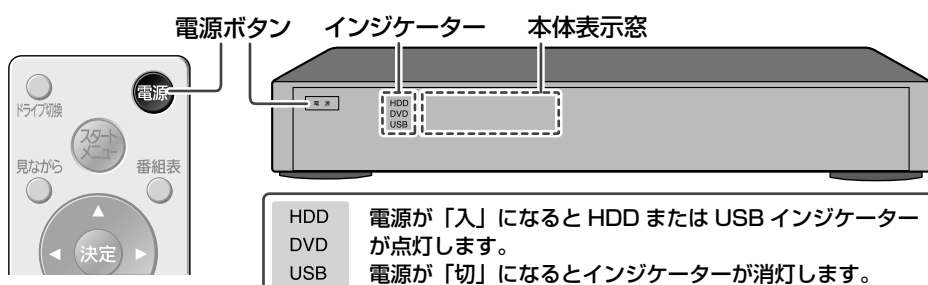
必ずすべての接続が終わったあとに、接続してください。

ご注意

- 電源コードは、他の製品への転用や、他の製品からの代用はしないでください。
- 本機は番組表の情報などを通電状態（電源「入」／「切（待機）」）時に取得します。
  長期に渡って使用しないときなどを除いて、常時通電状態でお使いください。

電源を入れる

テレビで…

電源を入れて、本機をつないだ入力（例：ビデオ 1）に切り換えてください。
入力の表示は、テレビやつないだ端子によって異なります。本機の画面が映るように切り換えましょう。

電源ボタン　インジケーター　本体表示窓

本体の 電源 またはリモコン右上の 電源 を押して、本機の電源を入れる

（切るときも同じ操作です。）

HDD DVD USB	電源が「入」になると HDD または USB インジケーターが点灯します。 電源が「切」になるとインジケーターが消灯します。

●アイコン一例

左のようなアイコンが画面に表示されます。
電源入／切の前後などに、つないだテレビやモニターなどの画面右上に現れるマークは、本機がデータの処理中であることの表示です。消えてから操作してください。

高速起動設定を「入」に設定しているときは、左のアイコンが表示されます。

●その他の電源の入れかた

本機では、 番組表 や スタートメニュー を押しても電源を入れることができます。（ 番組表 や スタートメニュー を押して電源「入」にすると、起動後に番組表が表示されます。）

●高速起動について

「高速起動」設定を「入」にすると、電源を入れたときに、通常よりも早く本機が起動します。

- 設定は、⇨「はじめての設定」（28 ページ）、または⇨操作編 179 ページをご覧ください。
- 高速起動の説明やお知らせについては、⇨8 ページをご覧ください。

メモ

本機の電源が「切」のとき　本機は「切」の状態でも、リモコンからの操作 (例 : 電源投入) を受け付けます。また、「切」の状態でも、必要な処理を内部で自動的に行なっている場合もあります。

「はじめての設定」の操作のしかた

「はじめての設定」のガイド表示とリモコンのボタン

はじめての設定　テレビ画面形状の選択

接続するテレビの画面形状を選択してください。

4:3ＬＢ
標準サイズのテレビ（4:3）のとき選択してください。
ワイド番組の場合、上下に帯をつけて元映像と同じ縦横比で表示します。

16:9シュリンク
ワイドテレビ（16:9）のとき選択してください。
標準サイズの番組の場合、左右に帯をつけて元映像と同じ縦横比で表示します。

上記以外の設定にするには、設定メニューの「操作・表示設定」で変更してください。

決定 決定　選択　戻る 戻る

設定する項目名が表示されます。

設定する項目に関してのメッセージや選ぶ内容が表示されます。

使えるリモコンボタンのガイドが表示されます。

決定ボタン
項目を決定します。

方向ボタン
項目を選択します。

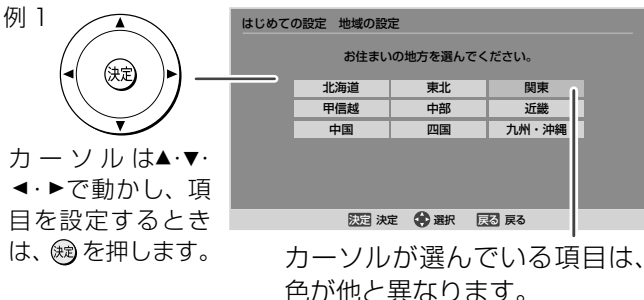
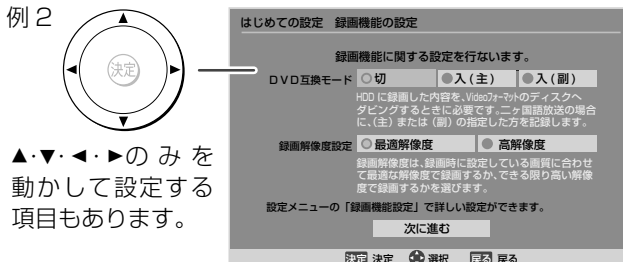
戻るボタン
一つ前の画面に戻ります。

ページボタン
画面のページ切換えに使います。

ページボタン
画面のページ切換えに使います。

フルリモコンでは、数字を入力するときや番号を選ぶときに、番号ボタンが使えます。

■画面上での基本操作（カーソル移動と決定）

カーソル移動で画面上に表示されている項目を選び、決定を押す操作が基本の操作です。

■「はじめての設定」の設定項目について

ご購入後、はじめて電源を入れると、はじめての設定画面が表示されます。画面の指示にしたがって進むと、簡単に設定ができます。
項目によっては設定を行なわずに、次の項目に進むこともできます。
設定によっては、文字を入力するものがあります。文字の入力については、⇨操作編「文字入力のしかた」（120ページ）をご覧ください。

メモ　とばした設定項目をあとから設定したいとき
「はじめての設定」で行なう項目は、すべて後からでも設定することができます。詳しくは、⇨「詳しい設定をする（応用の設定）」（57ページ）をご覧ください。また、「はじめての設定」もやり直すことができます。⇨『「はじめての設定」を表示する・やり直すには』（58ページ）

「はじめての設定」をする

「はじめての設定」の流れ

「はじめての設定」では、本機を使うのに必要な設定を行ないます。受信できる放送や接続した機器によって、設定する項目が異なります。
以下の例では、大まかな設定の流れを説明しています。お使いになる環境にあわせて、画面に沿って項目を選んでいきましょう。また、設定する項目をとばしてもあとからやり直すことができます。

■例）受信できる放送と接続方法

「接続例 A」を参考に接続
（⇨18 ページ）

「接続例 A」を参考に接続
（⇨18 ページ）

「接続例 B」を参考に接続
（⇨18、19 ページ）

「接続例 C」を参考に接続
（⇨20 ページ）

①基本設定（⇨29ページ）

はじめに、本機につないだ各放送波用アンテナや外部チューナーに合わせて、視聴する放送に「✓」をつけます。
「✓」をつけた項目のみ、必要な設定を以下の流れで行ないます。

②本機のネットワーク機能の設定（⇨30ページ）

はじめに、ネット機能を【利用する】または【利用しない】を選びます。
【利用しない】を選ぶと、次の項目に進みます。
- 本機をブロードバンド常時接続環境に接続してある場合は、【利用する】を選んでください。本機をブロードバンド常時接続環境につなぐには、⇨25 ページをご覧ください。
- ADAMS のサービスエリア外（⇨38 ページ）にお住まいの場合は、【利用する】を選び、「iNET の利用設定」で【利用する】を選んでください。（⇨32 ページ）

本機をブロードバンド常時接続環境につないで、【利用する】を選んでください。
CATV のチャンネルの番組表を使うには、「iNET の利用設定」で【利用する】を選んでください。

③地上アナログチャンネルの設定（⇨32ページ）

「①基本設定」で、地上アナログに「✓」をつけた場合に設定します。

④地上アナログ放送用番組表（ADAMS）の設定（⇨34ページ）

「②本機のネットワーク機能の設定」の「iNET の利用設定」で【利用しない】を選んだ場合（または、ネットワーク機能を利用しない場合）は、この設定で【利用する】を選びます。
- 地上アナログ放送の番組表データは、ADAMS（テレビ朝日系列の地上アナログ放送波）または iNET（インターネット）を利用して取得します。詳しくは、⇨38、74 ページをご覧ください。

⑤外部チャンネル（CATV）の設定（⇨34 ページ）

「①基本設定」で、CATV に「✓」をつけた場合に設定します。

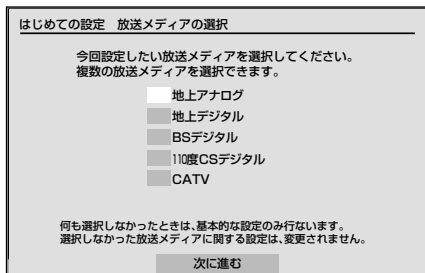
⑥デジタル放送（地上／ BS・110度CS）関連の設定（⇨36ページ）

「①基本設定」で、地上デジタルまたは BS デジタル、110 度 CS デジタルに「✓」をつけた場合に設定します。

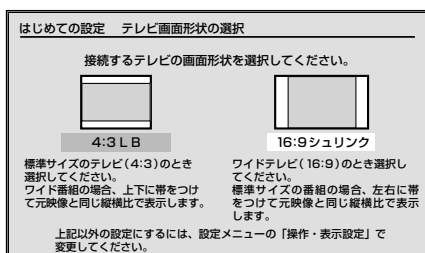
現在時刻の確認や高速起動の設定をしたら、「はじめての設定」の完了です。
⇨次ページ以降を参考に、必要な設定をしてください。

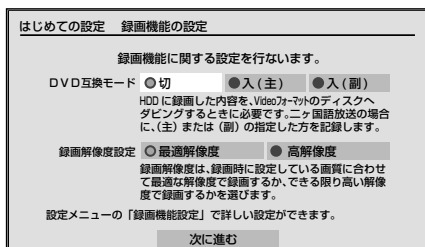
「はじめての設定」中に誤って設定を終了させてしまったら
「はじめての設定」設定中に㊕を押してしまった、何らかの原因で終了させてしまったときは、⇨『「はじめての設定」を表示する・やり直すには』（58 ページ）の手順で「はじめての設定」をやり直すことができます。

① 基本設定

1 メッセージを確認したあと、㊍を押す

2 設定したい放送メディアを▲･▼で選び、㊍を押して「✓」をつけ、選び終わったら【次に進む】を▲･▼で選び、㊍を押す

本機につないだ各放送波用アンテナに合わせて「✓」をつけます。
「✓」をつけた項目のみ、必要な設定をしていきます。
例）地上アナログ、デジタル放送用のアンテナとつないだときは、「地上アナログ」「地上デジタル」に「✓」をつけます。

「はじめての設定」後に、アンテナを追加して接続したときは ...
- 放送をお楽しみいただくために必要な設定を「はじめての設定」で追加設定するなどを、行ないます。

3 接続しているテレビの画面形状を◀･▶で選び、㊍を押す

【4：3LB】	【16：9 シュリンク】
縦と横の比率が 4：3 のテレビとつないだときに選びます。 例）ワイド型ではない、普通のテレビ	縦と横の比率が 16：9 のテレビとつないだときに選びます。 例）ワイドテレビ

4 メッセージを確認したあと、項目を▲･▼･◀･▶で設定する

DVD 互換モード（VR 録画用）		
内蔵 HDD に録画した番組を、多くの DVD プレーヤーやパソコンなどで見たいときは、Video フォーマットの DVD-R/RW にダビングします。 ただし Video フォーマットでは、音声を「主音声」か「副音声」のどちらかしか、記録できません。そのため、あとで DVD-R/RW（Video フォーマット）にダビング予定の番組は、音声を【入（主）】か【入（副）】にあらかじめ決めて録画します。		
【切】	【入（主）】	【入（副）】
設定しません。	主音声で録画します。	副音声で録画します。

録画解像度設定（VR 録画用）	
録画のときに、設定した画質 (モード／レート) にあわせて、最適な解像度で録画するか、できる限り高い解像度で録画するかの設定です。 また、サッカーや音楽など動きが激しい番組の録画用には、最適解像度モードを選択することをおすすめします。	
【最適解像度】	【高解像度】
画質 (モード / レート) によって、レートが高い場合は高い解像度が、低い場合は低い解像度で録画されます。	LP モード同等の 2.0Mbps 以上の画質は、すべて最も高い解像度に固定されます。

【入（主）】と【入（副）】の違い

例えば海外ドラマなどの二カ国語放送の場合、主音声が日本語で副音声が英語…といった番組は、DVD-R/RW（Video フォーマット）にダビングするときに、どちらかの音声を選んでおく必要があります。
二カ国語放送の番組以外でも、DVD-R/RW（Video フォーマット）にダビング予定の番組は、【入（主）】か【入（副）】の設定が必要です。

「DVD 互換モード」と「録画解像度設定」の関係

最適解像度：
同じ画質 (モード / レート) でも【DVD 互換モード】の設定が【入（主）】か【入（副）】に設定して録画した番組と、【切】に設定して録画した番組では、異なる解像度が適用されます。
高解像度：
「DVD 互換モード」の設定に関係なく、同じ解像度で録画されます。

「はじめての設定」をする・つづき

録画解像度設定　○最適解像度　● 高解像度
録画解像度は、録画時に設定している画質に合わせて最適な解像度で録画するか、できる限り高い解像度で録画するかを選びます。
設定メニューの「録画機能設定」で詳しい設定ができます。
次に進む

5 **選び終わったら【次に進む】を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す**

6 **メッセージを確認したあと、決定を押す**

はじめての設定　地域の設定
お住まいの地方を選んでください。

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

7 **お住まいの地方を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す**

続いて【都道府県】、【地域】の順に選びます。

8 **メッセージを確認したあと、決定を押す**

「①基本設定」が完了し、次の設定に進みます。

■お住まいの地域や環境によっては、選んだ【地域】が適切でない場合があります

- **マンション全体がCATV（ケーブルテレビ）に加入している場合。**
- **例えば、東京都多摩地域や八王子地域にお住まいの場合も、地域や環境によっては【23区】など近隣の地域名を選ぶと、映らなかった地上アナログ放送局が映るようになることがあります。**

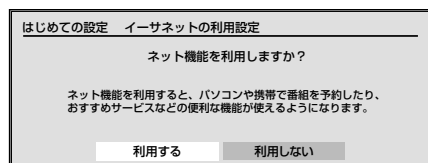
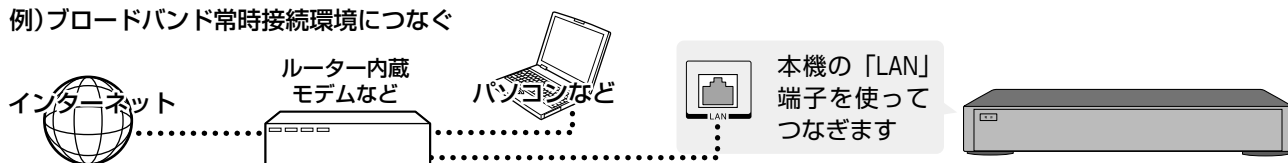
⇨「③地上アナログチャンネルの設定」の手順❸（33ページ）のチャンネルサーチ結果で、テレビでは映っていたのに本機では映らない放送局がある場合は、近隣の地域名を選んでみてください。

② 本機のネットワーク機能の設定

本機のおもなネットワーク機能を利用するには、アンテナ・テレビとつなぐ以外に、ブロードバンド常時接続環境に本機をつなぐ必要があります。**ネットワーク設定を先に行ない、接続は後から行なえます。また、ネットワーク設定は「はじめての設定」で行なわずに、あとから設定することも可能です。**
CATVチューナー（ホームターミナル／セットトップボックス）やスカパー！などの外部チューナーをつないだときは、手順❶で【利用する】を選び、ネットワーク機能の設定を行なってください。

- 本機につないだCATVチューナーなどの番組も、番組表機能を使って録画ができます。番組表の情報は「iNET」の利用になります。スカパー！の番組は、スカパー！チューナーから録画予約する必要があります。

例）ブロードバンド常時接続環境につなぐ

はじめての設定　イーサネットの利用設定
ネット機能を利用しますか？
ネット機能を利用すると、パソコンや携帯で番組を予約したり、おすすめサービスなどの便利な機能が使えるようになります。
利用する　利用しない

CATVチューナー（ホームターミナル／セットトップボックス）とスカパー！チューナーをつないだときは【利用する】を選びます

1 **メッセージを確認したあと、【利用する】または【利用しない】を◀・▶で選び、決定を押す**

【利用する】
ネットワーク機能の設定をひと通り行ないます。
【利用しない】
①基本設定の手順❷（29ページ）で「✓」を付けた放送メディアに合わせて、必要な設定項目に進みます。

ここでは、ブロードバンド常時接続環境で【利用する】を選んだときの例を説明しています。

2 **メッセージを確認したあと、決定を押す**

ネットワーク機能や、ブロードバンド常時接続環境につなぐ方法については、⇨24～25ページと⇨操作編172～173ページをご覧ください。

- ネットワーク機能をお使いになる上での注意やお知らせについても書かれていますので、必ずご覧ください。

メモ　**ブロードバンド常時接続環境につなぐには**　ブロードバンド常時接続環境へのつなぎかたについては、⇨「ブロードバンド常時接続環境につなぐ（ネットワーク接続）」（24ページ）をご覧ください。

メモ 「はじめての設定」中に誤って設定を終了させてしまったら

「はじめての設定」設定中に（終了）を押してしまった、何らかの原因で終了させてしまったときは、⇨『「はじめての設定」を表示する・やり直すには』（58 ページ）の手順で「はじめての設定」をやり直すことができます。

はじめての設定　ネット de ナビの設定

ネットdeナビ(パソコンを使って本機を操作するための機能)を利用するための設定を行ないます。
(本体ユーザー名と本体パスワードは必ず設定してください)

本体名 RD-S1004
本体ユーザー名
本体パスワード
本体ポート番号 80

ご注意

【本体ユーザー名】と【本体パスワード】を設定するときの注意

【本体ユーザー名】と【本体パスワード】は、半角英数字・記号 16 文字以内で、他人に知られたり、容易に推測されないような、お客様独自のものにしてください（避けた方がよい例：ご自身やご家族の名前、電話番号、誕生日、住所の地番、車のナンバー、同じ数字や記号の単純な並びなど）。

- パスワードを忘れたときは、新たなパスワードを入力し、設定してください。

3 メッセージを確認したあと、項目を▲・▼で選び、設定する

ネット de ナビの設定を行ないます。
項目を選び、（決定）を押すと、文字入力画面が表示されます。

- 文字の入力方法については、⇨操作編「文字入力のしかた」（120 ページ）をご覧ください。

【本体名】	【本体ユーザー名】	【本体パスワード】
通常は設定を変える必要はありません。（左は RD-S1004K の例です）	パソコンから本機にアクセスするための ID です。	パソコンから本機にアクセスするための ID です。 • パスワードを入力すると「＊」で表示されます。

【本体ポート番号】
通常は設定を変える必要はありません。 • うまく接続できないときや、機能の一部が働かないときに、2000 ～ 10000 の間で変更します（入力はフルリモコンの（11/0）～（9）でします）。

- 同名機種を複数台接続する場合は、【本体名】はそれぞれ機器ごとに変更してください（半角英数字・記号で 15 文字以内）。

設定が終わったら【次に進む】を選び、（決定）を押します。

はじめての設定　ネット de ダビング / レック / サーバーの設定

ネットdeダビングやネットdeレック/サーバー機能を利用するための設定を行ないます。

ダビング要求 受け付けない
グループ名
グループパスワード
ネットdeレック/サーバー設定
次に進む

「ネット de ダビング」とは？

ネット de ダビング機能は、対応する当社製 HDD&DVD レコーダー（HD DVD ドライブ搭載機および VTR 一体型含む）が、同一ネットワーク上にあるときに、ネットワークを使って相互間ダビングができる機能です。

「ネット de レック」とは？

ネットワークに接続したスカパー！ HD 対応チューナーからの映像や、「ネット de レック」に対応している当社製 HDD&DVD レコーダーや REGZA に録画した高画質の映像を、そのまま録画することができます。

4 メッセージを確認したあと、項目を▲・▼で選び、設定する

ネット de ダビングの設定を行ないます。

ダビング要求
【受け付ける】：ダビングするときに選びます。 【受け付けない】：ダビングしないときや、対応機をお持ちでないときに選びます。 【受け付ける】にしたときは、【グループ名】と【グループパスワード】は必ず設定してください。

【グループ名】（例 :TOSHIBA）	【グループパスワード】
複数台をネットに接続しているときのグループ名を設定します（半角英数字・記号 16 文字以内）。	グループ名を設定したときに、パスワードを設定します（半角英数字・記号 16 文字以内）。

ネット de レック / サーバー設定
【使わない】：対応機をお持ちでないときに選びます。 【使う（フィルタ制限なし）】：同一ホームネットワーク内の対応機器から、受信と配信ができます。 •【使う（フィルタ制限なし）】以外にも、【使う（フィルタ制限あり）】に設定することができます。「フィルタ」と設定については、⇨83 ページをご覧ください。

- 【グループ名】と【グループパスワード】を設定する際は、【本体ユーザー名】、【本体パスワード】と同様にご注意ください。また、ネット de ダビングしたい機器同士は、【グループ名】と【グループパスワード】は同じにします。

設定が終わったら【次に進む】を選び、（決定）を押します。

はじめての設定　アドレス / プロキシの設定

IPアドレスとプロキシの設定を行ないます。

DHCP(自動取得) 使う　DNS(自動取得) 使う
IPｱﾄﾞﾚｽ 0.0.0.0　DNSｻｰﾊﾞｰ 0.0.0.0
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 0.0.0.0　ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｰ
ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ 0.0.0.0　ﾌﾟﾛｷｼﾎﾟｰﾄ 80

ご利用の環境に合わせて、取扱説明書などを参考にしながら設定してください。

「DHCP（自動取得）」は通常は【使う】に設定します

本機をつなぐネットワーク環境や、お使いのルーターにもよりますが、通常は【使う】にしておいて問題ありません。

「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「DNS サーバー」の数値は、自動的に設定されます（本機を接続するネットワーク環境によって、設定される数値は異なります）。

5 メッセージを確認したあと、項目を▲・▼・◀・▶で選び、設定する

アドレス / プロキシの設定を行ないます。

DHCP（自動取得）	
ルーターの DHCP 機能を使ってネットワークの情報を自動的に取得する、または手動で設定します。	
【使わない】	【使う】
手動でアドレスを設定します。	自動的にアドレスを取得します。

DNS（自動取得）	
DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを自動的に取得する、または手動で設定します。	
【使わない】	【使う】
手動で設定します。	数値は自動的に設定されます。

- 「DHCP」と「DNS」を手動で設定する場合は、⇨83 ページをご覧ください。
- 「プロキシサーバー」と「プロキシポート」の設定は、ご契約・ご利用されているプロバイダやネットワーク環境によっては、設定や変更が必要な場合があります。

設定が終わったら【次に進む】を選び、（決定）を押します。

「はじめての設定」をする・つづき

はじめての設定　おすすめサービスの利用設定

あなたのお好みに合わせたおすすめサービスを利用しますか？

利用する　利用しない

おすすめサービスは、録画予約が便利になる情報を提供するサービスです。
さらに、「利用する」に設定頂くと、あなたの好みに合った番組リストや放送前の様々な番組ランキングからの予約や、色々な映像コンテンツのダウンロードが可能となります。※本サービスで個人を特定することはありません
・「利用する」に設定すると、番組表取得元に ADAMS を設定していた場合は iNET に自動変更されます。
・おすすめサービスの詳しい説明は、取扱説明書をご覧ください。
・おすすめサービスは、お客様に予告なく休止、終了、もしくは内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

次に進む

6 メッセージを確認したあと、【利用する】または【利用しない】を◀・▶で選ぶ

おすすめサービスの設定を行ないます。
おすすめサービスは、他の RD ユーザーの録画予約情報を元に、予約ランキング情報を知ることができたり、予約情報からお好みの番組をお知らせするなど、さらに本機を楽しくお使いいただける機能です。

【利用する】	【利用しない】
おすすめサービスを利用します。 集計情報を元に、個人の特定などがされる心配はありません。安心しておすすめサービス機能をお使いください。	おすすめサービスを利用しません。

設定が終わったら【次に進む】を選び、決定を押します。

はじめての設定　iNET の利用設定

iNETを利用しますか？

iNETは詳細な番組情報をインターネットで取得するサービスです。

すでにスカパー!や専門チャンネルの番組表をiNETでご利用の場合、「利用しない」を選択すると表示ができなくなります。

利用する　利用しない

※番組表データについて詳しくは、⇨38 ページをご覧ください。

7 メッセージを確認したあと、【利用する】または【利用しない】を◀・▶で選び、決定を押す

地上アナログ放送の番組表や番組情報の取得先を「iNET」にするときは、【利用する】を選びます。
- 外部チューナー（スカパー！や CATV チューナーなど）をつないだときに番組表機能を使いたいときも、「iNET」を選びます。

また、以下の地域でお使いの場合も、地上アナログ放送の番組表情報は「iNET」になりますので、【利用する】を選んでください（ブロードバンド常時接続の環境が必要です）。
富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、徳島、宮崎 (2009 年 6 月現在）

8 メッセージを確認したあと、決定を押す

「②本機のネットワーク機能の設定」が完了します。

③ 地上アナログチャンネルの設定

- ⇨「① 基本設定」（29 ページ）で「地上アナログ」に「✓」を付けているときに、必要な設定を行ないます。

ここでは地上アナログ放送の受信チャンネル（本機を通して映る放送局）を設定します。「はじめての設定」で行なう受信 CH 設定は、自動的に番組表の設定も受信 CH に合わせて変更します。受信 CH の設定は、「はじめての設定」で行なうことをおすすめします。

1 メッセージを確認したあと、決定を押す

はじめての設定　地上アナログチャンネル設定

お住まいの地域に合わせて、チャンネル設定します。

チャンネルサーチで、
受信可能なチャンネルを見つけて設定する

HDMI連動でチャンネル設定を取得
（HDMI連動対応の東芝製テレビとHDMIケーブルで接続が必要）

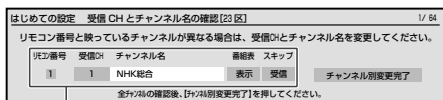
手動で設定する／設定内容を変更する

2 メッセージを確認したあと項目を▲・▼で選び、決定を押す

【チャンネルサーチで、受信可能なチャンネルを見つけて設定する】
通常はこの項目を選びます。 ・地上アナログ放送のチャンネルサーチが始まります。しばらくお待ちください。
【HDMI 連動でチャンネル設定を取得】
HDMI 連動機能対応の当社製 REGZA シリーズと HDMI 端子を使って接続（⇨22 ページ）しているときに選びます。 ・接続している REGZA から、地上アナログ放送のチャンネル設定の取得が始まります。しばらくお待ちください。
【手動で設定する／設定内容を変更する】
チャンネルサーチを行なわずに手動で地上アナログチャンネルを設定します。 ・地上アナログチャンネル設定が済みの場合で、一部チャンネルの設定のみ変更したいときに選びます。

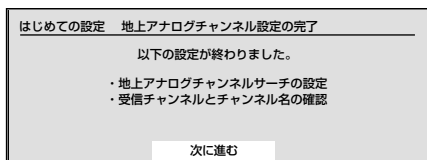
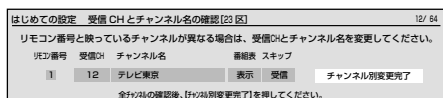
HDMI 連動機能とは？

レグザリンク機能（HDMI 連動機能）に対応した当社製テレビ（REGZA シリーズ）と HDMI ケーブルで接続するとテレビから本機に予約録画を行なったり、地上アナログ放送の設定をテレビから取得して設定する、テレビの電源オフに合わせて本機も電源オフするなどができる、便利な機能です。詳しくは、⇨「レグザリンク機能について」（50 ページ）をご覧ください。

「はじめての設定」中に誤って設定を終了させてしまったら 「はじめての設定」設定中に㊎を押してしまった、何らかの原因で終了させてしまったときは、⇨『「はじめての設定」を表示する・やり直すには』（58 ページ）の手順で「はじめての設定」をやり直すことができます。

①リモコン番号とチャンネル名欄に表示されている放送局が、テレビと同一か確認します（画面には「受信 CH」で選んでいるチャンネルの、現在放送中の番組が表示されるので、放送局が間違いないか、正しく受信できているか確認できます）。

②番組表欄が「表示」、スキップ欄が「受信」になっているか確認します。

※チャンネル名欄が「（未設定）」、番組表欄が「非表示」、スキップ欄が「スキップ」になっているときは、この画面でも変更することができます。

※詳しくは、⇨「地上アナログ放送で映らないチャンネルがあるときは」（39 ページ）をご覧ください。

❸ «／»を押して、受信できる地上アナログチャンネルが映るか確認する

※画面には「受信 CH」で選んでいるチャンネルの、現在放送中の番組が表示されます。

⇨「テレビで映る地上アナログ放送局を確かめる」（5 ページ）の表にメモした放送局が映る、チャンネル名がある（「未設定」となっていない）などを、確認します。

メモしたチャンネル（放送局）が映らないときは…

テレビで映るチャンネルが映らなかったり、チャンネルの追加や変更をしたいときは、⇨「地上アナログ放送で映らないチャンネルがあるときは」（39 ページ）をご覧いただき、設定を変更します。

- テレビで映るチャンネルは、本機でも正しく映るように設定してください。テレビで映るチャンネルが、以下の設定になっていないか確認します。

①チャンネル名欄の表示が（未設定）
②番組表表示が【非表示】
③スキップ欄の表示が【スキップ】
以上の設定状態では、正しく受信できなかったり、番組表で表示しない設定になってしまいます。

問題がない場合は【チャンネル別変更完了】を選びます。

❹ 【チャンネル別変更完了】を▲・▼・◀・▶で選び、㊍を押す

❺ 設定内容を確認する

«／»でページを切り換えて、地上アナログチャンネル一覧を確認できます。

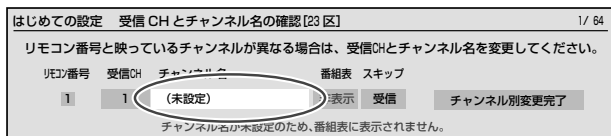
【登録して次に進む】を選び㊍を押すと、「③ 地上アナログチャンネルの設定」が完了します。

❻ メッセージを確認し、㊍を押す

- ⇨「① 基本設定」の手順❷（29 ページ）、「地上アナログ」に「✓」を付けている。
- ⇨「② 本機のネットワーク機能の設定」の手順❼（32 ページ）、「iNET」の設定で【利用しない】を選んでいる。

以上のときは、地上アナログ放送の番組表情報は「ADAMS」を利用します。

⇨「④ 地上アナログ放送用番組表（ADAMS）の設定」（34 ページ）に進みます。

■手順 ❸ のサーチ結果で、チャンネル名が「（未設定）」と多く表示されるときは…

⇨「①基本設定」の手順❼（30 ページ）で、お住まいの地域や環境によっては、選んだ【地域】が適切でない場合があります。

- マンション全体が CATV（ケーブルテレビ）に加入している場合。
- 東京都多摩地域や八王子地域にお住まいの場合も、地域や環境によっては【23 区】などを選ぶとすべての局が映ることがあります。

テレビでは映っていたのに本機では映らない放送局がある場合は、近隣の地域名を選んでみてください。

「はじめての設定」をする・つづき

④ 地上アナログ放送用番組表（ADAMS）の設定

• ⇨「① 基本設定」の手順❷（29 ページ）、「地上アナログ」に「✔」を付けている。
• ⇨「② 本機のネットワーク機能の設定」の手順❼（32 ページ）、「iNET」の設定で【利用しない】を選んでいる。
以上のときは、【利用する】を選んでください。
※ ただし、⇨「② 本機のネットワーク機能の設定」の手順❻（32 ページ）、「おすすめサービス」で【利用する】を選んだときは、ADAMS は選べません。

はじめての設定　ADAMS(番組表) の利用設定
ADAMS(番組表)を利用しますか？
ADAMSを利用することにより、地上アナログ放送の番組表が利用できるようになります。
（テレビ朝日系列のテレビ局が受信できる必要があります）
利用する　利用しない

※ 番組表データについて詳しくは、⇨38 ページをご覧ください。

1 【利用する】を◀・▶で選び、㊋を押す

ADAMS=「TV-Asahi Data and Multimedia Service」の略です。テレビ朝日系列の地上アナログ放送の電波から送信される番組表データを、アンテナを通して自動受信します。そのため、テレビ朝日系列が受信できない地域では、ADAMS からの番組表データを利用できません。
（2009 年 6 月現在、富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、徳島、宮崎では、ご利用いただけません。また、上記以外の地域でも、受信形態や電波の状態によって利用できない場合があります。）

2 表示されている番号が、お住まいの地域で映る、テレビ朝日系列のチャンネル番号かどうか、確認する。問題ないときは、㊋を押す

表示されている番号が異なる場合は、▲・▼でテレビ朝日系列のチャンネル番号に変更します。変更が終わったら、㊋を押して、次へ進みます。

はじめての設定　ADAMS(番組表) 受信確認
ADAMS受信の確認をしますか？
10　テレビ朝日
する　しない
受信確認では、番組表の取得は出来ません。
番組表が取得されるまでには、1日程度かかります。

3 【する】を◀・▶で選び、㊋を押す

【する】を選ぶと、ADAMS を利用した番組表が利用可能か確認します。また、テレビ朝日系列のチャンネル番号に間違いないかの確認もします。
確認が完了したら、完了のメッセージが表示されます。【了解】を押して、次に進みます。

4 メッセージを確認し、㊋を押す

「④ 地上アナログ放送用番組表（ADAMS）の設定」が完了します。

⑤ 外部チャンネル（CATV）の設定

ここでは、CATV チューナーを本機に接続している場合や、CATV 連動機能をお使いになる場合に必要な設定をします。
• ⇨「① 基本設定」の手順❷（29 ページ）で、「CATV」に「✔」をつけているときに、以下の設定を行ないます。
• ⇨「② 本機のネットワーク機能の設定」の手順❶「イーサネットの利用設定」（30 ページ）で【利用する】を、手順❼「iNET の利用設定」（32 ページ）で【利用する】を選んでいる必要があります。

• CATV 設定をするには、CATV 会社との受信契約、CATV チューナーなどとの接続が終わっていることが必要です。
• 加入されている CATV サービス局や CATV チューナーが本機能に対応済みか、連動可能なチャンネルかどうかは、http://www.rd-style.com/epg/ch/ch_map.htm で確認してください。

はじめての設定　外部チャンネルで設定する項目
ここから外部チャンネルに関する設定をします。
・外部チャンネルの設定
・連動設定
CATVチャンネル設定はネットワークに接続した状態で設定できます。
次に進む

1 メッセージを確認したあと、㊋を押す

メモ 「はじめての設定」中に誤って設定を終了させてしまったら

「はじめての設定」設定中に㊧を押してしまった、何らかの原因で終了させてしまったときは、⇨『「はじめての設定」を表示する・やり直すには』（58 ページ）の手順で「はじめての設定」をやり直すことができます。

はじめての設定　CATV 設定（入力選択）
CATV チューナーを接続したラインを選択してください。
入力 1（L1）　入力 2（L2）
入力選択は番組ナビチャンネル設定ステップ 1 からも設定することができます。
次に進む

❷ CATVチューナーを接続したラインを選んだあと、【次に進む】を選び、㊥を押す

【入力 1（L1）】
CATV チューナーを入力 1 端子に接続したときに選びます。
【入力 2（L2）】
CATV チューナーを入力 2 端子に接続したときに選びます。

はじめての設定　CATV 設定（地方選択）
お住いの地方を選んでください。
1／1頁
北海道　東北　関東
甲信越　中部　近畿
中国　四国　九州・沖縄

❸ お住まいの地方を選び、㊥を押す

続いてお住まいの都道府県を選びます。

はじめての設定　CATV 設定（サービス名選択）
ご契約のサービス名を選択して下さい。
1／1頁
紅白ケーブルネットワーク
SpacePlace湾岸
ケーブルテレビ東芝
飛騨錦ケーブルネット

❹ ご契約のCATVサービス名を選び、㊥を押す

お住まいの都道府県ごとに登録されている CATV サービス名が一覧表示されます。34 ページ下に記載されたインターネットアドレスで最新情報をご確認ください。

はじめての設定　CATV 設定（チャンネル登録）[紅白ケーブルネットワーク]
番組表に表示したいCATVチャンネルを選んでください。
1／3頁
✓ 210 J　SPORTS　…　211 スカイ・A　spo …　212 GAORA
✓ 213 J SPORTS 1　214 J SPORTS 2　215 J　SPORTS　…
✓ 216 ザ・ゴルフ・チャン…　217 ゴルフネットワーク　218 G・SPORTS&NEWS
221 日本映画専門チャン…　222 チャンネル NECO　225 東映チャンネル
226 衛星劇場　227 スター・チャンネル　228 スター・チャンネル…
229 スター・チャンネル…　230 ファミリー劇場　231 Super! drama TV
CATV チャンネルはライン入力 A に登録されます。
次に進む

❺ 番組表に表示したいCATVチャンネルを選び、㊥を押したあと、【次に進む】を選び、㊥を押す

選ばれたチャンネルの左欄に「✓」がつきます。
「✓」をはずすときはもう一度、㊥を押します。
複数の CATV チャンネルを選ぶことができます。

はじめての設定　CATV 連動設定
連動設定を続けるメディアの設定を選択してください。
CATV　連動設定しない　連動設定する
設定を変更した場合は、登録済の予約を確認してください。
次に進む

❻ 【連動設定しない】または【連動設定する】を選んだあと、【次に進む】を選び、㊥を押す

【連動設定しない】	【連動設定する】
CATV 連動をしません。手順⓫へ進みます。	CATV 連動をします。手順❼へ進み、CATV 連動の設定をします。 • CATV 連動機能を使うには、CATV 連動ケーブルの接続（⇨21 ページ）が必要です。

はじめての設定　CATV 設定（入力選択）
CATV チューナーを接続したラインを選択してください。
入力 1（L1）　入力 2（L2）
入力選択は番組ナビチャンネル設定ステップ 1 からも設定することができます。
次に進む

❼ CATVチューナーを接続したラインを選んだあと、【次に進む】を選び、㊥を押す

【入力 1（L1）】
CATV チューナーを入力 1 端子に接続したときに選びます。
【入力 2（L2）】
CATV チューナーを入力 2 端子に接続したときに選びます。

（表示例）

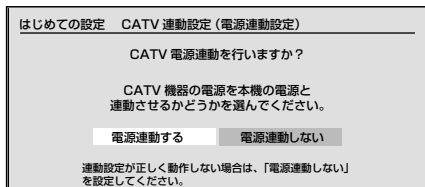
はじめての設定　CATV 連動設定（機器選択）
ご利用の機器を選んでください。
松下 1　松下 2　パイオニア 1
パイオニア 2　パイオニア 3　HUMAX
マスプロ 1　マスプロ 2

❽ ご利用のCATV機器を選び、㊥を押す

はじめての設定　連動簡易テスト
あらかじめ、連動させたいCATV機器のリモコン発光部付近に、
別売りのCATV連動ケーブルの発光部を設置してください。
CATV機器の電源を切りにした状態で、下のボタンでリモコンの
決定キーを押し、CATV機器の電源が入ることを確認してください。
テスト信号（1回発信）
機器によっては、動作に時間がかかる場合があります。
この簡易テストでは、電源のみを確認します。機器によっては
チャンネル切換の動作が異なる場合があり、本設定の完了後に
実際に番組表から連動予約の確認をしてください。動作しない場合、
再度本設定をやり直すか、「連動設定しない」に設定してください。
動作確認が終了したら、CATV機器の電源を切りにしてください。
次に進む

❾ メッセージを確認したあと、㊥を押す

CATV チューナーの動作を確認します。
確認したあと、【次に進む】を選び、㊥を押します。

「はじめての設定」をする・つづき

❿【電源連動する】または【電源連動しない】を選び、㊍を押す

【電源連動する】	【電源連動しない】
本機の電源入／切に合わせて、CATV チューナーの電源も入／切します。	CATV 機器の電源と本機の電源は連動しません。

CATV 機器の電源を本機の制御で行なうときには、【電源連動する】を選びます。

- 常時 CATV チューナーを使って視聴している場合や、【電源連動する】に設定しても連動が正しく動作しない場合は、【電源連動しない】に設定してください（その場合、録画開始の約 10 分前には、チューナーの電源を入れた状態にしてください）。

⓫ メッセージを確認したあと、㊍を押す

CATV 関連の設定が完了しました。

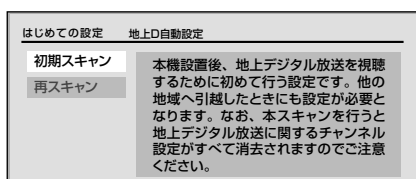
- ⇨「① 基本設定」の手順❷（29 ページ）で、デジタル放送に「✓」をつけている場合は、下の「⑥ デジタル放送（地上／ BS・110 度 CS）関連の設定」に進みます。

⑥ デジタル放送（地上／ BS・110 度 CS）関連の設定

- ⇨「① 基本設定」の手順❷（29 ページ）、「地上デジタル」に「✓」を付けている。
- ⇨「① 基本設定」の手順❷（29 ページ）、「BS デジタル」、「110 度 CS デジタル」に「✓」を付けている。

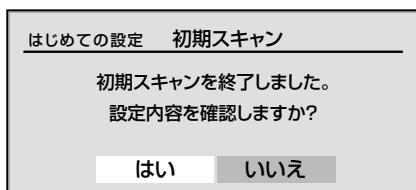
以上のときに、必要な設定を行ないます。

❶ メッセージを確認し、㊍を押す

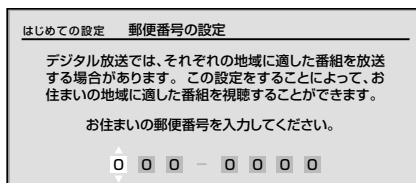
はじめての設定　地上D自動設定
初期スキャン
再スキャン
本機設置後、地上デジタル放送を視聴するために初めて行う設定です。他の地域へ引越したときにも設定が必要となります。なお、本スキャンを行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定がすべて消去されますのでご注意ください。

❷ メッセージを確認したあと【初期スキャン】を▲・▼で選び、㊍を押す

初期スキャンがはじまります。
初期スキャンには数分かかります。

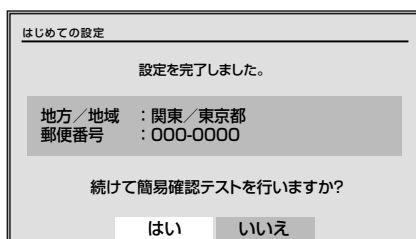
【再スキャン】については、⇨64 ページをご覧ください。

はじめての設定　初期スキャン
初期スキャンを終了しました。
設定内容を確認しますか?
はい　いいえ

❸【はい】または【いいえ】を◀・▶で選び、㊍を押す

【はい】を選ぶと、視聴できる地上デジタル放送の放送局名が確認できます。
スキャン結果を確認したあとは㊍を押して、手順❹に進みます。

はじめての設定　郵便番号の設定
デジタル放送では、それぞれの地域に適した番組を放送する場合があります。この設定をすることによって、お住まいの地域に適した番組を視聴することができます。
お住まいの郵便番号を入力してください。
0 0 0 − 0 0 0 0

❹ ▲・▼・◀・▶でお住まいの郵便番号を入力する

本機をお使いになる地域の郵便番号を、▲・▼・◀・▶で入力します。フルリモコンの［1/10］～［9］を使って、直接数字を入力することもできます。
入力したあとは㊍を押して、手順❺に進みます。

はじめての設定
設定を完了しました。
地方／地域　：関東／東京都
郵便番号　：000-0000
続けて簡易確認テストを行いますか?
はい　いいえ

❺【はい】または【いいえ】を◀・▶で選び、㊍を押す

【はい】を選ぶと、デジタル放送関係の簡易テストを行ないます。
【いいえ】を選ぶと、デジタル放送関係の簡易テストを行ないません。
簡易テストを中止するときは、㊍を押してください。

- 簡易テストの結果については、⇨「デジタル放送の簡易確認テストをする」（69 ページ）をご覧ください。

❻ メッセージを確認し、㊍を押す

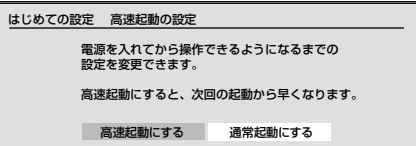
現在時刻の確認画面が表示されます。時刻を確認したあと、㊍を押して、次に進みます。

メモ 「はじめての設定」中に誤って設定を終了させてしまったら

「はじめての設定」設定中に㊕を押してしまった、何らかの原因で終了させてしまったときは、⇨『「はじめての設定」を表示する・やり直すには』（58 ページ）の手順で「はじめての設定」をやり直すことができます。

はじめての設定　高速起動の設定

電源を入れてから操作できるようになるまでの
設定を変更できます。

高速起動にすると、次回の起動から早くなります。

高速起動にする　通常起動にする

7 メッセージを確認し、【高速起動にする】または【通常起動にする】を◀・▶で選び、㊍を押す

【高速起動にする】に設定した場合でも、本機の状態などによっては、高速起動できないことがあります。
高速起動の説明やお知らせは⇨8 ページを、通常起動との消費電力の違いは、⇨操作編 215 ページをご覧ください。

8 「はじめての設定」の完了メッセージを確認し、㊍を押す

テレビでご覧の各チャンネルが、本機で受信できるようになりました。

「はじめての設定」Q&A

よくある質問です。
困ったときや、わからないことがあったときにご参考ください。

Q *「はじめての設定」をやり直したいとき、表示させたいときは？*

A 「はじめての設定」をやり直したいときは、⇨『「はじめての設定」を表示する・やり直すには』（58 ページ）をご覧ください。
一度設定した内容は保持されるので、変更したい内容のみを更新できます。（ただし、追加・変更したい設定項目によっては、関連する項目も「はじめての設定」で、再度設定する必要があります。）

Q *引っ越しなどで、受信できる放送が変わったときは？*

A 「はじめての設定」を再度行なって、お住まいの地域の放送を受信できるように設定してください。

Q *デジタル放送のアンテナ（地上／ BS・110 度 CS）をあとから追加でつないだときは？*

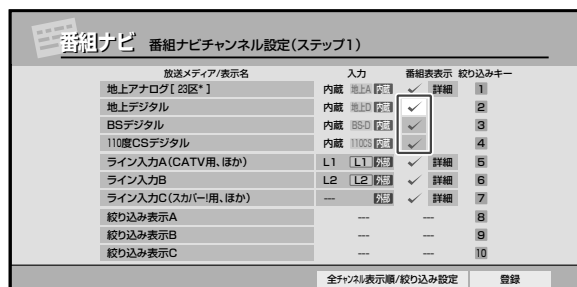
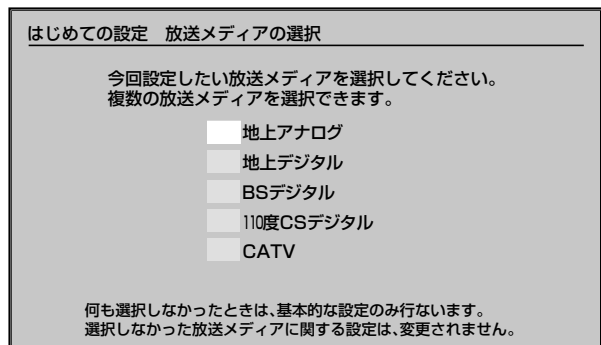
A 「はじめての設定」を再度行ないます。
⇨「①基本設定」の手順❷（29 ページ）で追加したアンテナに「✓」をつけて、必要な設定を行なってください。

はじめての設定　放送メディアの選択

今回設定したい放送メディアを選択してください。
複数の放送メディアを選択できます。

地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
110度CSデジタル
CATV

何も選択しなかったときは、基本的な設定のみ行ないます。
選択しなかった放送メディアに関する設定は、変更されません。

設定が終わったら、「番組ナビチャンネル設定」の「番組表表示」に「✓」がついているかご確認ください。

詳しくは、⇨「番組表でデジタル放送の表示／非表示を設定する」（80 ページ）をご覧ください。

Q *CATV のセットトップボックスをあとから本機に接続したときは？*

A 本機をブロードバンド常時接続環境につないでいる場合は、「はじめての設定」の「①基本設定」の手順❷（⇨29 ページ）で「CATV」に「✓」をつけて、必要な設定を行なってください。
また、録画予約に便利な CATV 連動機能を利用するには、以下の条件が必要となります。
1）CATV 連動ケーブルの接続（⇨21 ページ）
2）ブロードバンド常時接続環境につなぐ（⇨25 ページ）
3）⇨「②本機のネットワーク機能の設定」の「イーサネットの利用設定」（30 ページ）で【利用する】を選び、「iNET の利用設定」（32 ページ）で【利用する】を選ぶ

「はじめての設定」をする・つづき

Q ***あとでネットワーク機能を設定・変更したいときは？***

本機のネットワーク機能を「はじめての設定」で行なわずに、あとで個別に設定する場合や、設定した内容を変更したいときは、以下の設定項目をご確認ください。
地上アナログ放送の番組表データを iNET から取得する場合は、「番組ナビ設定」で番組表の設定をしてください（⇨74 ページ）。

1）本機をブロードバンド常時接続環境につなぐ（⇨25 ページ）
2）イーサネット利用設定を確認する（⇨82 ページ）
　本機のネットワークを利用するには、【イーサネット利用設定】で【利用する】を選びます。
3）イーサネット / ネット de ダビング設定をする（⇨83、84 ページ）
　【ネット de ナビ / ダビング / レック / サーバー】、【アドレス／プロキシ】の設定を行ないます。

■本機の番組表について

番組表の情報は放送メディア（地上アナログ、地上デジタル、BS・110 度 CS デジタルなど）によって異なります。

Q ***地上アナログ放送の番組表データは何から取得するの？***

データ取得の方法は 2 つあります。
ADAMS*1 を利用してテレビの地上アナログ放送波から番組データを受信する方法と、iNET*2 を利用してインターネットから番組データをダウンロードする方法です。
*1 「ADAMS」は、TV-Asahi Data and Multimedia Service の略です。
*2 「iNET」は、東芝提供のインターネット接続型番組情報提供サービスです。

ADAMS	iNET
テレビ朝日系列の地上アナログ放送の電波から送信される番組データを、アンテナを通して自動受信します。 • インターネット環境がなくても、番組データを取り込むことができます。 • ８日分の番組データを取り込みます。（地域によっては、７日分または２日分の場合や、提供されていない場合があります。） • １日２回、設定した時刻に番組データを自動受信します。 • テレビの放送波（地上アナログ放送）を利用して、本機の時刻を自動調整します。 • ADAMS が提供する番組データは、「地上アナログ放送」と「BS アナログ放送」です。 ※ テレビ朝日系列を受信できない地域では、ADAMS からのデータを利用できません。（2009 年 6 月現在、富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、徳島、宮崎ではご利用いただけません。また、上記以外の地域でも、受信形態や電波の状態によって利用できない場合があります。）	インターネットを利用して番組データサーバーから番組データをダウンロードします。（iNET を利用するには、対応のルーターなどを使ったブロードバンド常時接続環境が必要です。） • ADAMS が提供されていない地域でも番組データを取り込むことができます。 • ８日分の番組データを取り込みます。 • 24 時間いつでも番組データをダウンロードできます。 • 時計サーバーを利用して、本機の時刻を自動調整することができます。 • 内蔵チューナー（地上アナログ）と接続した外部機器／チューナーを合わせて、最大 100 チャンネルまで番組表で表示できます。 データ提供元： • 株式会社日刊編集センター • スカパー JSAT 株式会社 （2009 年 6 月現在）

Q ***デジタル放送の番組表データは何から取得するの？***

デジタル放送波から番組データを受信します。

• デジタル放送波（地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタル）から送信される番組データを、アンテナから自動的に受信します。
• インターネット環境などがなくても、番組データを取り込むことができます。
• 8 日分の番組データを取り込みます。（放送局によって変わる場合があります。）
• テレビの放送波を利用して、本機の時刻を自動調整します。
• 番組表からの録画予約中に番組の放送時間に変更があっても、リアルタイムに対応します。
• 内蔵デジタルチューナー（地上デジタル／ BS・110 度 CS デジタル）は最大 2100 チャンネルまで表示します。

Q ***本機につないだ外部チューナー（CATV など）の番組表データはどうすれば表示できるの？***

番組表の情報取得には、iNET を利用します。
設定のしかたは、⇨「外部機器チューナー（CATV など）の番組を番組表で表示させるには」（77 ページ）をご覧ください。

「はじめての設定」の補足

地上アナログ放送で映らないチャンネルがあるときは

⇨「テレビで映る地上アナログ放送局を確かめる」(5 ページ) で表にメモした放送局が映らないことがあります。

■映らない場合は、原因として以下の点などが考えられます

●お住まいがCATV（ケーブルテレビ)などにご加入の場合

放送電波の受信環境が悪い地帯や、マンションなどの集合住宅の場合、無料で CATV サービスが提供されていることがあります。この場合、CATV 会社によっては放送局のチャンネル割当が、通常と異なることがあります。

●お住まいが放送電波の交差する地帯の場合

放送電波が交差する地帯の場合、受信地域選択が複雑になるため、映るチャンネルが含まれないことがあります。
以下の設定例を参考に、映らない放送局を映るようにしましょう。

■(例 1)「③地上アナログチャンネルの設定」の手順 ❸ で受信確認できないチャンネルがあるときは

●テレビで映る放送局

映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号
NHK 総合	1CH ／ 1
放送大学	16CH ／ 2
NHK 教育	3CH ／ 3
日本テレビ	4CH ／ 4
TOKYO MX	14CH ／ 5
ＴＢＳ	6CH ／ 6
フジテレビ	8CH ／ 8
テレビ朝日	10CH ／ 10
テレビ東京	12CH ／ 12
TVK テレビ※	42CH ／ 13
テレ玉	38CH ／ 14
チバテレビ	46CH ／ 15

●本機で映る放送局(＊の放送局が設定を変更しないとテレビと同じリモコン番号で映らない)

映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号
NHK 総合	1CH ／ 1
放送大学	16CH ／ 2
NHK 教育	3CH ／ 3
日本テレビ	4CH ／ 4
TOKYO MX	14CH ／ 5
ＴＢＳ	6CH ／ 6
フジテレビ	8CH ／ 8
テレビ朝日	10CH ／ 10
テレビ東京	12CH ／ 12
＊ TVK テレビ※	42CH ／ 7
＊テレ玉	38CH ／ 11
＊チバテレビ	46CH ／ 9

※番組表情報取得先 (ADAMS または iNET) によっては、異なる放送局名が表示がされる場合がありますが、情報の取得などに問題はありません。

上記は、CATV が提供している放送局のリモコン番号と、本機の地域設定のリモコン番号が異なる場合の例です。手動で変更する必要があります。本機でも映るように変更しましょう。

はじめての設定　地上アナログチャンネル一覧[23区]				2/11
リモコン	受信CH	チャンネル名	番組表	スキップ
7	42	TVK テレビ	表示	受信
8	8	フジテレビ	表示	受信
9	46	チバテレビ	表示	受信
10	10	テレビ朝日	表示	受信
11	38	テレ玉	表示	受信
12	12	テレビ東京	表示	受信

「スキップ」欄

❶ ⇨33ページ「地上アナログチャンネル一覧」画面で、チャンネルサーチの結果、映らないリモコン番号の「スキップ」欄を▲・▼・◀・▶で選ぶ

この例の場合、チャンネルサーチした結果リモコンのボタン番号が合わない、「7」、「9」、「11」になります。
このリモコン番号を必ず、【受信】から【スキップ】に変更します。

はじめての設定　地上アナログチャンネル一覧[23区]				2/11
リモコン	受信CH	チャンネル名	番組表	スキップ
7	42	TVK テレビ	非表示	スキップ
8	8	フジテレビ	表示	受信
9	46	チバテレビ	非表示	スキップ
10	10	テレビ朝日	表示	受信
11	38	テレ玉	非表示	スキップ
12	12	テレビ東京	表示	受信

❷ (決定)を押して【スキップ】に変更する

リモコンのボタン番号が合わない、映らないチャンネルを全て、【スキップ】に変更します。
【スキップ】にすると、自動的に「番組表」欄も連動して【表示】から【非表示】に変更します。
※ (決定)を押すたびに、【受信】⇔【スキップ】が切り換わります。

はじめての設定　地上アナログチャンネル一覧[23区]				3/11
リモコン	受信CH	チャンネル名	番組表	スキップ
13	13	(未設定)	非表示	スキップ
14	14	(未設定)	非表示	受信
15	15	(未設定)	非表示	スキップ
16	16	(未設定)	非表示	受信
17	17	(未設定)	非表示	受信
18	18	(未設定)	非表示	スキップ

「受信 CH」欄

❸ 本機で受信できないリモコン番号の「受信CH」欄を▲・▼・◀・▶で選び、(決定)を押す

この例の場合、映らない「13」、「14」、「15」に正しい受信 CH を割り当てます。

「はじめての設定」の補足・つづき

ワンポイント

CATV などにご加入のとき

CATVなどの場合、リモコン番号と受信CHが、本機の設定内容と異なることがあります。この例の場合、CATV 会社から提供されている「tvk」はリモコン番号の 13 に設定されています。13 の受信 CH が本機の設定とは異なるため、映りません。【受信 CH】を変更したあとは、【チャンネル名】を変更します。

❹ 【受信CH】を▲・▼で変更する

⇨手順❸（39 ページ）のサーチ結果では、「受信 CH」が「13」に設定されています。
これを、▲・▼を押して「42」に変更します。
「42」という数値については、⇨「地域名と放送局一覧表」(98 ページ）をご覧ください。東京 23 区で「tvk」（TVK テレビ）の「受信 CH」が「42」となっています。この数値にしたがって変更します。
受信 CH の番号を変更すると、映らなかった放送局の放送中の番組が、映るようになります。
同じように、映らない放送局の「受信 CH」を変更します。

❺ 「チャンネル名」欄を▲・▼・◀・▶で選び、㊇を押す

❻ 【地上アナログ[23区]】を▲・▼で選び、㊇を押す

❼ 【TVKテレビ】（または【tvk】）を▲・▼・◀・▶で選び、㊇を押す

「チャンネル名」に【TVK テレビ】（または【tvk】）が表示されます。

❽ 「スキップ」欄を▲・▼・◀・▶で選ぶ

【スキップ】を▲・▼を押して【受信】にします。
【受信】にすると「番組表」欄も連動して【表示】になります。
スキップ設定が【スキップ】になっていると、せっかく受信 CH を変更して映るようになっても、そのチャンネルをとばして選局してしまいます。また、【スキップ】に設定されているチャンネルは、番組表でも表示されません。
映るチャンネルは、【スキップ】から【受信】に変更します。

❾ ≪／≫を押して、他の映らないリモコン番号を選ぶ

手順❹～❽をくり返します。

変更が終わったら、【チャンネル別変更完了】を▲・▼・◀・▶で選び、㊇を押して次へ進みます。

■（例 2）「③地上アナログチャンネルの設定」の手順 ❸ で受信確認できないチャンネルがあるとき

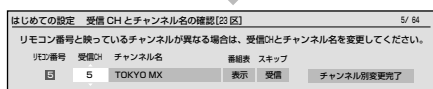
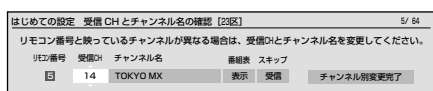
●テレビで映る放送局

映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号
NHK 総合	1CH ／ 1
NHK 教育	3CH ／ 3
日本テレビ	4CH ／ 4
TOKYO MX	5CH ／ 5
ＴＢＳ	6CH ／ 6
TVK テレビ※	7CH ／ 7
フジテレビ	8CH ／ 8
チバテレビ	9CH ／ 9
テレビ朝日	10CH ／ 10
テレ玉	11CH ／ 11
テレビ東京	12CH ／ 12

●本機で映る放送局（＊の放送局が設定を追加や変更しないと映らない）

映っている放送局名	表示 CH とリモコンのボタン番号
NHK 総合	1CH ／ 1
NHK 教育	3CH ／ 3
日本テレビ	4CH ／ 4
＊ TOKYO MX	5CH ／ 5
ＴＢＳ	6CH ／ 6
＊ TVK テレビ※	7CH ／ 7
フジテレビ	8CH ／ 8
＊チバテレビ	9CH ／ 9
テレビ朝日	10CH ／ 10
＊テレ玉	11CH ／ 11
テレビ東京	12CH ／ 12

※ 番組表情報取得先（ADAMS または iNET）によっては、異なる放送局名が表示がされる場合がありますが、情報の取得などに問題はありません。

この例の場合は、CATV が提供している放送局の受信 CH を変更している可能性があります。この場合、本機と「受信 CH」の設定が異なるため、映らない「受信 CH」を CATV 側の同じ「受信 CH」に変更する必要があります。また、⇨ 手順 ❷（32 ページ）でチャンネルサーチしなかったときなども、本機の初期状態で設定してある受信 CH と、実際の放送局の受信 CH が異なる場合は、変更が必要です。

❶ ⇨33ページ「受信CHとチャンネル名の確認」画面で、映らないリモコン番号の「受信CH」欄を◀・▶で選ぶ

ここでは変更例として、リモコン番号「5」で「TOKYO MX」が映るようにする説明で進めます。

リモコン番号「5」の「受信 CH」を選びます。

変更したい「受信 CH」を選び、番号を変更します。
この場合、「受信 CH」の「14」を、リモコン番号と同じ「5」に変更します。▲・▼を押して変更しましょう。

ほかの映らない放送局も、同じ要領で「受信 CH」を変更してみてください。また、（例 1）（⇨39 ページ）と同様に、【チャンネル名】、【番組表】や【スキップ】の設定も確認してください。

変更が終わったら、【チャンネル別変更完了】を▲・▼・◀・▶で選び、㊡を押して次へ進みます。

ワンポイント

地上アナログ放送の受信 CH 設定と番組表の表示について

地上アナログ放送の受信 CH 設定は、「はじめての設定」以外でも設定や変更をすることができます。
⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（62 ページ）をご覧ください。ただし、【チャンネル設定変更】で受信 CH を変更したときは、番組表の設定は連動して変更されません。その場合は、⇨「番組表で表示するチャンネルを追加／変更する」（76 ページ）をご覧いただき、番組表の設定を確認してください。

ソフトウェアのバージョンアップについて

お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、東芝が本機内部のソフトウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
ソフトウェアをバージョンアップするには以下の方法があります。

BS デジタル、または地上デジタル放送の放送波に入れたソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードする	イーサネット通信（LAN 端子の接続）によって、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。

このほかに当社ホームページからバージョンアップソフトをダウンロードして、本機のソフトウェアをバージョンアップする方法があります。
詳しくは、http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/ をご覧ください。
アナログ放送のみご利用の方は、ネットワークをご利用ください。

■「ソフトウェアのダウンロード」について

設定メニュー【はじめての設定／管理設定】内の【ソフトウェアのダウンロード】には、以下の二つがあります。（設定方法は同ページ「設定の手順」をご覧ください）

●【放送からの自動ダウンロード】

設定を「する」にすると、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。
自動でダウンロードさせたくないときは「しない」に設定すると、ダウンロードを自動的に行ないません。

●【サーバからのダウンロード開始】

イーサネット通信を使って、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。【サーバからのダウンロード開始】を選んだあとに決定を押すとメッセージが表示されます。更新を行なう場合は【はい】を選び、決定を押します。【はい】を選んだあと、サーバー上に更新情報がない場合は、メッセージが表示されダウンロードは行ないません。

■ダウンロードの動作について

- 放送からの自動ダウンロードは、電源が「待機」状態のときにだけ、実行されます。
- 放送からの自動ダウンロードの実行中は表示窓に「UPDATE」が表示されます。「UPDATE」中は、電源の入／切などの操作はできません。
- ダウンロードがすべて完了したあと、次に電源を「入」にしたときにバージョンアップが成功したことをお知らせするメッセージが表示されます。その後は通常どおり操作できます。

ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアのダウンロードの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。動作しなくなった場合は、「RD シリーズサポートダイヤル」（⇨裏表紙）にご連絡ください。

●設定の手順

1. **スタートメニュー を押して、【設定メニュー】を選び、決定を押す**
2. **【はじめての設定／管理設定】を選び、決定を押す**
3. **【ソフトウェアのダウンロード】を選び、決定を押す**
4. **【放送からの自動ダウンロード】または、【サーバからのダウンロード開始】を選び、決定を押す**

   【放送からの自動ダウンロード】は、【する】または【しない】を選び、決定を押します。
   【サーバからのダウンロード開始】は、決定を押すとメッセージが表示されます。メッセージにしたがって操作してください。

お知らせ

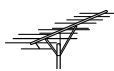
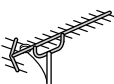
- 「放送からの自動ダウンロード」は、悪天候の場合などには実行されないことがあります。

その他の機器とつなぐ（応用の接続）

アンテナやテレビと接続するときのヒント

本機に接続できるアンテナの種類、必要なケーブル類やテレビと接続するときの注意やお知らせなど、詳しく知りたいときにご活用ください。

本機に接続できる各放送波用アンテナについて

■地上アナログ／デジタル、BS・110度CSデジタルのアンテナについて

地上アナログ放送用 VHFアンテナ	• 地上アナログ放送の視聴に必要なアンテナです。VHFアンテナでは地上デジタル放送を受信できません。地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置が必要です。 • 地上アナログ放送の受信に、VHFアンテナを使用しない地域もあります(UHFアンテナで受信)。 • 地上アナログ放送も2011年までの間に受信したい場合は、ご使用中のVHFアンテナにV/U混合器なども必要です。
地上アナログ/地上デジタル放送用 UHFアンテナ	• 地上デジタル放送に対応しているかご確認ください。対応している場合はご使用中のアンテナで受信できますが、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要です。 • 地上デジタル放送に対応していない場合は、地上デジタル放送に対応したアンテナが必要です。 • 地上アナログ放送を2011年までの間に受信したい場合はUHF全帯域に対応しているアンテナへの取替えが必要な場合もあります。
BS・110度CSデジタル対応アンテナ	• BS・110度CSデジタル放送の視聴に必要なアンテナです。 (BS·110度CSデジタル放送を見るためには、BS·110度CS共用アンテナをお使いください。) • アンテナとの接続には、「BS·110度CSデジタル対応同軸ケーブル(市販品)」をお使いください。 (BS・110度CSデジタル対応同軸ケーブルは、110度CS帯域(2150MHz)まで対応しているものをお使いください。)

各種放送波用アンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。

接続に必要な同軸ケーブルについて

地上デジタル／アナログ放送のアンテナ端子と接続する場合

同軸ケーブル(付属品)

• 接続する内容によっては、付属の同軸ケーブル以外にも、市販の同軸ケーブルが複数必要になります。地上デジタル／アナログ対応(75 Ω)のものをお使いください。付属品は地上デジタル／アナログ対応品です。

BS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子と接続する場合

BS・110度CSデジタル対応同軸ケーブル(市販品)

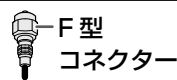
• 接続する内容によっては、対応の同軸ケーブルが複数必要になります。BS・110度CSデジタル対応(75Ω)のものをお使いください。

■同軸ケーブル(付属品)について

テレビと接続するときは…

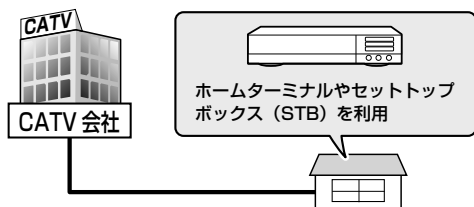
• 同軸ケーブル(付属品)のプラグ部分がテレビのアンテナ入力端子と合わないときは、加工が必要です。販売店にご相談ください。

■同軸ケーブルがF型コネクタータイプのときは

• 今までお使いの、または市販の同軸ケーブルがF型コネクタータイプのときは、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。

地上アナログおよびデジタル放送用アンテナとの接続には、同軸ケーブルをおすすめします

平行フィーダー線を使用すると、受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。

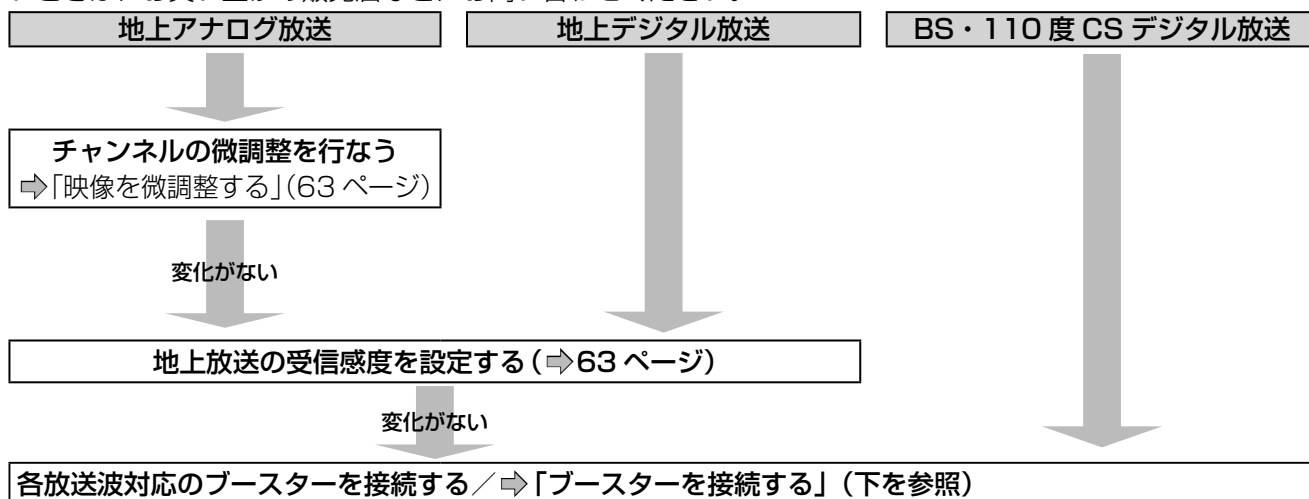
• 平行フィーダー線を使用するときは、平行フィーダー線をBS・110度CSデジタル対応アンテナケーブルから妨害を受けない距離まで離してください。(同軸ケーブルを使用する場合でも、妨害を受けるようであれば、BS・110度CSデジタル対応アンテナケーブルから離してみてください)
• アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。

CATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合は

• 各放送波の受信に、アンテナではなくCATV(ケーブルテレビ)のホームターミナル／セットトップボックス(STB)をご利用の場合は、⇨「CATV(ケーブルテレビ)のホームターミナル／セットトップボックス(STB)とのつなぎかた」(20ページ)ご覧ください。

地上デジタル放送のパススルー方式について

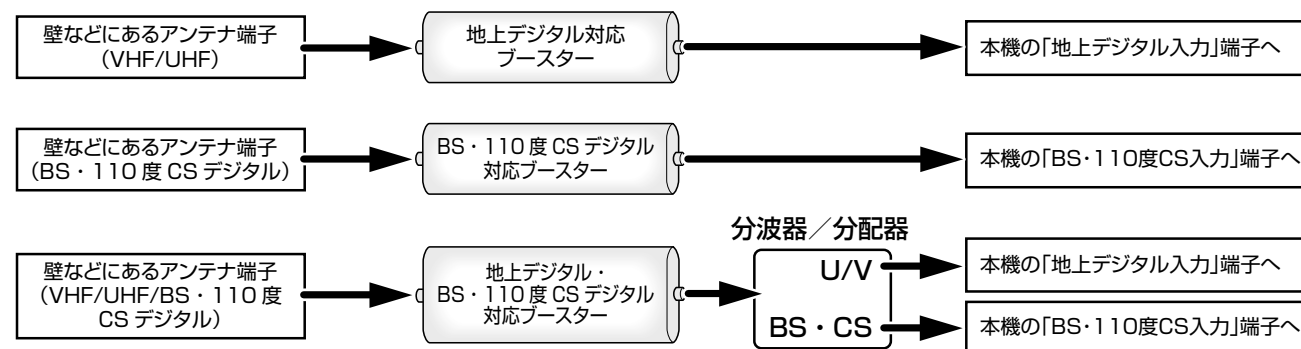
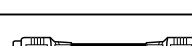
• CATV会社が地上デジタル放送の伝送方式を**パススルー方式**で行なっている場合、本機で受信できます。パススルー方式とは、地上デジタル放送の周波数帯域・変調方式を変更することなく伝送する方式のことです。

「映りが悪い」「ノイズが出る」などの場合は…

本機で地上アナログ／デジタル放送、または BS・110 度 CS デジタル放送を視聴中に、「画質が悪い」、「映像が不安定」「映りが悪い」、「ノイズが出る」などの場合は、以下の方法をお試しください。また、変化がないときは、お買い上げの販売店などにお問い合わせください。

お知らせ
- 上記の方法を行なっても、設置されているアンテナの感度、放送地域や受信環境によっては、変化がない場合もあります。

■ ブースターを接続する

本機で地上アナログ／デジタル放送、または BS・110 度 CS デジタル放送を視聴中に「映りが悪い」、「ノイズが出る」などの場合は、各放送波（地上、BS・110 度 CS デジタル）対応の市販ブースターを使用して、アンテナ線を接続してください。
ブースターに関しては、販売店などにお問い合わせください。

ブースター接続例

アンテナやテレビと接続するときのヒント・つづき

本機につなぐテレビの入力端子について

■本機の映像出力端子と画質について

本機は、ハイビジョン高画質放送に対応しています。また対応する出力端子を備えています。お使いのテレビの接続端子に合わせて、ケーブルやコード、接続方法を、以下の表をご参照のうえお選びください。

接続おすすめ度	接続に使うケーブル／コードと対応画質について		オートワイド機能	特徴
一番おすすめ！	高画質対応	HDMI ケーブル（市販品）HD ／ SD 画質に対応	対応	**HDMI ケーブルで接続する（⇨22 ページ）** 本機の映像をお楽しみいただくのに、一番おすすめの接続方法です。HDMI 端子は、映像と音声の両方の信号に対応しているので、1 本のケーブルで接続が済みます。 また、本機が出力できるすべての映像解像度に対応しています。 レグザリンク機能（HDMI 連動機能⇨50 ページ）に対応した当社製 REGZA シリーズ（テレビ）と接続すると、テレビから連動して操作するなどが可能になります。
次におすすめ！		D 端子ケーブル（市販品）HD ／ SD 画質に対応	対応	**D 端子ケーブルで接続する（⇨23 ページ）** 本機の D 端子は、480i（インターレース：D1）から 720p（プログレッシブ：D4）までに対応しています。 市販の DVD ビデオディスクなどには、制作側によって解像度制限があるものがあります。その場合、再生時に制作側が許可している解像度に、自動的に変更されることがあります。 音声の接続も必要です。
上の二つの端子がテレビに無いときに		S 映像接続コード（市販品）SD 画質に対応	対応	**S 映像接続コードで接続（⇨23 ページ）** コンポジット映像（黄）端子よりも画質はきれいですが、S1 端子はハイビジョン映像をそのままの画質で楽しむことができません。 映像解像度は 480i（インターレース：D1）のみです。 音声の接続も必要です。
上の三つの端子がテレビに無いときに	標準画質対応	映像・音声接続コード（付属）SD 画質に対応	非対応	**映像・音声接続コードで接続（⇨23 ページ）** ほとんどのテレビやモニターなどにあるのが、コンポジット映像（黄）端子です。コンポジット映像（黄）端子では、ハイビジョン映像をそのままの画質で楽しむことができません。 映像解像度は 480i（インターレース：D1）のみです。

HD：高画質デジタルハイビジョン放送／ SD: 標準テレビ放送

■ワイドテレビと接続するときは（オートワイド機能対応端子について）

ワイドテレビと接続するときは、アスペクト比（画面の縦：横比）の異なった映像を自動的に識別する機能（オートワイド）を持つ、テレビの S1（または S2）、D 端子または HDMI 映像入力端子と接続してください。
ワイド放送や市販の DVD ビデオディスクのなかには、映像がフルモードで記録されたものがあります。このような場合には、S1（または S2）、D 端子または HDMI 映像端子で接続していると、再生時にワイドテレビ画面で自動的に 16:9 のアスペクト比で映像を表示します。

■HDMI 端子や D 端子をおすすめする理由

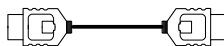
ハイビジョン画質対応のテレビとつないで美しい映像が楽しめる！
480p の映像や、ハイビジョン高画質映像の番組をお楽しみになるには、高解像度（720p、1080i、1080p※）に対応したテレビ（プログレッシブ方式テレビやハイビジョン対応テレビ）を、本機の HDMI 端子（⇨22 ページ）または D 端子（⇨23 ページ）とつないでお使いになることをおすすめします。
これら以外のテレビでは、ハイビジョン高画質映像番組を見ることはできますが、ハイビジョン映像そのままの画質でご覧いただくことはできません。

※ 1080p は、HDMI のみ対応です。

■HDMI ケーブルで接続するときの確認と注意

HDMI とは？

デジタル家電／ AV 機器間をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス（接続システム）です。
HDMI 端子付きのテレビやモニター、AV アンプと本機の間を、HDMI ケーブル（市販品）を使って接続することで、デジタル映像／音声信号を高品質のまま伝送することができます。また本機は、著作権保護技術である HDCP を採用しています。接続できる機器は、HDCP 機能に対応したものに限ります。HDCP 機能に対応していない機器との接続性は保証していません。接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。

- 接続後は、本体表示窓に「HDMI」と点灯しているか確認してください。
- HDMI の信号が確認されない場合に、本体表示窓にエラーが表示されることがあります。この場合は、HDMI ケーブルを抜き差しするか、接続機器の電源を入れ直してください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（HDMI™）の表示があるケーブルをお使いください。
- 本機の HDMI 出力端子とテレビやモニターの DVI 入力端子 (DVI-D や DVI-I 入力端子など) とを接続するときは、接続する機器が著作権保護技術である HDCP 機能に対応していることが必要です。ただし、接続した機器や出力映像によっては、映像表示に制限があったり、表示されないことがあります。また、HDMI 出力端子は、VGA 入力端子との接続には対応していません。
- HDMI は新しい技術です。今後、HDMI の技術が進歩した場合、本機では対応できなくなることがあります。
- 1080p（D5）は、HDMI のみ対応しています。

■市販の DVD ビデオディスクなどをお楽しみいただくときの注意

市販の DVD ビデオディスクなどには、コピーコントロール情報、出力解像度制限情報などが含まれており、本機はこれらの情報に準じて映像を出力します。ディスク製作者側が出力解像度制限により、D 端子からのアナログハイビジョン出力を禁止している場合、出力方式は、「480p（D2）」に自動的※に切り換わります。本来の解像度（1080i（D3）／ 720p（D4）／ 1080p（D5））でお楽しみいただくには、HDCP 対応の HDMI 端子付き機器（1080i（D3）／ 720p（D4）／ 1080p（D5）との接続をおすすめします。HDMI 端子の映像出力の場合は、出力信号を切り換えたとおりに出力されます。
※ HDMI 端子と同時に接続しているときは、自動的に切り換わらず、D 端子からは映像が出力されません。

本機の映像出力端子と画質について（端子に合った映像出力信号に切り換える）

■接続した端子に合わせて解像度の設定をする

テレビとの映像接続方法	必要な設定（⇨操作編 182 ページ）
「映像・音声接続コード」の映像（黄）で接続	【設定メニュー】の【操作・表示設定】内にある【映像出力切換設定】を【HDMI 優先】または【切換可】に設定
「S 映像接続コード」で接続	（同上）

テレビとの映像接続方法	必要な設定（⇨操作編 182 ページ）
「D 端子ケーブル」で接続	【設定メニュー】の【操作・表示設定】内にある【映像出力切換設定】を【切換可】に設定
「HDMI 接続ケーブル」で接続	【設定メニュー】の【操作・表示設定】内にある【映像出力切換設定】を【HDMI 優先】に設定

1 リモコンの［解像度切換］をくり返し押す

押すたびに、以下のように切り換わります。

表示なし（D1）→ D2 → D3 → D4 → D5

本体表示窓の表示	出力信号	対応する出力端子
（表示なし）	インターレース：480i（D1）	全て対応
D2	プログレッシブ：480p（D2）	D ／ HDMI
D3	インターレース：1080i（D3）	D ／ HDMI
D4	プログレッシブ：720p（D4）	D ／ HDMI
D5	プログレッシブ：1080p（D5）	HDMI のみ

- D 端子でテレビなどと接続したときは、機器のスキャン方式に合った映像信号が出力されるよう信号の種類を選んでください。
- 【映像出力切換設定】が【HDMI 優先】に設定されている場合で、本体表示窓に「HDMI」が点灯しているときは、接続している機器に対応した解像度に切り換わります。

お知らせ

- 接続するテレビやモニターなど、機器の特性、映像ソースの解像度（普通のテレビ放送やハイビジョン放送）、本製品の映像出力の解像度（480i（D1）～ 1080p（D5））の組み合わせによっては、高い解像度の出力が最適ではないこともあります。お好みに合わせて、出力の解像度を切り換えてお楽しみください。

本機に接続できる外部機器について

接続できる機器の確認

本機に接続できるおもな外部機器は以下のとおりです。接続や設定のしかたはそれぞれの参照ページをご覧ください。
• 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
• 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機

接続できる外部機器や端子					
ホームターミナル／セットトップボックス	デジタル音声入力端子（光）付き HDMI 入力端子付き	当社製 RD 間 i.LINK ダビング HD 機能対応 RD シリーズ D-VHS デッキ	ブロードバンド常時接続対応機器（ADSL モデムおよびルーターなど）	VHS ビデオデッキ	USB HDD、USB 接続キーボードなど
CATV チューナー	AV アンプ	i.LINK 端子付き機器	ブロードバンド常時接続	ビデオデッキなど	USB 機器
接続： ⇨20、21 ページ	接続： ⇨47 ～ 49 ページ 設定： ⇨90 ページ	接続： ⇨49 ページ	接続： ⇨25 ページ 設定： ⇨82 ページ	接続：操作編 ⇨166 ページ	接続： ⇨52 ページ 設定： ⇨53 ページ

お知らせ
• 外部機器を接続するためのコードやケーブルは、接続する機器や設置条件に合わせて、市販の適切なものを別途お買い求めください。
• 接続機器の音声出力がモノラルのときは、市販のステレオ／モノラル変換コードをご使用ください。
• 録画が禁止されている番組や映像ソフトなどは、本機の内蔵HDD および USB端子に接続した USB HDD に録画できません。

AV アンプと接続する

ドルビーデジタル、AAC、DTS 音声などに対応した AV アンプと接続して、5.1ch などのマルチチャンネルサウンドを楽しめます。
• デジタル音声出力をお使いになるときは、対応した AV アンプが必要です。

デジタル音声出力端子を使う

※スピーカー類の配置は一例で、目安です。
お使いの環境に合わせて設置してください。

■ 必要な設定について

【設定メニュー】＞【再生機能設定】＞【デジタル音声出力 光】を設定してください。（⇨90 ページ）

ご注意

デジタル音声出力端子を使うときの注意
• 本機のビットストリーム/PCM（光)端子に、ドルビーデジタル、AAC、DTSのデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、【デジタル音声出力 光】を必ず【PCM】にしてください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

HDMI端子を経由する

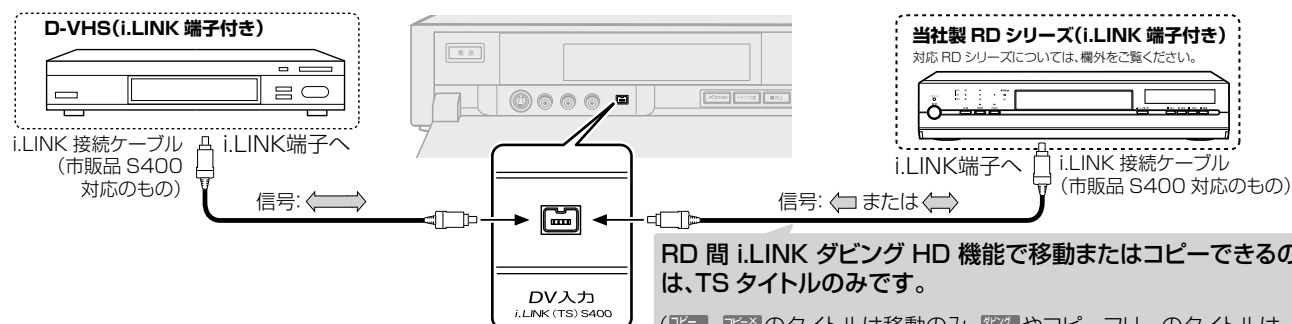
■ 必要な設定について

【設定メニュー】＞【再生機能設定】＞【デジタル音声出力 HDMI】を設定してください。（⇨90 ページ）

i.LINK 端子付き機器と接続する (D-VHS や RD 間 i.LINK ダビング HD 機能対応 RD シリーズとの接続) ※RD-S1004K のみ

i.LINK は、i.LINK 端子を持つ機器間でデジタル映像信号やデジタル音声信号、データ信号を双方向で通信できる、シリアルインターフェイスです。i.LINK ケーブル一本で接続することができます。

- D-VHS と i.LINK ケーブルを使って接続することで、デジタル信号を移動またはコピーすることができます。機能について詳しくは、⇨操作編 163 ページをご覧ください。
- i.LINK 端子付き当社製 RD シリーズと i.LINK ケーブルを使って接続することで、TS 録画タイトルを移動またはコピーすることができます。機能について詳しくは、⇨操作編 163 ページをご覧ください。

（例）i.LINK端子付きD-VHSまたはRD間i.LINKダビングHD機能対応RDシリーズと接続する

■ 接続についてのご注意

接続するときには、必ず 4 ピン、「S400」対応の i.LINK 専用ケーブル（市販品）をご使用ください。

■ D-VHS 方式でダビングするときのご注意

接続した D-VHS では、D-VHS 用のビデオテープをご使用ください。

i.LINK は、IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）1394-1995 およびその拡張仕様を示す呼称です。
この IEEE1394-1995 は、電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINK と i.LINK ロゴ「 i 」は、ソニー株式会社の商標です。

RD 間 i.LINK ダビング HD 機能で移動またはコピーできるのは、TS タイトルのみです。

（コピー1回、コピー1回のタイトルは移動のみ、ダビング10やコピーフリーのタイトルは移動およびコピーができます。）

- 移動またはコピーのダビング先（受け側）、ダビング元（送り側）の両方となる機種は、RD-A600、RD-A300、RD-A301、RD-S302、RD-S502、RD-X7、RD-X8、RD-S503、RD-X9、RD-S1004K です。（2009 年 6 月現在）
- ダビング元のみ対応の RD シリーズについては、欄外をご覧ください。
- ダビング元として、移動のみか、移動／コピーの両方ができるかについては、お使いの RD シリーズの取扱説明書でご確認ください。

お知らせ

著作権保護に対応した i.LINK 対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator) というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。

- また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- 本機はi.LINK機器1台のみを認識します。
- 本機からi.LINK機器の電源の入／切や再生などを操作することはできません。

メモ 当社製 RD 間 i.LINK ダビング HD 機能対応の当社製 RD シリーズ（2009 年 6 月現在）

対応機種：
RD-A600、RD-A300、RD-A301、RD-S302、RD-S502、RD-X7、RD-X8、RD-S503、RD-X9、RD-S1004K

ダビング元のみの対応機種：
RD-Z1、RD-XD91、RD-X6、RD-T1、RD-XD92D、RD-A1、RD-S600、RD-S601

本機に接続できる外部機器について・つづき

レグザリンク機能について

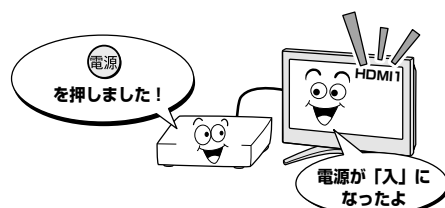
レグザリンクとは？
レグザリンク機能に対応した当社製 REGZA シリーズ (テレビ) と RD シリーズ（レコーダー) を HDMI ケーブルで接続することで、テレビとの連動操作が可能になる機能（HDMI 連動機能）です。
テレビの詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

レグザリンク対応の REGZA シリーズ機種について（2009 年 5 月現在）
ZX8000 シリーズ、ZH8000 シリーズ、Z8000 シリーズ、FH8000 シリーズ、H8000 シリーズ、C8000 シリーズ、A8000 シリーズ、ZH7000 シリーズ、Z7000 シリーズ、FH7000 シリーズ、C7000 シリーズ、H7000 シリーズ、ZH500 シリーズ、ZV500 シリーズ、RH500 シリーズ、CV500 シリーズ、AV550 シリーズ、RF350 シリーズ、C3500 シリーズ、Z3500 シリーズ、32C3800、26C3700、19A3500

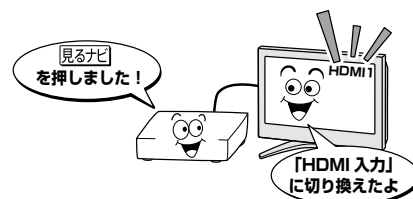
■こんな機能が使えます

レグザリンク機能 **その 1**

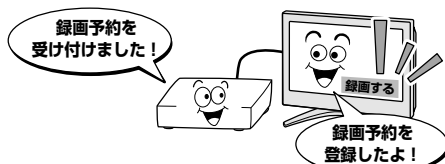
テレビの電源を自動で「入」にします

電源 などのボタンを押すと、テレビの状態が「切」のとき、自動的に「入」になります。

レグザリンク機能 **その 2**

テレビの入力を自動で切換えます

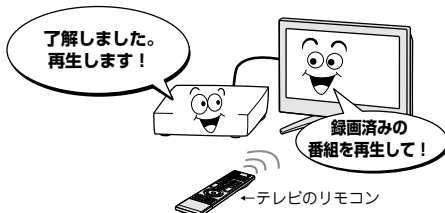
見るナビ などのボタンを押すと、テレビの画面が RD（以下本機）の画面に自動的に切り換わります。

レグザリンク機能 **その 3**

テレビの番組表を使って本機に予約ができます

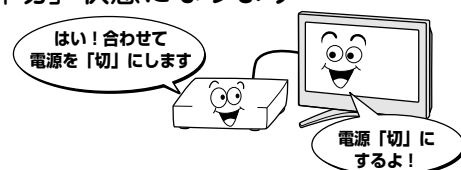
テレビの番組表を見ていて気になる番組があったときは、予約登録すると本機に録画予約することができます。

レグザリンク機能 **その 4**

テレビのリモコンを使って本機を操作できます

テレビのリモコンを使って、本機に録画されている番組の再生などができます。

※テレビのリモコンを使って本機を操作できる機能については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

レグザリンク機能 **その 5**

テレビが電源「切」になると連動して本機も「切」状態になります

本機はテレビに映像を映し出す機器です。
映し出すテレビの電源を「切」にすると、本機の電源を「入」にしておく意味がありません。
節電対策としても使える機能です。

本機とテレビの接続のしかた

本機の設定のしかた

1. 本機とテレビの電源を入れる
2. テレビの設定を行なう（接続したテレビの取扱説明書をご覧ください）
3. 本機の設定を行なう
   - HDMI 連動機能のための設定です。⇨ 操作編「機能の設定と変更」の「HDMI 連動設定」（182 ページ）をご覧ください。

     →「利用する」を選びます。

   ※本機能を使用しないときは、「利用しない」を選びます。

詳しく知りたい！

接続方法・・・・・・・⇨「HDMI 端子付きテレビとつなぐ」（22 ページ）
HDMI 端子について・・⇨「本機につなぐテレビの入力端子について」（46 ページ）

■レグザリンク機能を使って操作する

本機とテレビの電源を同時に「入」にする

本機とテレビの電源がどちらも「切」状態のときに、本機のリモコンの（電源）や本体の［電源］を押すことで、本機とテレビ両方の電源を「入」にします。テレビの操作は不要です。

• テレビの画面も、本機を接続した HDMI 入力に切り換わります。

起動している本機の操作で、テレビの電源を「入」にする

テレビの電源が「切」状態のときに下の表のボタンを押すと、テレビの電源が自動的に「入」になり、それぞれ対応する画面が表示されます。

• テレビの画面も、本機を接続した HDMI 入力に切り換わります。

	対応するリモコンボタン							
シンプルリモコン	電源	スタートメニュー	―	予約	―	見ながら	番組表	▶
フルリモコン	電源	スタートメニュー	見るナビ	番組ナビ	編集ナビ	見ながら	番組表	5 ▶

• 上記のボタンを押しても、本機が動作しているときなどは、機能しない場合があります。

本機の電源を自動的に「切」にする

テレビの電源を「切」にすると連動して本機の電源も「切」状態にします。

• 本機が録画中および録画準備中、ダビング中など、本機が動作しているときは、「切」状態になりません。

テレビのリモコンを使って本機を操作する

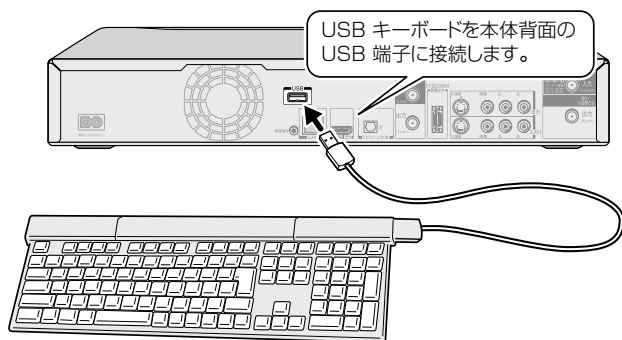
テレビのリモコンを使った操作は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

HDMI 連動機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用した HDMI で規格化されているテレビなどを制御するための機能です。
CEC 規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作が行なえますが、当社対応品以外については動作を保証するものではありません。

本機に接続できる外部機器について・つづき

USB 機器との接続

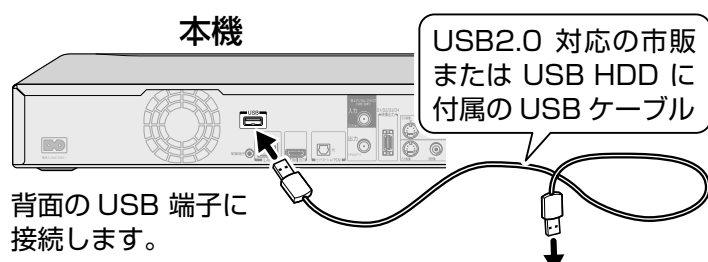
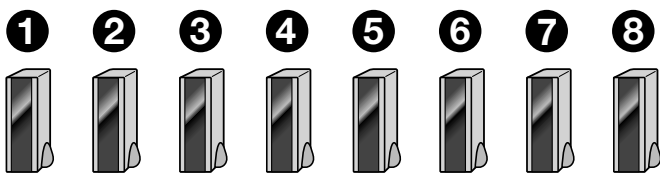
本機は、背面に一つ、USB 端子が用意されています。
この USB 端子には、「USB キーボード」や「USB HDD」を接続できます。

USBキーボードを使って文字を入力する

市販の USB キーボードを接続すると、文字入力画面でキーボードから文字を入力できます。
接続するキーボードの取扱説明書をよくお読みください。

●対応のUSBキーボードについて

DOS/V（Windwos 搭載）パソコン用の USB キーボードが使用できます。
詳しい情報は、⇨http://www.rd-style.com/ をご覧ください。

USB HDDを使って録画 / 再生する

本機の USB 端子に USB HDD を接続し、本機に登録すると、本機で受信した放送番組を録画したり、再生したりすることができます。
接続と登録について詳しくは、右ページ「USB HDD の設定：登録と解除」をご覧下さい。
録画や再生、ダビングの操作については、操作編をご覧下さい。

本機に接続できる台数は、1 台です。

本機に接続して使用する USB HDD は、**登録が必要です。**
本機に登録するときには、USB HDD に保存されている内容はすべて消去されます。
USB HDD は 8 台まで、本機に登録できます。

本機では、USB HDD と DVD を切り換えてどちらか一つを使います。両方を同時に使用することはできません。

［ドライブ切換］ボタンは、「内蔵 HDD」と「DVD または USB HDD」を切り換えます。

［ドライブ切換］ボタンを押しても HDD と DVD しか選べないときは、「DVD/USB 切換」機能で選択対象を DVD から USB HDD に切り換えてください。

1. **録画や再生などの動作をしていないときに、［クイックメニュー］を押す**
2. **[DVD から USB に切換] を▲・▼で選び、［決定］を押す**

※ 選択対象を DVD に切り換えたいときは、同様の操作で [USB から DVD に切換] を選びます。

ご注意

本機は、ハブなどを利用して USB HDD を複数台同時に接続し使用することできません。接続できる台数は 1 台です。

本機の電源が「入」のときは、接続した USB HDD の電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、USB HDD が故障したりする原因になります。取りはずすときは、⇨54 ページ「USB HDD を取りはずす」の手順に従ってください。

USB HDD の設定と解除

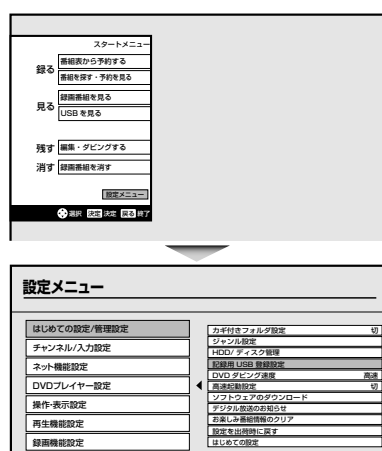
USB HDD を本機で使用するときは、以下の手順で接続し、設定（登録 / 解除）をしてください。

USB HDDを接続する

1. 本機とUSB HDDの電源が「切」になっていることを確認する
2. 本機とUSB HDDを、USBケーブルで接続する
3. USB HDDの電源を「入」にする

   本機に登録済みのUSB HDDの場合は、録画や再生が可能になります。登録していないUSB HDDの場合は、下の「**USB HDD の設定を行なう**」へ進み、本機に登録します。
4. 電源 を押し、本機の電源を「入」にする
5. テレビの電源を入れ、テレビ側の『入力切換』で本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ1）に切り換える

USB HDDの設定を行なう：本機に登録するとき / 登録を解除するとき

≫準備：左ページの「USB HDD を使って録画 / 再生する」の手順で、「USB」に切り換えておく

1. スタートメニュー を押し、【設定メニュー】を▲・▼で選び、決定 を押す

   ※動作状態によっては、選択できない項目があります。
2. 【はじめての設定/管理設定】を▲・▼で選び、決定 を押す
3. 【記録用USB登録設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

   ※選べないときは、左ページの「USB HDD を使って録画 / 再生する」の手順で、「USB」に切り換えておく
4. メッセージにしたがって、以下の手順で登録または解除を行なう

登録時：

1. 「登録一覧」で未登録の欄を選び、決定 を押す
2. ▼でディスク名の欄を選び、ディスク名を入力する

   ⇨操作編 120 ページ
3. ▼で【登録】を選び、決定 を押す

解除時：

1. 「登録一覧」で解除したい USB HDD の欄を選び、決定 を押す
2. ▼で【解除】を選び、決定 を押す

ご注意

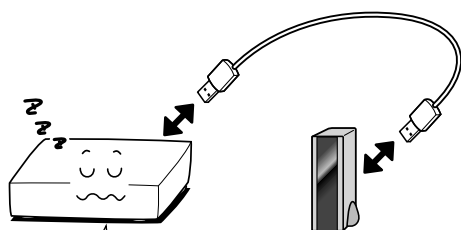
※USB HDD を本機へ登録するときは、本機専用フォーマットで初期化します。過去の保存データはすべて消去されます。

※本機への登録を解除した USB HDD は、録画ができなくなります。再生もコピー制限のない番組以外はできなくなります。登録を解除した USB HDD を、もう一度本機に登録する場合も本機専用フォーマットで初期化しますので、録画番組はすべて消去されます。登録を解除する USB HDD は、間違えないように注意してください。

本機に接続できる外部機器について・つづき

USB HDDを取りはずす

1. 電源 を押し、本機の電源を「切」にする
2. USB HDDの電源を「切」にする
3. 本機とUSB HDDを接続しているUSBケーブルを取りはずす

ご注意 本機にUSB HDDを接続するときや、取りはずすときは

USB HDD の接続や取りはずしは、**本機が待機状態(電源「切」状態)の**ときに、行なってください。

本機と USB HDD を接続したり、取りはずすときは、本機と USB HDD の電源を必ず「切」にしてください。

- DVDがドライブに選ばれている(本体のDVDインジケーター点灯時)ときは、通電時(電源「入」状態)でも、USB HDD の電源を「切」にすることで、接続や取りはずしが可能です。このとき、**USB HDDの動作中は、USB HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。**記録データが消えたり、HDDが故障したりする原因になります。
- 上に示した状態以外で接続したり取りはずすと、本機やUSB HDDの故障や誤動作、記録データ損失の原因となります。

USB HDD の録画タイトルについても、製品本体の故障や誤動作、修理などによって生じた記録データの損壊や損失について、当社は一切の責任を負いません。

本機で録画した USB HDD を他の RD シリーズやパソコンに接続しても、再生はできません。他の機器への接続によって生じた記録データの損壊や損失について、当社は一切の責任を負いません。

- 他の「RD-S1004K/S304K」や「RD-X9」に接続した場合は、コピー制限のない番組のみ再生できます。

お知らせ

- 本機に接続して録画／再生が可能なUSB HDDは、セルフパワー型です。**バスパワー型は使用できません。**
- USB HDDに録画した番組を再生できるのは、録画した本機だけです。他のRDシリーズやパソコンなどにつないでも、再生できません。
- 本機に接続して録画／再生が可能なUSB HDDの最新情報や詳細は、⇨http://www.rd-style.com/でご確認ください。

メーカー	機　種
アイ・オー・データ機器	http://www.rd-style.com/ でご確認ください。
バッファロー	http://www.rd-style.com/ でご確認ください。

- USB HDDの機種によっては、容量の公称値が同じでも実際に保存できる容量に多少の差を生じることがあります。
- 本機が対応しているUSB HDDの容量は、4GB以上〜 2TB (公称値)までです。

ネットワーク機能の動作環境と制限・免責事項について

■ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。
- http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/
- パソコンや WWW ブラウザの下記以降のバージョンについてお使いいただけるかは「RD シリーズサポートダイヤル」（⇨裏表紙）にお問い合わせください。

ネット de ナビ機能に必要な動作環境
パソコン
DOS/V 互換パソコンまたは Macintosh コンピュータ（LAN コネクタが必要）（市販品） OS ：Windows® 2000 ／ XP（日本語版） Mac OS X(10.4)（日本語版） 上記 OS 以外の環境での動作は保証していません。 カラーモニター：16 ビットカラー以上、800×600 ドット以上 必要なデバイス：LAN ポート（100Base-TX ／ 10Base-T）
WWW ブラウザ
Windows® 2000 の場合 ：Internet Explorer 6.0 Windows® XP の場合 ：Internet Explorer 6.0/7.0 Mac OS の場合 ：Safari 2.0.3

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。

ネット de ナビの機能を使うには、Java VM Ver.1.5(Mac OS X は 1.4.2) がインストールされている必要があります。最新の Java VM を入手するには、米国 Sun Microsystems, Inc. の http://java.com/ja/ のサイトでご確認ください。

ネット de ナビ機能の「メール予約機能」をご使用になる場合には、以下の環境が必要です。

- インターネット常時接続環境（ブロードバンド接続必須）
- 設置場所からパソコンで送受信可能な e メールアカウント (POP サーバーおよび SMTP サーバーを使用したサービス)
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター（DHCP 機能搭載を推奨）
- 有線の LAN 接続が家庭の環境で困難な場合、無線 LAN アクセスポイントと本機につなぐ無線 LAN イーサネットコンバーター（市販品）

■用語と商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 2000...Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system Service Pack4（SP4）日本語版
- Windows® XP...Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Macintosh、Mac、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc の商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- DLNA® および DLNA CERTIFIED ™は Digital Living Network Alliance® の商標です。

■制限事項

- ネット de ナビ機能は、本機をネットワークにつなぎ、本機が動作状態のときにだけ使用できます（ネット de ナビ機能の電源待機状態でのメール予約確認機能は除く）。
- また、「録画予約」を設定した場合とパソコンなどから WakeOnLAN 機能を利用する場合を除き、本機能で本体側の電源を「入」にすることはできません。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会 IEEE802.3 に準拠しています。
- 本機の通信状態、またはネット de ナビ機能で本機とパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください（メール予約の送受信の費用も含む）。
- なお、プロバイダ指定の回線接続機器（ADSL モデムなど）に 10BASE-T または、100BASE-TX の LAN ポートがない場合は接続できません。
- ADSL でご利用いただくには、ADSL モデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。（契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります）
- プロバイダによってはルータの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
- 詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリー５と表示された 10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル（ストレート）をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販の LAN ケーブル（ストレート）をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。

以下は、ネットdeナビ機能を対象とした制限事項になります。

- ネット de ナビ機能は、パソコン上で本機に録画した内容を一覧表示させたり、タイトル名・チャプター名・番組情報等のテキスト情報の編集や各種設定の変更、DVD-Video メニューの背景データの取込みはできますが、それ以外の情報の取得や変更、追加はできません。
- 本機とパソコンを直接接続する場合には別途市販の LAN ケーブル（ストレート）を、ハブやルータとの接続にも別途、市販の LAN ケーブル（ストレート）をご用意ください。
- 「メール予約機能」をご利用になるには、POP3 または APOP に対応したご家庭から接続可能な e メールのアカウントが別途必要です。携帯電話などのメールアドレスのように、ご家庭のパソコンからアクセスできない e メールのアカウントはご利用になれません。
- 本機が同ネットワーク経由でインターネットプロバイダのメールサーバーにアクセスできるよう、常時接続されている必要があります。なお、本機とメールサーバーとの接続に際し、パソコンの電源を入れておく必要はありませんが、パソコン側で自動的にメールサーバーからメールを受信してサーバー側のメールを受信時に削除されるように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがありますので、サーバーにコピーを残すなどの設定変更が必要です。
- 携帯電話からのメール予約には、インターネットメールを使用してください。ショートメールのような携帯電話間だけのメール機能では使用できません。
- ポータルサイトの web メール（POP3 対応していない）はメール予約の設定には使用できません（録画予約完了通知のアドレスには設定できます）。

■免責事項

- 本機能によって接続した機器に通信障害等の不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害 (事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など) に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書および本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害 (事業利益の損失、事業の中断など) に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

詳しい設定をする（応用の設定）

「はじめての設定」で設定した内容も、個別に変更できます。一部の設定は、フルリモコン専用です。

基本の設定をお好みに変更する（設定メニュー）

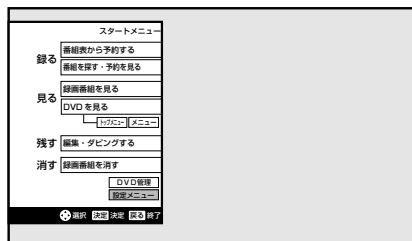
「設定メニュー」画面から、お好みに合わせて本機の設定を変更することができます。
手順にしたがってメニューを表示し、各項目の設定を変更します。

基本の操作ボタン

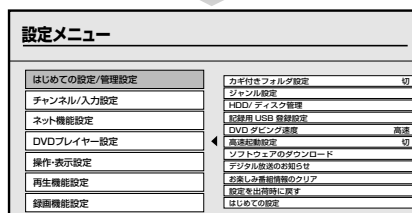
「設定メニュー」を表示する（基本の操作）

≫ 準備

- **テレビの電源を入れて、テレビ側の『入力切換』で本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換える。**

1 （スタートメニュー）を押す

2 【設定メニュー】を▲·▼で選び、（決定）を押す

「設定メニュー」が表示されます。
この画面から、各種の設定ができます。

- 「設定メニュー」は、停止中にリモコンの『クイックメニュー』を押して、【設定メニュー】を選び『決定』を押しても表示できます。

その他の便利なボタン

«（ワンタッチリプレイ） （ワンタッチスキップ）» ページの移動：

画面ページが複数あるときに、現在表示しているページの前または次のページに移動します。

（戻る） 戻る：

前の画面に戻ります。（画面によっては、戻らないことがあります）

※ここではシンプルリモコンでの操作を説明していますが、フルリモコンでも同様に操作できます。

「はじめての設定」を表示する・やり直すには

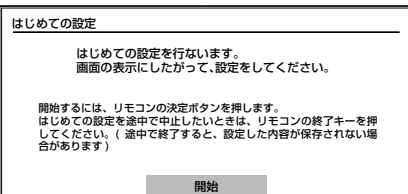
「はじめての設定」は、再度行なうことができます。

≫ 準備

- **上記の『「設定メニュー」を表示する（基本の操作）』の準備と手順を行なう。**

1 【はじめての設定/管理設定】を▲·▼で選び、（決定）を押す

2 【はじめての設定】を▲·▼で選び、（決定）を押す

「はじめての設定」は、設定済みの内容を保持しています。
各放送波のアンテナを追加で接続するなどした場合は、追加した放送波の必要な設定だけを行なうことをおすすめします。
「はじめての設定」の「①基本設定」の「放送メディアの選択」画面（⇨29 ページ）で、追加した放送波に「✔」をつけます。

メモ 「はじめての設定」をやり直すときは…

追加や変更する設定項目によっては、関連する項目も連動して再設定が必要になる場合があります。

日付と時刻の設定を確認する

≫ 準備

• 「設定メニュー」を表示させる

1 【操作・表示設定】を▲・▼で選び、㊏を押す

2 【時刻設定】を▲・▼で選び、㊏を押す

3 日付・時刻設定をする

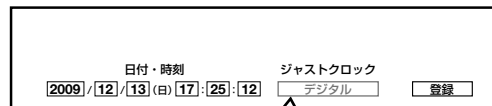
◀・▶ ：【西暦】【月】【日】【時】【分】【秒】の項目を選びます。
▲・▼ ：選んだ項目の値を変更します。
すべての入力が終わったら【登録】を選び、㊏を押します。

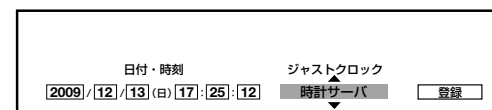
ジャストクロックについては、右の『「ジャストクロック」の設定』をご覧ください。

4 メッセージを確認し、【はい】を選び、㊏を押す

■「ジャストクロック」の設定

ジャストクロックとは、時計サーバーを利用して、正午に本機の時計の± 3 分未満の誤差が修正されます。

❶ 「日付と時刻の設定を確認する」の準備と手順 ❶ 〜 ❷ を行なう

【デジタル】または【ADAMS】と表示されていて**選択ができない場合**は、それぞれの放送波から自動的に時刻が調整されるので、ここでの**設定の必要はありません**。

❷ ジャストクロックの設定を選ぶ

切

ジャストクロック機能は働きません。

時計サーバー

専用のサーバーに本機が自動的にアクセスし、ネットワークタイムプロトコルを使って時刻を調整します。
サーバーにアクセスが失敗した場合は、「ネット機能設定」の「イーサネット / ネット de ダビング設定」を確認してください。
この機能は、本機がブロードバンド常時接続環境に接続されている場合に働きます。
「時計サーバー」は、イーサネット利用設定が「利用しない」に設定されていると、選択できません。
イーサネット利用設定については、⇨82 ページをご覧ください。

ネットワークタイムプロトコル（NTP）とは？

インターネットなどのネットワーク上では、互いにデータの交換を行なうときに、各機器が持つ時計機能の時刻が機器によって異なると、メールの送受信などに異常をきたすおそれがあります。本機の場合は、録画開始時刻などにずれが生じないように、専用サーバーから送られてきた時刻に合わせます。

ご注意

- **デジタル放送を受信できない環境や設定**で「ジャストクロック」に【デジタル】と表示されている場合は、⇨「番組表でデジタル放送の表示／非表示を設定する」(80ページ)で、すべてのデジタルチューナーを表示しない設定にしてください。
- **ADAMSを受信できない環境**で「ジャストクロック」に【ADAMS】と表示されている場合は、「番組ナビ設定-地上アナログ／ライン入力の番組データ取得」(⇨74ページ)で、【ADAMS】に設定しないでください。

お知らせ

- 本機のカレンダー機能は2035年まで対応しています。
- ジャストクロック機能は時刻設定が正しく行なわれていないと、時刻調整できません。また、次のようなときは、設定に関わらずジャストクロック機能は働きません。
  — 現在時刻とのずれが±3分以上あるとき

「ADAMS」のお知らせ

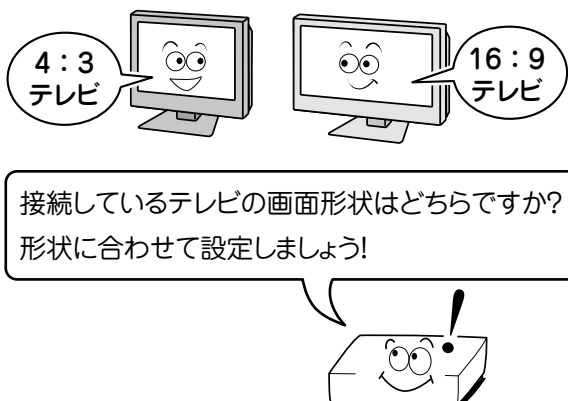
- 次のようなときは、「ADAMS」によるジャストクロック機能は働きません。
  — ADAMSの番組データが受信できない場合
  — 録画、再生、編集やダビング中などの本体操作中
  — 予約録画準備中から予約録画終了までのあいだにADAMSの受信動作が行なわれた場合

「時計サーバー」のお知らせ

- 【時計サーバー】を選んだ場合、1日1回時刻合わせを不定期で行ないます。また、1秒未満の誤差は調整されません。
- 「時計サーバー」による時間調整は、マンション等の共有ネットワーク環境等では使用できない場合があります。
- 次のようなときは、「時計サーバー」によるジャストクロック機能は働きません。
  — ネットワークが接続されていない、イーサネット/ネットdeダビング設定が正しくないとき
  — 録画、再生、編集中やダビング中などの本体操作中
  — 24時間以内に時刻合わせが行なわれたとき

基本の設定をお好みに変更する (設定メニュー)・つづき

テレビの画面比に合わせて映像サイズを設定する (TV 画面形状設定)

接続しているテレビの画面形状はどちらですか?
形状に合わせて設定しましょう!

≫ 準備

- 以下の操作で「操作・表示設定」の項目選択画面にする
  ① (スタート メニュー) を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、(決定) を押す
  ③【操作・表示設定】を▲・▼で選び、(決定) を押す

1 【TV画面形状】を▲・▼で選び、(決定) を押す

2 接続しているテレビに合わせて設定を▲・▼で選び、(決定) を押す

TV画面形状
- 4:3LB
- 4:3ノーマル
- 16:9ワイド
- 16:9シュリンク

■「TV 画面形状」を設定するときは

テレビの画面形状			
4 / 3 横が 4、縦が 3 の画面比が 4：3 のテレビ		16 / 9 横が 16、縦が 9 の画面比が 16：9 のテレビ	
設定項目	説明	設定項目	説明
4：3 LB	**4：3 テレビに本機を接続しているとき** 再生したワイド映像を、テレビ画面に対して横長に表示します。上下に帯がつきますが、正しく見えます。 (LB=Letter Box (レターボックス))	16：9 ワイド	**16：9 ワイドテレビに本機を接続しているとき**
4：3 ノーマル	**4：3 テレビに本機を接続しているとき** 再生したワイド映像を、テレビ画面全体に表示します。 画面の片側または両側の映像部分がカットされます。	16：9 シュリンク	**16：9 ワイドテレビに本機を接続しているとき** 4：3 の映像が 16：9 に引き伸ばされて間延びした場合は、この設定にします。 左右に帯がつきますが、正しく見えます。

※画面比について詳しくは、⇨106 ページをご覧ください。

お知らせ

- 実際に映し出される映像の形状は、放送・外部入力の信号の種類や、接続しているテレビの設定によっても変わりますので、テレビ側の取扱説明書をご覧ください。
- 再生できる画面形状があらかじめ決められている市販のDVDビデオディスクなどの場合、設定した画面形状どおりに再生されないことがあります。

地上アナログ放送のチャンネル設定

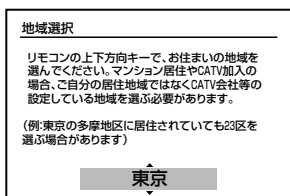
自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する

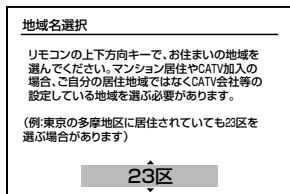
テレビと同じように各放送局を受信できるように、本機のチャンネルを合わせます。チャンネル合わせは、お住まいの地域名を選択することで、自動的に行なわれます。
「はじめての設定」で地上アナログのチャンネル設定を行なわなかったときや、変更があるときは、ここで設定または変更をしてください。

≫準備

- 以下の操作で「地上アナログ設定」画面にする
  - ① (スタートメニュー) を押す
  - ②【設定メニュー】を▲·▼で選び、(決定) を押す
  - ③【チャンネル／入力設定】を▲·▼で選び、(決定) を押す
  - ④【地上アナログ設定】を▲·▼で選び、(決定) を押す

1 【地域選択】を▲·▼·◀·▶で選び、(決定) を押す

2 お住まいの都道府県を▲·▼で選び、(決定) を押す

3 お住まいの地域を選び、(決定) を押す

受信チャンネルが自動的に設定されます。

地上デジタル放送開始にともない、放送局のチャンネルに変更があった場合は、⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」(62 ページ) で、該当放送局名の受信チャンネルを変更してください。

■放送が受信できるか確認する

設定した地域名で、地上アナログ放送が受信できるか確認します。

≫準備

- 以下の操作で地上アナログ放送を視聴確認できるようにする
  - ①「設定メニュー」が表示されているときは、(終了) を押して終了する
  - ② [W録] を押して「RE」を選ぶ

1 [放送切換] を押して、「地上アナログ」を選ぶ

2 (チャンネル▲)／(チャンネル▼) を押して、放送が受信できるか確認する

- うまく受信できない場合は近隣の地域名でお試しください。また、受信できない放送局があるときや、チャンネルが違っているときは、⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」(62 ページ) をご覧ください。

■地上アナログ放送のチャンネルを「手動」で変更する必要があるときとは

マンション居住や CATV にご加入のとき

- 受信 CH が本機の設定と異なる場合があります。その際は、⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」(62 ページ) で受信 CH を変更する必要があります。

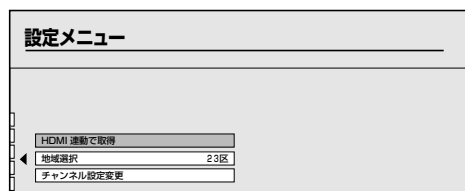
該当する地域名がないとき

- テレビに映る放送局が多い地域名を選びます。そのあとで、⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」(62 ページ) で細かな設定をします。

■レグザリンク機能（HDMI 連動機能）を使って地上アナログ設定を REGZA から自動取得する

本機と当社製 REGZA シリーズ (デジタルテレビ) とを接続したときは、HDMI 連動機能を使うとテレビ側で設定済みの地上アナログチャンネル設定を、本機に連動させて取得することができます。

≫準備

- HDMI 連動機能対応の当社製 REGZA シリーズと「HDMI」端子を使って接続する。(⇨22、50 ～ 51 ページ)

1 ⇨左の「自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する」の手順❶の画面で、【HDMI 連動で取得】を選び、(決定) を押す

接続している REGZA から、地上アナログ放送のチャンネル設定の取得が始まります。しばらくお待ちください。

- レグザリンク機能 (HDMI 連動機能) について詳しくは、⇨「レグザリンク機能について」(50 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- マンション居住やCATVにご加入のときは、お住まいの地域でなくCATV会社などの設定している地域を選ぶ場合があります。(例：東京の多摩地区にお住まいでも、「多摩」でなく「23区」を選ぶ場合があります。)
- 番組表をご利用になる場合は、チャンネル設定のあとに⇨「番組表の基本設定をする」(74ページ)を行なってください。
- CATVなどによる難視聴対策を行なっている地域では、記載されている地域名では受信できない場合があります。たとえばUHFチャンネル(⇨「地域名と放送局一覧表」(98 ～ 100ページ)の受信CHの欄で13以上の数字が記入されているチャンネル)だけが映らない場合は、難視聴対策地域であることが考えられます。その場合は手動でチャンネルを設定してください。(手動で設定する場合は、受信CHを1～12の間で変更して受信内容を確認するか、お使いのテレビまたはビデオデッキなどの設定を参考にして設定してください。)

地上アナログ放送のチャンネル設定・つづき

手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する

地域名一覧表に載っていない地域にお住まいの方や、自動設定でチャンネルが正しく設定されないとき、またチャンネルを入れ換えたい場合、手動でチャンネル設定を変更します。手動でチャンネル合わせをする前に、⇨「自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する」（61 ページ）を行なっておくと、ここでの設定が簡単になります。

≫ 準備

- 以下の操作で「地上アナログ設定」の項目選択画面にする
  ① (スタートメニュー) を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、(決定) を押す
  ③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、(決定) を押す
  ④【地上アナログ設定】を▲・▼で選び、(決定) を押す

1 【チャンネル設定変更】を▲・▼で選び、(決定)を押す

2 チャンネル設定したいリモコン番号の【受信CH】に、▲・▼でカーソルを移動する

本機で選局するときの番号です。
画面や本体表示窓に表示されます。

放送局からの電波を受信するために設定するチャンネルです。

地上アナログ設定 1/13 頁

リモコン	受信CH	スキップ	微調整
1	1	受信	自動
2	2	受信	自動
3	3	受信	自動

例：リモコン３を押したときに、映る放送局を変えたいとき

3 (緑)／(黄) を押して、受信チャンネルを合わせる

地上アナログ設定 1/13 頁

リモコン	受信CH	スキップ	微調整
1	1	受信	自動
2	2	受信	自動
3	48	受信	自動

例：リモコン３で、受信チャンネル 48 の放送局を見る

(黄) を押す：
1 ～ 12 → 13 ～ 62 → C13 ～ C63 → 1 と変わります。

(緑) を押す：
1 → C63 ～ C13 → 62 ～ 13 → 12 ～ 1 と変わります。

- 番号ボタンで入力することもできます。
- 他の受信チャンネルを合わせるときは、手順❷～❸をくり返します。

4 受信チャンネルの設定が終わったら、(決定)を押す

確認のメッセージが表示されたら【はい】を選び、(決定)を押します。

- チャンネル設定の変更をすると、地域名のうしろに「＊」が表示されます。

追加や変更を行なったときは、⇨「番組表で表示するチャンネルを追加／変更する」（76 ページ）の手順❸で、追加や変更したチャンネルが登録されているか確認してください。

不要なチャンネルをスキップする

地上アナログ放送のチャンネルを選局するとき、見ない、使わないチャンネルを画面に出ないようにします。

1 ⇨「チャンネル設定変更」の手順❷の画面（同ページ）で、スキップ設定を変更したいチャンネルの【受信】を選ぶ

【受信】を【スキップ】にすると、選局するときに不要なチャンネルを、飛び越す設定ができます。

地上アナログ設定 1/13 頁

リモコン	受信CH	スキップ	微調整
1	1	受信	自動
2	2	受信	自動
3	3	受信	自動

2 (緑)・(黄) を押して、【受信】⇔【スキップ】を切り換える

- (緑)・(黄) を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。
- 他のチャンネルも変更するときは、手順❶、❷をくり返します。

3 調整が終わったら、(決定)を押す

確認のメッセージが表示されたら【はい】を選び、(決定) を押します。

「スキップ」に設定したときは、⇨「番組表で表示するチャンネルを追加／変更する」（76 ページ）の手順❸で、スキップしたチャンネルの登録がはずれているか確認してください。

- チャンネル設定の変更をすると、「地域選択」の地域名のうしろに「＊」が表示されます。

お知らせ

- CATV（有線テレビ放送）とは、地域で独自のテレビ番組を有線で放送するシステムです。本機は、CATVチャンネル中、C13~C63チャンネルが受信できます。CATVの受信は、サービス（放送）の行なわれている地域でだけ可能です。CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、チューナーが必要になり、これを本機の外部入力に接続することで、録画できるようになります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

映像を微調整する

受信中の地上アナログ放送の映像が、色が消えたり不安定になったときに、微調整すると良くなる場合があります。

1 ⇨「チャンネル設定変更」の手順 ❷ の画面（左ページ）で、微調整したいチャンネルの【自動】を選ぶ

画面を見ながら、画像や音声がよりよい状態になるように調整します。

地上アナログ設定　1/13 頁

リモコン	受信CH	スキップ	微調整
1	1	受信	自動
2	2	受信	自動
3	3	受信	自動

2 緑・黄 を押して、映像を調整する

- 他のチャンネルも調整するときは、手順 ❶、❷ をくり返します。

3 調整が終わったら、決定 を押す

確認のメッセージが表示されたら【はい】を選び、決定 を押します。

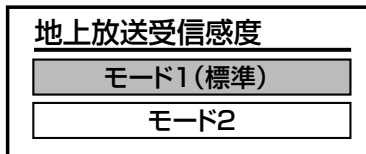
■「微調整」をしても受信中の映像が不安定なとき

地上デジタル、アナログ放送を受信しているとき、アンテナから入る電波が強すぎて、映像が不安定になるときがあります。
受信ができなかったり、映像にノイズが出る…などが起きるときは、以下の設定を行ないます。

≫ 準備

- 以下の操作で「チャンネル / 入力設定」の項目選択画面にする
  ① スタートメニュー を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、決定 を押す
  ③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

❶【地上放送受信感度】を選び、決定 を押す

❷ 受信感度の項目を選び、決定 を押す

モード 1（標準）
受信映像に問題がないときに選びます。
- アンテナから入って来たままの電波の強さで受信します。

モード 2
受信できなかったり、映像にノイズが出る…といったときに、選びます。
- アンテナから入った電波を減衰させて受信します。減衰することで、混信による障害をおさえます。

❸ 終了 を押して、受信映像に変化がないか確認する

- 【地上 D アンテナレベル】（⇨72 ページ）の数値が高いほうに設定することをおすすめします。
- 【モード 2】に設定をしても、放送地域や受信環境によっては、変化がない場合もあります。映像が変化しない場合には、【モード 1（標準）】に設定してください。また、変化がないときは、市販のブースターを接続します。詳しくは、⇨「ブースターを接続する」（45 ページ）をご覧ください。

デジタル放送（地上／BS・110度CS）関連の設定をする

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

地上デジタル放送のチャンネルを設定するには、以下の３種類があります。

初期スキャン…「はじめての設定」で行なう「初期スキャン」（36 ページ手順 ❷）だけを、やり直します。
再スキャン……放送局がふえたなど、放送チャンネルに変更があったときに、チャンネルを追加します。
自動スキャン…本機の電源が「切（待機）」のときに、自動で再スキャンを行ないます。

※「初期スキャン」を行なっていないと、「再スキャン」や「自動スキャン」はできません。

初期スキャン

引っ越しなどで受信出来る放送局が変わったときは、「初期スキャン」を行ないます。受信可能なチャンネルを本機が自動的に探して、登録します。
※「初期スキャン」をすると、これまでに設定した内容はすべて消去されます。

≫ 準備

- **以下の操作で「デジタル放送設定」の項目選択画面にする**
  ①（スタートメニュー）を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ④【デジタル放送設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す

1 【初回設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す

2 【チャンネル設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す

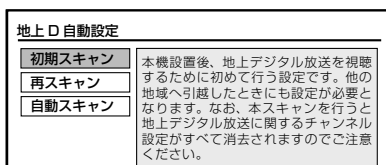
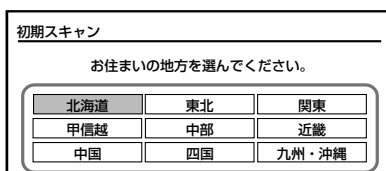
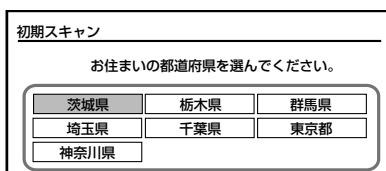
3 【地上D自動設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す

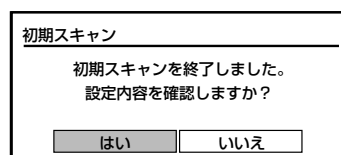
4 【初期スキャン】を▲・▼で選び、（決定）を押す

地上Ｄ自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
本機設置後、地上デジタル放送を視聴するために初めて行う設定です。他の地域へ引越したときにも設定が必要となります。なお、本スキャンを行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定がすべて消去されますのでご注意ください。

5 お住まいの地方を▲・▼・◀・▶で選び、（決定）を押す

初期スキャン
お住まいの地方を選んでください。

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

6 お住まいの都道府県または地域を▲・▼・◀・▶で選び、（決定）を押す

初期スキャンを開始します。
終了するまでお待ちください。
※初期スキャンの途中で『終了』やナビボタンなどを押すと終了します（初期スキャンした内容は本機に設定されません）。

7 設定された内容を確認する場合は、【はい】を◀・▶で選び、（決定）を押す

- 電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

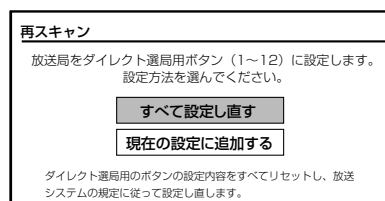
再スキャン

放送局が新たに開局したときなどは、「再スキャン」を行ないます。新しい放送局やチャンネルを本機が自動的に探して、追加します。
※「再スキャン」は、「初期スキャン」を行なっていないとできません。

左の「初期スキャン」の≫準備と手順 ❶ 〜 ❸ を行なう。

1 【再スキャン】を▲・▼で選び、（決定）を押す

再スキャンを開始します。終了するまでお待ちください。

2 設定内容を▲・▼で選び、（決定）を押す

3 設定された内容を確認する場合は、【はい】を◀・▶で選び、（決定）を押す

- 電波が弱い場合には、再スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

自動スキャン

「自動スキャン」とは、チャンネルの追加などの変更があったときに、本機のチャンネル設定の内容を自動で変更する機能です。チャンネル設定を変更した場合は、「本機に関するお知らせ」で、変更された内容をお知らせします。

- 本機のチャンネル設定の内容を自動で変更させたくない場合は、【自動スキャンしない】に設定してください。

・「自動スキャン」は、本機の電源が「切（待機）」のとき、午前６時頃に行なわれます。
・録画予約の実行と重なったときなど、【自動スキャンする】に設定していても「自動スキャン」が行なわれない場合があります。チャンネルの追加などの変更があった場合は、「再スキャン」をすることをおすすめします。

※「自動スキャン」は、「初期スキャン」を行なっていないとできません。

左の「初期スキャン」の≫準備と手順❶～❸を行なう。

1 【自動スキャン】を選び、決定を押す

2 【自動スキャンをする】または【自動スキャンをしない】を選び、決定を押す

3 設定された内容を確認する場合、【はい】を選び、決定を押す

4 終了を押して設定を終える

手動で地上／BS・110度CSデジタル放送のチャンネルを変更／追加する

「手動設定」は「初期スキャン」（⇨64ページ）を行なっていないとできません。

≫準備

・以下の操作で「チャンネル設定」の項目選択画面にする
① スタートメニューを押す
②【設定メニュー】を▲・▼で選び、決定を押す
③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、決定を押す
④【デジタル放送設定】を▲・▼で選び、決定を押す
⑤【初回設定】を▲・▼で選び、決定を押す
⑥【チャンネル設定】を▲・▼で選び、決定を押す

1 【手動設定】を▲・▼で選び、決定を押す

2 変更または追加したい放送の種類を▲・▼で選び、決定を押す

地上D
地上デジタル放送のチャンネルを手動で設定します。
BS
BSデジタル放送のチャンネルを手動で設定します。
110度CS
110度CSデジタル放送のチャンネルを手動で設定します。

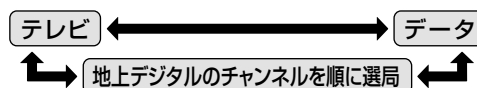
3 設定するリモコン番号を▲・▼で選び、決定を押す

BS手動設定

リモコン	チャンネル	放送局
1	BS101	NHK　BS1
2	BS102	NHK　BS2
3	BS103	NHK　h
4	テレビ	BS日テレ
5	テレビ	ビーエス朝日
6	テレビ	BS－TBS

4 【チャンネル】を選び、チャンネル∧／∨で設定するチャンネルを選ぶ

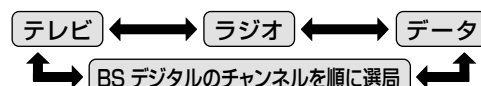
チャンネル∧／∨を押すと、以下の順に切り換わります。

地上デジタル放送の場合

■「テレビ」または「データ」を選んだ場合

一つのリモコン番号に、同じ放送局のテレビまたはデータのチャンネルが複数まとめて設定されます。
「テレビ」を選んだ後は、以下の手順で放送局を設定してください。
①【放送局】を▲・▼で選ぶ
②チャンネル∧／∨で設定したい放送局を選び、決定を押す
③▶を押して、登録する

■地上デジタル放送のチャンネルを選んだ場合

【放送局】欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（放送局名を変えることはできません）。

BSデジタル放送の場合

■「テレビ」、「ラジオ」または「データ」のいずれかを選んだ場合

一つのリモコン番号に、同じ放送局のテレビまたはラジオまたはデータの複数チャンネルがまとめて設定されます。

■BSデジタル放送のチャンネルを選んだ場合

・チャンネル∧／∨を押すと、すべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
・放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を指定することはできません。
・【放送局】欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます（放送局名を変えることはできません）。

5 決定を押す

他のチャンネルも設定するときは、手順の❷～❺をくり返します。

お知らせ

・【チャンネル】の項目で「---」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

デジタル放送（地上／BS・110度CS）関連の設定をする・つづき

不要なチャンネルをスキップする

地上／BS・110度CSデジタル放送のチャンネルで選局するときに、不要なチャンネルを飛び越して選局できるようになります。

※地上デジタル放送は「初期スキャン」（⇨64ページ）を行なっていないとできません。

1 【チャンネルスキップ設定】を▲･▼で選び、決定を押す

2 チャンネルスキップ設定を行なう放送を▲･▼で選び、決定を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲･▼で選び、決定を押す

BS チャンネルスキップ設定

チャンネル	放送局	スキップ
BS101	NHK　BS1	受信
BS101	NHK　BS2	スキップ
BS103	NHK　h	受信
BS141	BS日テレ	受信
BS142	BS日テレ	受信
BS143	BS日テレ	受信

決定を押すごとに、【受信】⇔【スキップ】と交互に切り換わります。

他のチャンネルや放送も設定する場合は、手順2、3をくり返します。

お知らせ

- 「手動で地上／BS・110度CSデジタル放送のチャンネルを変更／追加する」を行なったチャンネルは、自動的に【受信】に設定されます。
- 放送局の代表チャンネル（一番小さい番号のチャンネル）を「スキップ」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップします。代表チャンネル以外のチャンネルを「スキップ」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。
- 【スキップ】に設定したチャンネルは、番組表に表示されません。

データ放送の設定をする

お住まいの地域に応じたデータ放送（天気予報・選挙速報）や緊急警報放送の受信を、最寄りのアクセスポイントで利用するための設定を行ないます。

≫ 準備

- **以下の操作で「データ放送」の項目選択画面にする**
  - ① (スタートメニュー) を押す
  - ②【設定メニュー】を▲･▼で選び、(決定) を押す
  - ③【チャンネル／入力設定】を▲･▼で選び、(決定) を押す
  - ④【デジタル放送設定】を▲･▼で選び、(決定) を押す
  - ⑤【データ放送】を▲･▼で選び、(決定) を押す

郵便番号と地域の設定

最寄りのアクセスポイントを利用するために、郵便番号と地域の設定を行ないます。

1 【郵便番号と地域の設定】を▲･▼で選び、(決定) を押す

2 お住まいの郵便番号を▲･▼･◀･▶で入力し、(決定) を押す

郵便番号と地域の設定

お住まいの郵便番号を入力してください。

0 0 0 － 0 0 0 0

3 該当する地方を▲･▼･◀･▶で選び、(決定) を押す

- 【設定しない】を選んだときは、設定が終了します。

4 該当する地域を▲･▼･◀･▶で選択し、(決定) を押す

伊豆、小笠原諸島地域の方は、【東京都島部】を選んでください。
南西諸島の鹿児島県地域の方は、【鹿児島県島部】を選んでください。

文字スーパー表示設定

デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を選択することができます。

1 【文字スーパー表示設定】を▲･▼で選び、(決定) を押す

2 【表示する】または【表示しない】を▲･▼で選び、(決定) を押す

【表示する】を選んだ場合は、手順 3 に進みます。

3 設定したい言語を選び、(決定) を押す

お知らせ

- 【表示する】に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがある場合は、その言語で表示します。受信している放送に設定した言語がない場合は、送信データにしたがって表示されます。

ルート証明書番号を確認する

ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。
ルート証明書は地上デジタル放送によって、放送局から送られます。本機内に記録された証明書番号を確認することができます。

1 【ルート証明書番号】を▲･▼で選び、(決定) を押す

2 ルート証明書番号を確認したら、(決定) を押す

お知らせ

- 最大８個のルート証明書番号が表示されます。ルート証明書が記憶されていない場合は、「－－－」と表示されます。

ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

視聴年齢制限の設定：フルリモコンをお使いください

デジタル放送の成人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには視聴年齢設定が必要です。

- あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます（年齢の設定値は 4 歳～ 20 歳です）。数字を入力するので、フルリモコンをお使いください。
- **暗証番号を設定していない場合は、⇨「暗証番号を設定する」（同ページ）で設定してください。**

≫準備

- 以下の操作で「視聴設定」の項目選択画面にする

①（スタートメニュー）を押す
②【設定メニュー】を▲･▼で選び、（決定）を押す
③【チャンネル／入力設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す
④【デジタル放送設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す
⑤【視聴設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す

1 【視聴年齢制限設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す

2 （1/0）～（9）で登録した暗証番号を入力する

- 間違えて入力した場合は、入力を◀ででクリアし、設定をやり直してください。

3 視聴年齢を設定し、（決定）を押す

視聴年齢制限設定

4～20 歳の間で、視聴を制限したい年齢を設定してください。

4 歳

番組の視聴制限年齢がこの設定年齢よりも高い場合、その番組の視聴には暗証番号の入力が必要になります。視聴年齢制限を使わないときは「20歳」にしてください。

設定できる年齢は、4 歳から 20 歳までです。

- 【4 歳】に設定した場合、5 歳以上向けの番組を視聴するのに暗証番号の入力が必要になります。
- 視聴年齢の制限をしない場合は、【20 歳（制限しない）】を選んでください。

暗証番号を設定する

暗証番号は、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。

- **視聴設定の暗証番号を忘れないようにご注意ください。視聴設定の暗証番号は、忘れてしまったときはご自身で変更することができないため、有償でのご対応となります。⇨「RD シリーズサポートダイヤル（裏表紙）」にご連絡ください。**
- 「設定を出荷時に戻す」を行なうと、暗証番号が削除されます。ただし、ここで設定した暗証番号の入力が必要です。

≫準備

- 以下の操作で「視聴設定」の項目選択画面にする

①（スタートメニュー）を押す
②【設定メニュー】を▲･▼で選び、（決定）を押す
③【チャンネル／入力設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す
④【デジタル放送設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す。
⑤【視聴設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す。

1 【暗証番号設定】を▲･▼で選び、（決定）を押す

2 （1/0）～（9）で登録したい暗証番号を入力する

はじめて暗証番号を登録する場合

登録したい暗証番号（4 ケタの数字）を（1/0）～（9）で入力してください。

- 間違えて入力した場合は、入力を◀でクリアし、もう一度入力してください。

※入力した数字は画面には「＊」で表示されます。

暗証番号を変更する場合

変更する前の暗証番号を（1/0）～（9）で入力したあと、新しい暗証番号を入力してください。

3 確認のため、暗証番号を入力する

暗証番号が登録されます。
確認画面が表示されたら、（決定）を押します。

お知らせ

- ここで設定した暗証番号は、DVDパレンタルロック（⇨操作編181ページ）、カギ付きフォルダ（⇨操作編126ページ）での暗証番号とは別のものです

デジタル放送の簡易確認テストをする

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送が受信できるか、B-CASカードが使用できるかをまとめて確認します。

≫準備

- 以下の操作で「その他」の項目選択画面にする
  ①（スタートメニュー）を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ④【デジタル放送設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ⑤【その他】を▲・▼で選び、（決定）を押す

1 【簡易確認テスト開始】を▲・▼で選び、（決定）を押す

地上デジタル放送を受信する場合
以下の手順で伝送チャンネルごとの受信テストをします。
①伝送チャンネルを◀・▶で選ぶ
 •選んだ伝送チャンネルの受信テストをします。
②他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順①と同じ操作をする

（戻る）を押すと、テストを中止します。

■テスト結果について

地上D受信テスト	カードテスト
•「正常に受信できています。」 →正しく受信できています。 •「正しく受信できません。」 →アンテナとの接続が正しいか確認してください。 なお、放送の停止や放送の変更などのために受信できなかった場合があります。	•「正常に動作しています。」 →本機で使用できます。 •「このB-CASカードはご使用になれません。」 →B-CASカードが本機に付属されていたものか、確かめてください。 →B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。 •「B-CASカードを正しく挿入してください。」 →B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行なってください。 •「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」 →B-CASカードが本機に付属されていたものか、確かめてください。 →B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行なってください。 •「B-CASカードが故障しています。」 →B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
BS・110度CS受信テスト •「正常に受信できています。」 →正しく受信できています。 •「正しく受信できません。」 または •「BS（110度CS）は受信できますが110度CS（BS）が受信できません。」 →アンテナとの接続が正しいか確認してください。	

B-CASカードの登録番号を確認する

B-CASカードに登録されている番号を確認できます。

≫準備

- 以下の操作で「その他」の項目選択画面にする
  ①（スタートメニュー）を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ④【デジタル放送設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ⑤【その他】を▲・▼で選び、（決定）を押す

1 【B-CASカード番号表示】を選び、（決定）を押す

2 B-CASカード番号を確認する

（決定）を押すと、前画面に戻ります。

デジタル放送用アンテナ関連の設定

BS・110度CSデジタル放送用アンテナの電源設定をする

BS・110度CSアンテナのコンバーターに電源（+15V）を供給するための設定です。
接続方法に合わせて設定してください。

≫ 準備

• 以下の操作で「チャンネル / 入力設定」の項目選択画面にする
① （スタートメニュー）を押す
②【設定メニュー】を▲・▼で選び、（決定）を押す
③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す

1 【BS・110度CSアンテナ電源設定】を選び、（決定）を押す

2 【切】または【パワーセーブ】を選び、（決定）を押す

【切】
本機からBS・110度CSアンテナのコンバーターに電源を供給しません。
【パワーセーブ】
本機の電源の入／切に連動して、BS・110度CSアンテナのコンバーターに電源を供給します。

BS・110度CSアンテナの接続によって、設定が異なります。
下の表をご覧ください。

接続環境		本機の「BS・110度CSアンテナ電源設定」	他（テレビなど）のBS受信機の設定	備考
共同受信設備／本機／BS内蔵テレビまたはBS受信機	テレビ共同受信設備（マンションなど）のアンテナ引込線と接続する場合	【切】（BS・110度 CSアンテナ電源設定：切／パワーセーブ）	切　入(連動)　BSアンテナ電源	この接続環境の場合、【切】に設定します。
本機／テレビ	BS・110度CSアンテナが本機専用の場合	【パワーセーブ】（BS・110度 CSアンテナ電源設定：切／パワーセーブ）	―	この接続環境の場合、【パワーセーブ】に設定します。
本機／BS内蔵テレビまたはBS受信機	BS・110度CSアンテナを本機を経由して他の受信機に接続する場合	【パワーセーブ】（BS・110度 CSアンテナ電源設定：切／パワーセーブ）	切　入(連動)　BSアンテナ電源	この接続環境の場合、【パワーセーブ】に設定します。 • 本機の電源が「切」の状態でも、他のBS受信機の電源が「入」のときは、BS・110度CSコンバーターに電源を供給します。

お知らせ

• 本機は、BS・110度CSアンテナへ電源を常時供給することができません。BS・U/V分波器・分配器を使用して他の機器とアンテナを共有されている場合は、常時アンテナへ電源を供給できる機器からBS・110度CSアンテナへ電源を供給してください。BS・U/V分波器・分配器は「電流通過型」を選んで、電流通過の印がついている端子に、BS・110度CSアンテナに電源を供給する機器を接続してください。
• 【パワーセーブ】に設定しても、接続の間違いや分配器やケーブルによるショートなどが発生すると、自動的に【切】に切り換わります。自動的に【切】に切り換わった場合は、配線などを確認してから再設定をしてください。

アンテナ出力切換の設定をする

≫ 準備

- 以下の操作で「チャンネル / 入力設定」の項目選択画面にする
  - ① (スタートメニュー) を押す
  - ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、(決定) を押す
  - ③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、(決定) を押す

1 【アンテナ出力切換設定】を選び、(決定) を押す

2 【切】または【入】を選び、(決定) を押す

アンテナ出力切換設定
切
入

【切】

本機の電源の入／切に連動して、本機背面の「地上デジタル / アナログ出力端子」や「BS・110 度 CS 出力端子」から送られる信号の増幅機能（ブースター）を入／切します。
この設定を選ぶと、本機の電源を「切」にしたときに、これらの端子に接続しているテレビなどの受信機で放送を受信できなくなる場合があります。

【入】

本機背面の「地上デジタル / アナログ出力端子」や「BS・110 度 CS 出力端子」から送られる信号の増幅機能（ブースター）を、本機の電源の入／切に連動することなく、使用する設定です。
本機の電源を「切」にしても、これらの端子に接続したテレビなどの受信機などで、放送を楽しむことができます。

接続環境		本機の「アンテナ出力切換設定」	備考
共同受信設備やCATV の場合も同様です。 分配器 本機 テレビ HDMI 接続など	分配器を使用して個別に接続している場合	【切】 アンテナ出力切換設定 切 入	この接続環境の場合、【切】に設定します。
共同受信設備やCATV の場合も同様です。 本機 テレビ HDMI 接続など	テレビなどの他の受信機が、本機を経由してアンテナに接続している場合	【入】 アンテナ出力切換設定 切 入	この接続環境の場合、【入】に設定します。

デジタル放送用アンテナ関連の設定・つづき

デジタル放送用アンテナの調整や設定をする

アンテナ本体の方向調整方法は、アンテナの取扱説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください。

≫ 準備

- 以下の操作で「受信設定」の項目選択画面にする
  ①（スタートメニュー）を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ③【チャンネル／入力設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ④【デジタル放送設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ⑤【初回設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す
  ⑥【受信設定】を▲・▼で選び、（決定）を押す

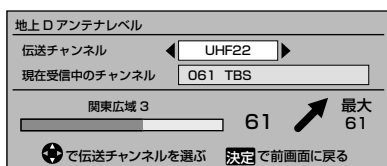
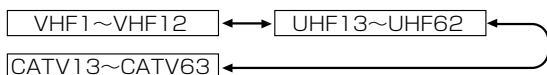
地上デジタル放送用アンテナのアンテナレベルを調整する

ここでは、アンテナレベル表示を使って地上デジタル用アンテナの方向調整をする方法について説明します。
アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向を調整してください。

1 【地上Dアンテナレベル】を▲・▼で選び、（決定）を押す

2 【伝送チャンネル】を◀・▶で選ぶ

◀・▶を押すごとに、以下のように切り換わります。

VHF1～VHF12 ⟷ UHF13～UHF62 → CATV13～CATV63 → VHF1～VHF12

- 地上デジタル放送の場合は、UHF13～UHF62を選んでください。

3 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

アンテナレベルが大きくなると「↗」が表示され、小さくなると「↘」が表示されます。

4 アンテナレベルが最大になる方向でアンテナを固定する

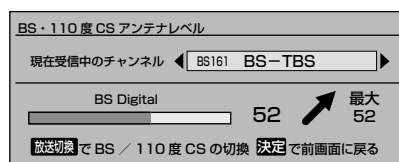
画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。
- 下がっていたらもう一度アンテナを調整してください。

固定したら（決定）を押します。
「地上Ｄアンテナレベル」画面が消えて、設定が完了します。

BS・110度CSデジタル放送用アンテナのアンテナレベルを調整する

アンテナレベル表示を使って、BSまたは110度CSデジタル放送受信のためのアンテナの方向を調整します。
アンテナレベルは、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。この数値が最大になるようにアンテナの方向を調整してください。
- アンテナ本体の方向調整方法は、アンテナの取扱説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 放送切換 を押して、放送の種類（BSまたは110度CS）を切り換える

2 【BS・110度CSアンテナレベル】を▲・▼で選び、（決定）を押す

3 契約しているチャンネルまたは無料チャンネルを選局する

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

アンテナレベルが大きくなると「↗」が表示され、小さくなると「↘」が表示されます。

5 アンテナレベルが最大になる方向でアンテナを固定する

画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。
- 下がっていたらもう一度アンテナを調整してください。

固定したら（決定）を押します。
「BS・110度CSアンテナレベル」画面が消えて、設定が完了します。

BSパススルーモード設定

※ この設定はBSデジタル放送のみで、地上デジタル放送と110度CSデジタル放送は設定できません（CATVをご使用のお客様に限ります）。

ケーブルテレビで、BSデジタル放送サービスが行なわれている場合は、周波数アップコンバーターを接続することで、本機でBSデジタル放送をお楽しみいただけます。
この機能や周波数アップコンバーターについては、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

1 【BSパススルーモード設定】を▲・▼で選び、決定を押す

2 設定する状態を▲・▼で選び、決定を押す

以下の表を参考に、設定する内容を選びます。

選択項目	内容
設定しない	BSパススルーモードを設定しない場合
標準モードに設定	ケーブルテレビでの標準的なBSパススルー方式
手動設定	伝送するBS−IFチャンネルとその並びを指定する場合

- 【設定しない】または【標準モードに設定】を選んだ場合は、その状態に設定され、手順1の画面に戻ります。
- BSパススルーモード方式で受信しない場合は、【設定しない】を選んでください。

3 【手動設定】を選んだ場合には、以下の手順で設定する

①現在設定されている状態を画面表示で確認し、このままでいい場合は【変更しない】を選び、決定を押す。
手順1の画面に戻ります。
②変更する場合は、【変更する】を選び、決定を押す。

③設定する中継器を◀・▶で選び、決定を押す

- 中継器は、設定欄で選んだ中継器の番号が受信機の配列の左から順次設定されます。
- 訂正する場合は、▼を押し、◀を押すと一つずつ左に戻ります。訂正したら▲を押してください。

- すべての設定欄に登録されると、手順1の画面に戻ります。

項目	中心周波数(MHz)	衛星直接受信チャンネル	BSパススルー方式受信チャンネル
BS-IF	1049.48	BS-1	BS-5
	1087.84	BS-3	BS-7
	1126.20	BS-5	BS-9
	1164.56	BS-7	BS-11
	1202.92	BS-9	BS-1
	1241.28	BS-11	BS-3
	1279.64	BS-13	BS-13
	1318.00	BS-15	BS-15

BS中継器／110度CS中継器を切り換える

通常は切換の必要はありません。
衛星の一部の中継器が故障したために、すべての放送が受信できなくなってしまう場合があります。そのときは、以下の操作で他の中継器に切り換えることによって、故障した中継器以外の放送が受信できるようになります。
衛星の中継器が故障した場合以外にも、外部機器からの電波の干渉などによって、一部の中継器が受信できない場合も同様です。

1 【BS中継器切換】または【110度CS中継器切換】を▲・▼で選び、決定を押す

2 中継器を◀・▶で切り換える

BSデジタルの場合（選択可能な中継器）
BS01、BS03、BS05、BS07、BS09、BS11、BS13、BS15
110度CSデジタルの場合（選択可能な中継器）
ND02、ND04、ND06、ND08、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24

3 放送が受信できたことを確認して、決定を押す

お知らせ

- 中継器を切り換えても受信できない場合がありますが、これは本機の故障ではありません。

番組表の設定をする

本機に接続した外部機器チューナー（CATV やスカパー！チューナーなど）の番組でも、番組表機能をご利用になるときは、⇨「外部機器チューナー（スカパー！や CATV など）の番組を番組表で表示させるには」（77 ページ）で設定してください。

本機をブロードバンド常時接続環境につないだときは、以下の手順 ❸ で「地上アナログ／ライン入力の番組データ取得」で iNET を選択できます。ただし、追加設定が必要となります。（⇨「ネットワーク（イーサネット）機能の利用設定をする」（82 ページ）をご覧ください。）

番組表の基本設定をする

❶ 番組ナビ を押す

❷ 【番組ナビ設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

❸ 【地上アナログ／ライン入力の番組データ取得】で、番組データの取得先を◀・▶で選ぶ

ADAMS
地上アナログ放送から番組データを受信します。
iNET
インターネットを利用して、番組データサーバーから番組データをダウンロードします。 ⇨「ネットワーク (イーサネット) 機能の利用設定をする」(82 ページ) で必要な設定を行ないます。 • NK NHC 情報 日刊編集センターの番組データサーバーからの情報です。 • スカパー！情報 SKY PerfecTV! の番組データサーバーからの情報です。
しない
番組データを受信またはダウンロードしないため、地上アナログ放送の番組表は利用できません。

❹ 手順 ❸ で ADAMS を選択した場合：
「ADAMS設定」の設定項目を設定する

▼／▲で選択し、決定 を押して設定します。

■チャンネル

■受信時刻 1

■受信時刻 2

チャンネル
本機をご使用の地域のテレビ朝日系列のチャンネル（ADAMS を受信するリモコン番号）を選択します。
受信時刻 1
番組データを受信する時刻を選択します。（朝刊相当）
受信時刻 2
番組データを受信する時刻を選択します。（夕刊相当）
受信確認
番組データの受信が可能か確認し、メッセージを表示します。 （受信の確認には、最長で約 5 分かかります。）

• 【受信確認】を選択しても、番組表データそのものはここでは受信しません。また、設定された受信時刻にならないと、データを取得できません。番組表が表示されるまで、一日程度お待ちください。

※ADAMS サービスの休止期間中（おおよそ深夜 1:00 ～ 5:00）は、受信確認ができません。また、休止期間は地域・曜日によって異なり、時間帯は将来変更される可能性があります。

❺ 「スポーツ延長」機能を利用するかを◀・▶で選ぶ

スポーツ延長（初期値）
自動　：スポーツ延長を利用します。 しない：スポーツ延長を利用しません。 「スポーツ延長」については、⇨操作編 82 ページをご覧ください。
延長時間（不明時）
30 分　：30 分に設定します。 60 分　：60 分に設定します。 120 分：120 分に設定します。 ※番組情報の中に最大延長時間の情報がない場合、ここで設定した延長時間が使われます。

❻ 「番組追っかけ」機能を利用するかを◀・▶で選ぶ

番組追っかけ（初期値）
する　：番組追っかけを利用します。 **しない**：番組追っかけを利用しません。 「番組追っかけ」については、⇨操作編 82 ページをご覧ください。

❼ 設定が終わったら【登録】を▲・▼・◀・▶で選び、㊏を押す

お知らせ

- ADAMSの番組データは、テレビ朝日系列から送信されています。テレビ朝日系列を受信できない以下の地域では、ADAMSによる番組データ提供サービスを利用することができません。
  ―富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、宮崎、徳島(2009年6月現在)
  上記以外の地域でも、受信形態や電波の状態によって利用できない場合があります。
- ADAMSによる番組データは、受信時刻にならないと取得/更新ができません。ADAMSからの番組データをまだ取得していない状態で番組表を表示すると、空の番組表が表示されます。検索結果も空になります。
- ADAMSによる番組データの受信中に以下のことが行なわれると、受信を延期し、次回のADAMSデータ配信時刻に再受信を試みます。(2009年6月現在、休止期間を除いて約2時間後)
  ―テレビ朝日系列局以外の録画、予約録画の開始
  ―電源を切った場合
  ―HDDの初期化
  ―各ナビ画面などを表示しているとき
  ―「ネットdeナビ」機能のネットdeナビ設定、おまかせ設定で【登録】が押された場合
- 以下のときADAMS受信時刻になった場合も同様に受信を延期し、次回配信時刻に再受信を試みます。
  ―各ナビ画面などを表示したとき
  ―外部接続(ライン)を録画中のとき
- 再受信に失敗しても、2日後までは再受信を試みます。それ以降は、ADAMS受信ができない旨のメッセージ画面が表示され、ADAMS受信確認ボタンを押すまでは再受信を中止します。
- ADAMSの番組データは、指定の時刻に「ADAMS設定」の「チャンネル」で受信します。このため、指定時刻にこの「チャンネル」以外で視聴、再生、ダビングをしているときにADAMS受信時刻になると、設定した「チャンネル」に切り換わります。
- ADAMSの受信作業中に、各ナビ画面などの画面を表示するときは、メッセージが表示されます。メッセージにしたがって、受信を中断するかしないかを決定します。
- ADAMS受信中は画面右上にADAMS受信中であることを示すアイコンが表示されます。
- ADAMS受信時刻の約2分前に、ADAMS番組データの受信準備を開始します。
- ADAMSの番組データ受信には数分～数十分かかります。
- ADAMSの受信時刻に毎回予約録画が重なるなどして番組データの受信ができないときは、受信時刻を変更するなどして、ADAMSが受信できるようにしてください。

番組表の設定をする・つづき

番組表で表示するチャンネルを追加／変更する

チャンネル番号が実際の放送と違う場合や、番組表からはずしたいチャンネルがあるとき、新たに受信可能になったチャンネルを番組表に加えたいときに、以下の手順を行ないます。
また、⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（62 ページ）で受信 CH を追加したり変更したときも、以下の手順 3 で追加や変更したチャンネルが登録されているか確認します（確認したあとは【登録】を選び、(決定)を押してください）。

≫ 準備

- 以下の操作で「番組ナビ設定」の設定画面にする
  ① (番組ナビ) を押す
  ②【番組ナビ設定】を▲･▼･◀･▶で選び、(決定)を押す

1 【番組ナビチャンネル設定】を▲･▼･◀･▶で選び、(決定)を押す

2 変更／追加したいチャンネルの放送メディアの【詳細】を▲･▼･◀･▶で選び、(決定)を押す

3 項目を▲･▼･◀･▶で選び、(決定)を押し、設定を変更する（新規追加の場合は、空いている行に設定をする）

チャンネル名選択（放送の種類を選択）

- 地上アナログ［23 区］
- 地上アナログ（他の地域から選択）
- BS アナログ（外部入力用）
- BS デジタル（外部入力用）
- CATV 主要チャンネル（外部入力用）
- スカパー！（連動 / 外部入力用）

チャンネル名選択（地上アナログ［23 区］） 1／1 頁

NHK 総合	NHK 教育	日本テレビ
TBS テレビ	フジテレビ	テレビ朝日
テレビ東京	TOKYO MX	放送大学
テレ玉	tvk	チバテレビ

1 番組表に表示されるチャンネルの「登録」設定
(決定)を押して「✓」のつけはずしをします。 「✓」をつける：番組表に表示されます。 「✓」をはずす：番組表に表示されません。 ※「登録」の設定ができるのは、本機内蔵チューナーの地上アナログ放送のみです。
2 番組表に表示されるチャンネル（CH）の「表示ロゴ」設定
変更したいチャンネルの「CH ロゴ」を選び、(決定)を押します。 CH ロゴ選択画面が表示されます。お好みのロゴを選び、(決定)を押して設定します。
3 番組表で表示するのに必要な「チャンネル名」の設定
①変更したいチャンネルの「チャンネル名」を選び、(決定)を押します。 ②放送の種類を選び、(決定)を押します。 ③チャンネル名を選び、(決定)を押します。 ※「表示 CH」「CH コード」も、チャンネル名に合わせて変更されます。

受信できない CH コードが設定されていないかご確認ください。受信できないと、番組表に表示ができても、実際に録画・視聴はできません。
※必要に応じて、上記①〜③をくり返します。

4 【登録】を選び、(決定)を押す

設定した内容が登録されます。
※【登録】を押さないと設定はされません。

ワンポイント

- 登録の「✓」をすべてはずしたいときは、(クイックメニュー)を押して、【全登録の削除】を選び、(決定)を押せば「✓」はすべてはずれます。
- ⇨「番組ナビ対応チャンネル名と CH コード一覧表」（101 ページ）などを参考に、直接「CH コード」入力することもできます。
- 「表示 CH」をお好みの名称に変更することもできます。
- ▲・▼やフルリモコンの(11/0)〜(9)を使って入力します。
  （英数文字で 5 文字まで。例：NHKHV）

お知らせ

- 地上アナログ放送の「チャンネル表示登録」の画面では、設定メニューの地域選択や受信CH、スキップの変更が行なわれると自動で新たなCHコードを設定します。ただし変更された受信CHが本機内で確認できた場合に限ります。確認できずにチャンネル名が空欄のときは、そのチャンネルの番組表は表示されません。CHコードを手動で入力してください(⇨101ページを参照)。
- 番組表で表示されるチャンネル名や内容が、実際に視聴しているチャンネルと異なるときは、手動でCHコードを変更してください。
- 地上デジタル放送の開始にともないアナログ周波数変更対策(アナアナ変換)が実施された地域の場合、設定メニューでの受信CHの変更が必要となります。変更後は、番組表から正しく録画予約できるか、チャンネルごとにご確認ください。
- ADAMSのCHコード入力時に、古いチャンネル名(2009年6月現在のもの)がはいる場合があります。
- 「地上アナログ」と「ライン入力A」「ライン入力B」「ライン入力C」のすべてで、ユーザー登録によるCHコードの重複登録はできません。(自動変換される場合を除く) CHコードが重複し、【登録】ができない時は、不要な重複CHコードを削除または変更してから、希望の放送メディアへCHコードを登録してください。

外部機器チューナー (CATV など) の番組を番組表で表示させるには

CATV やスカパー！チューナーなど、本機に接続した外部機器のチャンネルを番組表で表示するための設定をします。
CATV チューナー、BS デジタルチューナー、110 度 CS デジタルチューナーなど、外部に接続した機器側の予約を遠隔制御できる機能はありません。(一部のCATVチューナーを除く。CATV連動機能については、⇨78ページをご覧ください。)
外部機器チューナーの番組表情報は「iNET」を利用するため、ブロードバンド常時接続環境が必要になります。(ネット接続の設定の関連ページ：⇨ 25、82 ページを参照)(iNET 設定の関連ページ：⇨74 ページを参照)

≫ 準備

- **以下の操作で「番組ナビチャンネル設定(ステップ 1)」の設定画面にする**
  ① 番組ナビ を押す
  ②【番組ナビ設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す
  ③【番組ナビチャンネル設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

1 接続した外部機器を割り当てる「放送メディア／表示名」の右にある【入力】を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

2 外部機器を接続した入力を▲・▼で選び、決定 を押す

※ 表示名を「L1」から「CATV」などに変更できます。
⇨操作編「ライン入力名設定」(180 ページ)
番組表を絞込み表示したときの見出しなどに利用されます。

3 同じ行の【詳細】を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

4 項目を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押し、設定を変更する(新規追加の場合は、空いている行に設定をする)

①変更したいチャンネルの「チャンネル名」を選び、決定 を押します。
②放送の種類を選び、決定 を押します。
③チャンネル名を選び、決定 を押します。
→「CH コード」が自動で表示されます。
—「CH コード」に直接コード入力することもできます。
—「表示 CH」をお好みの名称に変更することもできます。
- ▲・▼や、フルリモコンの 11/0 ～ 9 を使って入力します。(英数文字で 5 文字まで)
- お好みで CH ロゴを選ぶこともできます。

→CH ロゴを選び、決定 を押します。
※必要に応じて、上記①～③をくり返します。

5 【登録】を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

設定した内容が登録されます。
※【登録】を押さないと設定はされません。

番組表の設定をする・つづき

番組表の表示チャンネルを設定する(CATV連動機能を使う)

「CATV 連動機能」とは？

Ir システムを本機に接続しているときに、CATV のチャンネルを番組表に登録して選局したり、CATV チューナーに予約を入れずに本機だけで録画予約(連動録画)や電源連動設定ができる機能です。

- CATV 連動機能を使うには、CATV 連動ケーブル(別売品：型名 RD-CAC1(東芝))を接続してください。(⇨21 ページ)
- CATV 連動機能では、「iNET」を利用するため、ブロードバンド常時接続環境が必要になります。

(ネット接続の設定の関連ページ：⇨24、82 ページを参照)(iNET 設定の関連ページ：⇨74 ページを参照)

※加入されている CATV サービス局や CATV チューナーが本機能に対応済みか、連動可能なチャンネルかどうかは、http://www.rd-style.com/epg/ch/ch_map.htm で確認してください。

1 ⇨「外部機器チューナー(CATVなど)の番組を番組表で表示させるには」(77ページ)の手順❹で【CATV連動設定】を選び、決定を押す

2 メッセージを確認したあと、項目を▲・▼・◀・▶で選ぶ

CATV の【連動設定する】を選んだあと、【次に進む】を選び、決定を押します。

3 メッセージを確認したあと、項目を▲・▼・◀・▶で選ぶ

接続している端子に合わせて、ラインを選んだあと、【次に進む】を選び、決定を押します。

(表示例)

4 ご利用のCATV機器を▲・▼・◀・▶選び、決定を押す

該当メーカーの CATV チューナーでも、機種によっては CATV 連動機能に対応していないことがあります。

5 メッセージを確認したあと、【テスト信号(1回発信)】を▲・▼で選び、決定を押す

CATV チューナーの動作を確認します。
テスト終了後、【次に進む】を選び、決定を押します。

6 メッセージを確認したあと、項目を選び、決定を押す

- チューナーの機種によっては、電源の制御ができないものがあります。
- 電源制御が正しく動作しない CATV チューナーをご利用の場合は、この設定を【電源連動しない】に設定し、録画開始の約 10 分前にはチューナーの電源を入れた状態にしてください。

7 お住まいの地方を選び、決定を押す

続いて「地域」、「ご契約の CATV サービス名」を選びます。

❽ 番組表に表示させたいチャンネルを▲･▼･◀･▶で選び、(決定)を押して､｢✓｣をつける

「✓」をつけ終わったら､【次に進む】を選び、(決定)を押します。手順❶の画面に戻ります。設定したチャンネル名などがあるか確認します。チャンネルロゴなどの変更もできます。【登録】を選び、(決定)を押します。ご契約の状況により、受信できるチャンネルを登録してください。

ワンポイント

番組表は最大 100 チャンネルまで表示できます

本機は内蔵チューナー（地上アナログ）と、接続した外部機器／チューナーを合わせて、最大 100 チャンネルまで番組表で表示できます。（内蔵地上デジタル、BS ／ 110 度 CS デジタルは最大 2100 チャンネルまで表示します。）ただし、登録チャンネル数が多い場合、更新や表示に時間がかかることがありますので、必要なチャンネルだけ登録することをおすすめします。

各デジタル放送のアンテナをあとから追加して接続したとき

「番組ナビチャンネル設定」の「番組表表示」に「✓」がついているかご確認ください。詳しくは、⇨「番組表でデジタル放送の表示／非表示を設定する」（80 ページ）をご覧ください。

番組ナビ 番組ナビチャンネル設定（ステップ1）

放送メディア/表示名	入力	番組表表示		絞り込みキー
地上アナログ［23区*］	内蔵 地上A 内蔵	✓	詳細	1
地上デジタル	内蔵 地上D 内蔵	✓		2
BSデジタル	内蔵 BS-D 内蔵	✓		3
110度CSデジタル	内蔵 110CS 内蔵	✓		4
ライン入力A（CATVなど）	L1 L1 外部	✓	詳細	5

本機の番組表に関して

番組表の情報は放送メディア（地上アナログ、デジタル、BS・110度CSデジタルなど）によって異なります。
以下をご参考ください。

地上アナログ放送の番組表データについて

Q 地上アナログ放送の番組表データは何から取得するの？

A 方法は 2 つあります。ADAMS[※1] を利用したテレビの地上アナログ放送波から番組データを受信する方法と、iNET[※2] でインターネットから番組データをダウンロードする方法です。

※ 1 ADAMS = TV-Asahi Data and Multimedia Service の略です。
※ 2 iNET =東芝提供のインターネット接続型番組情報提供サービス。

ADAMS

- テレビ朝日系列の地上アナログ放送の電波から送信される番組データを、アンテナを通して自動受信します。
- インターネット環境がなくても、番組データが取り込めます。
- 8 日分の番組データを取り込みます。(地域によっては 7 日分または 2 日分の場合や、提供されていない場合があります。)
- 1 日 2 回の選択した時刻に番組データを自動受信します。
- テレビの放送波 (地上アナログ放送) を利用して、本機の時刻を自動調整します。
- ADAMS が提供する番組データは、「地上アナログ放送」と「BS アナログ放送」です。
  テレビ朝日系列を受信できない地域では、ADAMS からのデータを利用できません。(2009 年 6 月現在、富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、徳島、宮崎では、ご利用いただけません。
  また、上記以外の地域でも、受信形態や電波の状態によって利用できない場合があります)。

iNET

- インターネットを利用して番組データサーバーから番組データをダウンロードします。（iNET を利用するには、対応のルーターなどを使ってブロードバンド常時接続の環境へ接続が必要です）
- ADAMS が提供されていない地域でも番組データが取り込めます。
- 8 日分の番組データを取り込みます。
- 24 時間いつでも番組データをダウンロードできます。
- 時計サーバーを利用して、本機の時刻を自動調整することができます。
- 内蔵チューナー（地上アナログ）と接続した外部機器／チューナーを合わせて、最大 100 チャンネルまで番組表で表示できます。
  データ提供元：株式会社日刊編集センター、
  スカパー JSAT 株式会社
  （2009 年 6 月現在）

デジタル放送の番組表データについて

Q デジタル放送の番組表データは何から取得するの？

A デジタル放送はデジタル放送波から番組データを受信します。

- デジタル放送波（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）から送信される番組データを、アンテナから自動的に受信します。
- インターネット環境などがなくても、番組データが取り込めます。
- 8 日分の番組データを取り込みます。(放送局によって変わる場合があります。)
- テレビの放送波を利用して、本機の時刻を自動調整します。
- 番組表からの録画予約中に番組の放送時間に変更があっても、リアルタイムに対応します。
- 内蔵デジタルチューナー (地上デジタル、BS・110 度 CS デジタル) は最大 2100 チャンネルまで表示します。

外部チューナー（スカパー！や CATV など）の番組表データについて

Q 接続したスカパー！チューナーや CATV チューナーの専門チャンネルなどの番組表のデータはどうすれば表示できるの？

A 番組表の情報取得には iNET を利用します。（iNET については、「地上アナログ放送の番組表データについて」をご覧ください。）

お知らせ

- 番組表が表示されても、CATVの契約状況により、正しく録画できない場合があります。ご契約内容をご確認のうえ、表示チャンネルを設定してください。
- ご契約のチャンネル名と番組表に表示されるチャンネル名は異なることがあります。

番組表の設定をする・つづき

番組表のその他の設定をする

番組表でデジタル放送の表示／非表示を設定する

地上デジタル放送、BS・110 度 CS デジタル放送の番組表の表示、非表示設定ができます。

≫ 準備

- 以下の操作で「番組ナビチャンネル設定（ステップ 1）」の設定画面にする
  - ① 番組ナビ を押す
  - ②【番組ナビ設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
  - ③【番組ナビチャンネル設定】を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

1 **各デジタル放送の「番組表表示」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押して、表示／非表示を設定する**

決定を押して「✓」のつけはずしをします。
「✓」をつける・・・番組表に表示されます
「✓」をはずす・・・番組表に表示されません

2 **【登録】を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す**

設定が登録されます。

フルリモコンの番号ボタンで番組表を絞り込み表示する（一発切換機能）

番組表では、各放送メディアごとにフルリモコンの番号ボタンが割り当てられています。
番組表を表示中に番号ボタンを押すと、割り当てられた放送メディアだけの番組表に絞り込むことができます。

お好きなチャンネルを絞り込み表示用に設定できます。
（➡次ページの「フルリモコンの番号ボタンに絞り込みチャンネルを設定する」をご覧ください。）

1 **番組表を表示中に、絞り込みをしたい放送メディアの番号ボタンを押す**

番号ボタンに割り当てられた放送メディアだけの番組表に切り換わります。
例：8 ■ を押した場合

2 **絞り込みを解除する場合は、11/0 チャプター 分割/結合 を押す**

チャンネルの表示順を変更する

番組表での全チャンネルの表示順番を並べ替えることができます。

≫ 準備

- 以下の操作で「全チャンネル表示順／絞り込み設定（ステップ 3）」の設定画面にする
  ① 番組ナビ を押す
  ②【番組ナビ設定】を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す
  ③【番組ナビチャンネル設定】を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す
  ④【全チャンネル表示順／絞り込み設定】を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

番組ナビ 全チャンネル表示順/絞り込み設定(ステップ3)

表示順	チャンネル	絞り込み表示 A	B	C
1	011 NHK総合･東京	✓		✓
1	012 NHK総合･東京	✓		✓
1	013 NHK総合･東	✓		✓
2	021 NHK教育･東	✓	✓	
2	022 NHK教育･東	✓	✓	
3	031 TVK		✓	
4	041 日本テレビ	✓		✓
4	042 日本テレビ	✓		✓

表示順入力 1

並べ替え解除　登録

1 **表示順を変更したいチャンネルを▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す**

2 **表示する順番を▲･▼で設定し、決定 を押す**

表示順が変更されます。

3 **【登録】を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す**

設定が登録されます。
※【登録】をしないと設定はされません。

ご注意

- 表示順を変更し、設定を完了すると、番組表や番組リストを表示した時点で番組データを取得しなおすので、表示されるまで時間がかかります。一時的な配列変更のために本機能をご利用になることはおすすめできません。

フルリモコンの番号ボタンに絞り込みチャンネルを設定する

フルリモコンの 8 絞込みA ■ 、9 絞込みB スロー▶ 、10/# 絞込みC ⏮スキップ +10 に、お好きなチャンネルを絞り込み表示用として割り当てることができます。

≫ 準備

- ⇨『チャンネルの表示順を変更する』（同ページ）の準備を行なう

1 **絞り込み表示に割り当てるチャンネルを▲･▼･◀･▶で選ぶ**

絞り込み表示Ａ・・フルリモコンの ■ に割り当てます
絞り込み表示Ｂ・・フルリモコンの スロー▶ に割り当てます
絞り込み表示Ｃ・・フルリモコンの ⏮スキップ に割り当てます

決定 を押して「✓」のつけはずしをします。

「✓」をつける・・・絞り込み番組表に表示されます
「✓」をはずす・・・絞り込み番組表に表示されません

- クイック を押して、放送メディアごとにまとめて「✓」のつけはずしをすることもできます。

2 **【登録】を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す**

設定が登録されます。
※【登録】をしないと設定はされません。

ネットワーク機能の設定をする

本機のネットワーク機能（イーサネット）を利用する設定と、地上デジタル放送での双方向通信サービスなどを利用する際に、通信接続方法の利用設定を行ないます。

- ネットワーク機能を使用するには、あらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約と、ブロードバンド常時接続の環境に、本機をつなぐことが必要です。
- ブロードバンド常時接続環境につなぐ方法は、⇨25 ページをご覧ください。

例）ブロードバンド常時接続環境につなぐ

本機の「LAN」端子を使ってつなぎます

ネットワーク（イーサネット）機能の利用設定をする

≫ 準備

- 以下の手順で『イーサネット利用設定』の項目選択画面にする
  ① スタートメニュー を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、決定 を押す
  ③【ネット機能設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

イーサネット利用設定
- 利用しない
- 利用する

1 【イーサネット利用設定】を▲・▼で選び、決定 を押す

2 【利用しない】または【利用する】を▲・▼で選び、決定 を押す

利用しない
本機のネットワーク（イーサネット）機能を利用しません。
利用する
本機のネットワーク機能を利用するのに必要な、【イーサネット / ネット de ダビング設定】に移動します。⇨手順 3 へ

以下が設定されているときは、「利用しない」にできません。
- 地上アナログ放送の番組表情報取得先が「iNET」（⇨74 ページ）に設定されているとき。
- 「おすすめサービス」機能（⇨操作編 97 ページ）が「利用する」に設定されているとき。

番組情報の取得先を iNET 以外に設定し、おすすめサービスを「利用しない」に設定してください。

3 下の表にしたがって、「ネットdeナビ/ダビング/レック/サーバー」画面と「アドレス/プロキシ」画面の各項目を設定する

左の例は、RD-S1004K の場合です。

◄／►でタブを選択して画面を切り換えます

ご注意

不正なアクセスなどを防ぐため、「本体ユーザー名」と「本体パスワード」を必ず入力する必要があります。ユーザー名とパスワードは、他人に知られたり、容易に推測されないような、お客様独自のものにしてください。
これらの入力をしないと、設定を完了できません。

4 設定が終わったら【登録】を▲・▼・◄・►で選び、決定 を押す

■設定項目（ネット de ナビ / ダビング / レック / サーバー画面）

●ネットdeナビ設定

本体名	半角英数字記号 15 文字以内	通常は設定を変える必要はありません。本機を複数台接続する場合は、それぞれ本体ごとに変更してください。
本体ユーザー名	半角英数字記号 16 文字以内	パソコンから本機にアクセスするための ID※1 です。
本体パスワード	半角英数字記号 16 文字以内	パソコンから本機にアクセスするためのパスワード※1 です。 パスワードを入力すると「＊」で表示されます。 パスワードを忘れたときは、新たなパスワードを入力し、設定してください。
本体ポート番号	80	通常は設定を変える必要はありません。うまく接続できないときや、機能の一部が働かないときに、2000 ～ 10000 の間で変更します。

※ 1：「本体ユーザー名」「本体パスワード」は他人に知られたり、容易に推測されないような、お客様独自のものにしてください。（避けた方がよい例：ご自身やご家族の名前、電話番号、誕生日、住所の地番、車のナンバー、同じ数字や記号の単純な並びなど）

●ネットdeダビング設定

ダビング要求	受け付ける※2	当社製 HDD&DVD レコーダー（HD DVD ドライブ搭載機および VTR 一体型を含む）を複数台ネットに接続して相互ダビングするときに選びます。
	受け付けない	ネットを通してのダビングを許可しません。
グループ名	例：TOSHIBA	複数台をネットに接続しているときのグループ名を設定します。
グループパスワード		グループ名を設定したときに、パスワードを設定します。
ネット de レック／サーバー設定	使わない	ネット de レック / サーバー機能を使いません。
	使う（フィルタ制限なし）	同一ホームネットワーク内の、すべての機器から、映像の受け付けと配信をします。
	使う（フィルタ制限あり）	同一ホームネットワーク内の、MAC アドレスを登録した機器から、映像の受け付けと配信をします。

※ 2：ネット de レック対応機器に TS/TSE タイトルのみダビングする場合は、「ネット de ダビング設定」は不要です。

■設定項目（アドレス／プロキシ画面）

●ブロードバンド常時接続環境に接続している場合の設定

DHCP	使う	ネットワークの情報を自動的に取得します。
IP アドレス	（設定不要）	DHCP サーバーから取得した IP アドレスが表示されます。
サブネットマスク	（設定不要）	DHCP サーバーから取得したサブネットマスクが表示されます。
デフォルトゲートウェイ	（設定不要）	DHCP サーバーから取得したデフォルトゲートウェイが表示されます。
DNS サーバー	自動取得「使う」	「使う」を選ぶと DHCP サーバーから自動的に DNS サーバーアドレスが取得されます。
	自動取得「使わない」	DNS サーバーアドレスを手動で入力します。
プロキシサーバー	半角英数字記号 32 文字以内	使用しているプロバイダでプロキシ設定が必要な場合に、そのプロキシサーバーのアドレスを設定します。
プロキシポート	80	通常は設定を変える必要はありません。変更が必要なときだけ、1 ～ 65535 の間で設定します。
MAC アドレス	（設定不可）	各本体ごとに決められている MAC アドレスが表示されています。 変更はできません。
接続確認※3	本機がルーターと問題なく接続されているか確認します。	

※ 3：【接続確認】を押すと「アドレス／プロキシ」画面で変更した項目が保存され、保存前の設定に戻せなくなります。念のため設定内容を書き留めておくことをおすすめします。

お知らせ

• ルーターのDHCP機能がうまく働かず、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが取得できずエラーになる場合は、ルーターのメーカーにお問い合わせください。

●パソコンやネットdeダビング対応機と直接接続した場合の設定

DHCP	使わない	ネットワークの情報を手動で設定します。
IP アドレス	パソコンの IP アドレスが 192.168.1.10 の場合 例：192.168.1.15	本機と接続するパソコンと同じサブネット内の異なるアドレスを設定します。
サブネットマスク	例：255.255.255.0	接続するネットワーク環境のサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	例：192.168.1.1	本機がゲートウェイを使う場合に設定します。
DNS サーバー	例：192.168.1.1	本機が DNS を使う場合に設定します。
プロキシサーバー	（設定不要）	設定は不要です。（設定しても無視されます。）
プロキシポート	（設定不要）	設定は不要です。（設定しても無視されます。）
MAC アドレス	（設定不可）	各本体ごとに決められている MAC アドレスが表示されています。 変更はできません。
接続確認※4	本機と接続したパソコンに接続されているか確認します。 注：「接続確認」をして DNS サーバーに関するメッセージが表示される場合は無視してください。	

※ 4：【接続確認】を選び、『決定』を押すと「アドレス／プロキシ」画面で変更した項目が保存され、保存前の設定に戻せなくなります。念のため設定内容を書き留めておくことをおすすめします。

お知らせ

• IPアドレスは、プライベートIPアドレスが設定できます。（例：192.168.1.1～192.168.1.254）

ネットワーク機能の設定をする・つづき

■ネット de ダビングの設定についての重要なお知らせ

すでにお持ちの RD シリーズ（ネット de ダビング対応の従来モデル）とネット de ダビングするときは、両方のグループ名とパスワードを一致させないと、相互にダビングすることができなくなりますので、本機能をご利用になる機器は、すべて同一のグループ名とグループパスワードに設定してください。
従来モデル※1 のグループ名とグループパスワードは、初期設定がいずれも半角の大文字で、「TOSHIBA」となっています。お客様がこの初期設定のまま従来モデルをお使いの場合、本機に「TOSHIBA」を設定してご使用いただくこともできますが、不正なアクセスなどを防ぐためにも、従来モデルの「ネット de ナビ」画面（パソコン上）で「本体設定」※2 を開き、「ネット de ダビングの設定」を、本機で新たに設定したグループ名とグループパスワードに変更していただくことを強く推奨いたします。

※１ネット de ダビング対応従来モデル（グループ名、グループパスワードの初期設定が「TOSHIBA」の機種）
RD-XS43、RD-XS53、RD-XS24、RD-XS34、RD-XS36、RD-XS46、RD-X5、RD-H1、RD-H2、RD-Z1

※２RD-Z1 では「ネット de ナビ設定」となります。

ネット de ナビの設定をする

ネット de ナビを使うパソコン側の設定は、OS の種類によって異なりますので、詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。ここでは、Windows® XP を例に説明しています。

パソコンの設定をする（パソコンと直接接続している場合）

1 「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」→「ローカルエリア接続」の「プロパティ」をクリック→「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の「プロパティ」をクリックする

「次の IP アドレスを使う」を選び、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
これらの設定をする前に、すでに値が設定されているときには、設定を戻せるようにその内容を記録しておくことをおすすめします。

①**「IP アドレス」：**
- 192.168.1.10 を設定します（本体の IP アドレスとは異なるアドレスを設定します）。

②**「サブネットマスク」：**
- 255.255.255.0 に設定します。

2 画面の「OK」をクリックする

「OK」をクリックしたあとは、パソコンの指示にしたがってください。
パソコンを再起動する場合もあります。

⇨**「ネット de ナビを起動する」に進みます。**

パソコンの設定をする（ブロードバンド常時接続のパソコンと接続している場合）

ブロードバンド常時接続しているパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側の設定は必要ありません。
⇨「ネット de ナビを起動する」に進みます。
もし、「ネット de ナビ」が起動しないときは、「DHCP を使わない」に設定し、パソコンの「TCP/IP のプロパティ」の設定に合わせて、本機の設定を手動で変更してください。

お知らせ

- インターネットに接続している場合、IPアドレスを指定すると接続できなくなることがあります。インターネットに接続するときは、設定を元に戻してください。
- Mac OS Xの場合は、「アップルマーク」→「システム環境設定」→「ネットワーク」→「TCP/IP」を開き、設定方法を「手入力」にし、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

ネットdeナビの設定

本機をパソコンで設定／操作するためのネット de ナビを起動します。
ここでは、Windows® XP を例に説明しています。

例

1 パソコンでネットdeナビ対応のブラウザを起動する

- 本取扱説明書では、Windows® の Internet Explorer を例にしています。
- ブラウザ上の【戻る】ボタンを使うと、設定や表示が正しく行なわれない場合があります。

?ヘルプ をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。

2 アドレスにhttp://RD-S1004/（お手持ちの機種名に合わせてください）を入力し、パソコンのENTERを押す

MAC OS X の場合や、本体名を入れたアドレスでアクセスできない場合は、 から「設定メニュー」を表示し、「ネット機能設定」の「イーサネット / ネット de ダビング設定ーアドレス／プロキシ」画面 (⇨82 ページ) で設定されている本体の IP アドレスを本体名の代わりに入力します。
（例）http://192.168.1.15/

ここの数値をブラウザのアドレスバーに http:// に続けて入力します。

アドレスを入力すると、本機の「イーサネット / ネット de ダビング設定」で設定した「本体ユーザー名」と「本体パスワード」を入力する画面が表示されますので、それぞれ入力してください。

入力後、メインメニューが表示されます。

- 対応ブラウザでお気に入りやブックマークに登録する場合は、このときに行なってください。

3 Ⓐパソコンと直接接続している場合：
メインメニューから使いたい機能をクリックする

機能についての操作方法は、
http://www.rd-style.com/
をご覧ください。

Ⓑブロードバンド常時接続のパソコンと接続している場合：
メインメニューから【ネットdeナビ設定】をクリックする

次のページの手順 **4** に進んでください。

ネットワーク機能の設定をする・つづき

4 設定する項目をクリックし、値を選ぶかデータを入力する

設定する内容は、⇨同ページ、および 87 ページをご覧ください。

5 設定が終わったら、【登録】をクリックする

設定した内容が登録されます。

お知らせ

- パソコンに初めて接続するときなど、接続先の環境が変わる場合は、本体の「イーサネット/ネットdeダビング設定」(⇨82ページ～)をやり直してください。

■番組情報サイトの設定

番組情報取得アドレス（専用サイト）	tvsurf.jp	予約名や番組説明を取得するサイトを設定します。
番組情報更新設定	両方強制	予約名、番組説明ともに、手動で入力してあっても、強制的に更新します。*1
	番組説明強制	手動で番組説明が入力してあっても、強制的に最新の番組説明に更新されます。*1
	予約名強制	手動で予約名を変更してあった場合でも、強制的に最新の番組名に更新されます。*1
	通常	推奨設定です。空欄の番組名も番組説明も自動的に入力・更新されます。

- 本機の動作状態によっては、録画予約されない場合があります。
- 番組表から予約し、未修正の予約情報（予約名、番組説明、ジャンル）は、設定に関わらず更新します。また、空白の場合も更新します。
- ジャンルを指定しないで録画した場合も録画終了時に自動的に更新されます。

*1 DEPG（ADAMS、iNET）使用時は、録画時以外にも一日 1 ～ 2 回不定期で番組情報を更新します。

■メール録画予約機能の設定（メール録画予約機能を使う場合に設定します。）

メール録画予約機能	使用する	メール録画予約機能を使います。
	使用しない	メール録画予約機能を使いません。
メール予約パスワード	例：rdstyle	予約メールとして判別するために、6 文字以上 20 文字以内で半角英数字を設定します。記号が含まれているとエラーが起こり、メール録画予約はできません。
POP3 サーバーアドレス	例：XXX.XXX.ne.jp	ご使用のプロバイダの POP3 サーバーのアドレスを設定します。（半角英数字 63 文字以内）
POP3 ユーザー名		ご使用のプロバイダの POP3 サーバーにアクセスするときのユーザー名を設定します。半角英数字 63 文字以内で入力します。
POP3 パスワード		ご使用のプロバイダの POP3 サーバーにアクセスするときのパスワードを設定します。半角英数字 16 文字以内で入力します。
APOP	使用する	APOP を使います。
	使用しない	APOP を使いません。
電源 ON 時の POP3 アクセス間隔	例：15	POP3 サーバーへのアクセス間隔時間（電源 ON 時に定期的に予約メールをチェックする時間の間隔）を 5 分～ 120 分の間で設定します。
電源 OFF 時の POP3 アクセス 時間の分	例：40	POP3 サーバーへのアクセス時間（電源待機状態時に定期的に予約メールをチェックする時間の「分」）を選択します。 2 時 /5 時 /8 時 /11 時 /14 時 /17 時 /20 時 /23 時の選択された「分」に予約メールをチェックします。
メール録画予約時 アドレスフィルタリング	使用する	「フィルタアドレス」で指定したアドレスからの予約メールだけを受信します。
	使用しない	すべてのアドレスからの予約メールを受信します。
フィルタアドレス	例：XXXXXXXX@XXX.XXX.ne.jp	「メール録画予約時アドレスフィルタリング」を「使用する」にしている場合に設定します。半角英数字 63 文字以内で入力します。

■メール録画予約機能の設定（つづき）

メール通知機能	使用しない	メール録画予約が完了したときにメールで通知しません。
	指定アドレスへ通知	メール録画予約が完了したときにメール通知用の指定アドレスへ通知します。
	送信元アドレスへ通知	メール録画予約が完了したときに送信元アドレスへ通知します。
	指定アドレスと送信元アドレスへ通知	メール録画予約が完了したときにメール通知用の指定アドレスと送信元アドレスへ通知します。
失敗しそうな予約の通知	通知しない	メール通知はしません。
	通知する	失敗しそうな予約がある場合、メールでお知らせします。 （例）・番組の途中で録画が中断したとき ・番組追っかけに失敗したとき ・優先度の関係で録画が失敗したとき このメールは目安であり、実際に失敗する予約すべてを通知するものではありません。予約にはご注意ください。
おまかせ自動予約の通知	通知しない	メール通知はしません。
	通知する	「おまかせ自動録画」で録画予約をした場合に、メールでお知らせします。
SMTP サーバーアドレス	例：XXX.XXX.ne.jp	SMTP サーバーのアドレスを設定します。 半角英数字 63 文字以内で入力します。
メールアドレス	例： XXXXXXXX@XXX.XXX.ne.jp	プロバイダのメールサービスのメールアドレスを設定します。 半角英数字 63 文字以内で入力します。
メール通知用の指定アドレス	例： XXXXXXXX@XXX.XXX.ne.jp	メール録画予約が完了したときに通知する先のメールアドレスを設定します。半角英数字 63 文字以内で入力します。

■CSV 保存時の設定

番組説明を含める	含める	ライブラリの情報を CSV ファイルに保存するときに番組説明も含めることができます。
	含めない	CSV ファイルに番組説明を含めないで保存します。

■その他の設定

時計サーバー	東芝のサーバー	本機が時計サーバーにアクセスすることで、時刻の誤差を修正します。
MAC アドレス		各本体ごとに決められている MAC アドレスを表示しています。変更はできません。

お知らせ

- 本機の動作状態によっては、メール録画予約機能が働かない場合があります。
- 時計サーバーによる時刻調整は、マンションなどの共有ネットワーク環境などでは使用できない場合があります。
- ルーターによっては、DHCPによって割り振られるIPアドレスが頻繁に変わる場合があります。
- ルーターの管理ソフトウェアで、本機のIPアドレスを確認するには、本機の「イーサネット/ネットdeダビング設定」の「アドレス／プロキシ」画面（⇨82ページ）に表示されているMACアドレスから、割り振られたIPアドレスを探してください。
- 「イーサネット/ネットdeダビング設定」の「本体ポート番号」を「80」以外の値に設定している場合は、本体名またはIPアドレスの後ろに「：ポート番号」を入力します。（例 機種がRD-S1004Kで本体ポート番号を2000にした場合：http://RD-S1004:2000/）
- プロキシ設定が行なわれていると、アクセスできない場合があります。⇨83ページをご覧ください。
- 本体側が動作中のときは、ネットdeナビが操作できても設定できない場合があります。

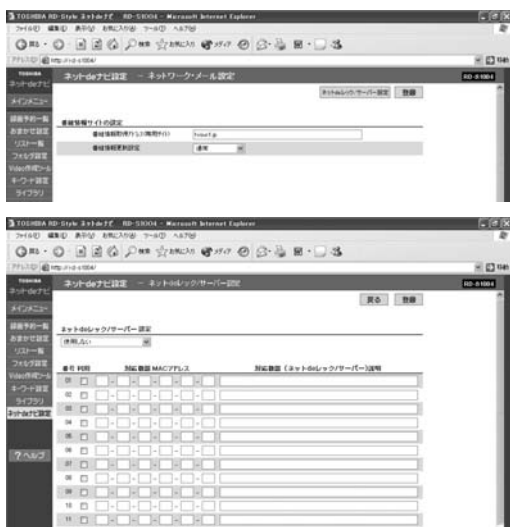
ネットワーク機能の設定をする・つづき

ネット de サーバー HD 機能の設定（DLNA 対応機器にタイトルを配信する）

本機では、内蔵 HDD や USB HDD、DVD（VR または HDVR フォーマット）にあるタイトル（映像コンテンツ）を、ネットワークに接続した DLNA*1 対応機器（デジタルメディアプレーヤー）に配信して、視聴することができます。また、著作権保護されたコンテンツを伝送するための DTCP-IP 規格 *2 に対応しており、当社製 REGZA 52/46ZX8000、55/47ZH8000、47/42/37Z8000、52/46/42ZH7000、46/42/37Z7000、52/46ZH500、42/37ZV500 シリーズへは、内蔵 HDD や USB HDD に録画した TS タイトルを配信することもできます。

≫ 準備

- **本機と DLNA 対応機器を接続しておきます。（⇒25 ページ）**

※接続できるのは、ホームネットワーク内の機器（同一サブネットに接続された機器）です。

1 メインメニューの【ネットdeナビ設定】をクリックする

2 【ネットdeレック/サーバー設定】をクリックする

3 DLNA機能の使用方法を選択する

使う（フィルタ制限なし）：
同一ホームネットワーク内のすべてのデジタルメディアプレーヤーに映像を配信します。
使う（フィルタ制限あり）：
同一ホームネットワーク内のMACアドレスを登録したデジタルメディアプレーヤーにだけ、映像を配信します。
「フィルタ制限あり」にしたときは、手順4の設定が必要です。

- 不正なアクセスなどを防ぐため、通常は【フィルタ制限あり】に設定してください。
- この設定は【ネット de レック】の設定と連動しています。

4 DLNA機能を使用する機器のMACアドレスを入力する

- 16台まで登録できます。
- 【利用】のチェックボックスをクリックして、その機器を利用するかどうかを設定することができます。
  「✓」あり…利用する　「✓」なし…利用しない
- この設定は【ネットdeレック】の設定と連動しています。

5 【登録】をクリックする

メモ

配信できるタイトル（映像コンテンツ）について

TS タイトル	形式	MPEG2-TS
	映像	MPEG2
	音声	AAC
VR タイトル	形式	MPEG2-PS
	映像	MPEG2
	音声	リニア PCM、AC3、MPEG1 レイヤ 2

→以降は、デジタルメディアプレーヤーのマニュアルを参考にして操作してください。

＊1 DLNA（Digital Living Network Alliance）デジタル時代の相互接続性を実現させるための標準化活動を推進する業界団体です。
＊2 DTCP-IP規格（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）インターネットプロトコル（IP）向けデジタル伝送用のコンテンツ保護規格
＊3 DLNA対応機（DLNA認定サーバー（映像）（DLNA CERTIFIED Video Server）DLNA認定プレーヤー（映像）（DLNA CERTIFIED Video Player））は、DLNA発行の「ホームネットワークのデジタル機能ガイドライン」に適合し、サポートしているコンテンツの種類が映像である、デジタルメディアサーバーあるいはプレーヤーです。ホームネットワークに接続することで、デジタルメディアサーバーの映像コンテンツをデジタルメディアプレーヤーで再生することができます。

お知らせ

- VRタイトルは、HDDからの配信は同時に2本まで、DVD（VRまたはHDVRフォーマット）とUSB HDDからの配信は1本となります。TSタイトルは、HDDとUSB HDDから1本のみ配信可能です。また、HDDとDVDおよびUSB HDDからの同時配信はできません。
- コピー禁止のVRタイトルや、TSEタイトルなどは配信できません。
- スカパー！ HD対応チューナーから録画したタイトルは、デジタルメディアプレーヤー（DLNA配信）で視聴することができない場合があります。
- TSタイトルは、DTCP-IP規格に対応した他機器（プレーヤー）でのみ再生できます。
- 本機以外で録画したTSタイトルは、再生できない場合があります。
- 編集したタイトルやプレイリストは、接続したデジタルメディアプレーヤーによっては再生できない場合や、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- 9時間を超えるMPEG2-PS（VRフォーマット）のプレイリストは配信できません。
- お客様のネットワーク環境やその状況、あるいは本機の内部動作状況によって、接続した機器で、再生中に映像・音声が乱れる、あるいは再生できない場合があります。

当社製 RD シリーズを 2、3 台使うときのリモコン設定

当社製の HDD&DVD レコーダー（HD DVD ドライブ搭載機および VTR 一体型含む）を 2 台または 3 台お使いになるときには、リモコンモードを別々に設定しておくと、誤動作の防止に役立ちます。
※1 台だけお使いになるときには、設定を変更する必要はありません。
※AK シリーズも含みます。

≫ 準備

- 以下の操作で「リモコンモード」の選択画面にする
  ① (スタートメニュー) を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、(決定) を押す
  ③【操作・表示設定】を▲・▼で選び、(決定) を押す

設定例

別の当社製 HDD & DVD レコーダーのリモコンモードが「DR1」に設定してあるので、本機のリモコンモードを「DR2」にする
※リモコンモードは、本体とリモコンのそれぞれを設定する必要があります。

1 【リモコンモード】を▲・▼で選び、(決定) を押す

2 例の場合、【DR2】を▲・▼で選び、(決定) を押す

(決定) を押したあとは、リモコンモードが切り換わるので、下のリモコン側の設定をするまで、リモコンが働かなくなります。

リモコン側のリモコンモードを設定する

1 (ドライブ切換) を押したまま、(再生) を押す（シンプルリモコンの例）

本体と同じリモコンモードを選びます。
他のモードや、フルリモコンのリモコンモード設定は、下の表をご覧ください。

モード設定	本体側	シンプルリモコン側	フルリモコン側
DR1 のモードで操作する	設定画面で【DR1】に設定	ドライブ切換 ＋ 早戻し	編集ナビ ＋ 1 コマ戻し
DR2 のモードで操作する	設定画面で【DR2】に設定	ドライブ切換 ＋ 再生	編集ナビ ＋ 2 一時停止
DR3 のモードで操作する	設定画面で【DR3】に設定	ドライブ切換 ＋ 早送り	編集ナビ ＋ 3 コマ送り

リモコンの操作を一時的にオフにする

当社製の HDD&DVD レコーダー（HD DVD ドライブ搭載機および VTR 一体型含む）を複数台お使いのときなど、DR1、DR2、DR3 のモードの使い分けで足りない場合、本機が動作しないよう一時的に本機のリモコン信号受信を止めることができます。

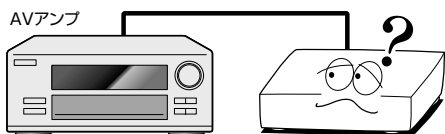
本体の ドライブ切換 を押しながら、本体の ■停止 ボタンを約 3 秒以上押す

本体表示部に「DR - OFF」の表示が出て、リモコンは働かなくなります。
解除するときは、もう一度同様の操作をします。
（このとき、リモコンモードの設定に応じて「DR - 1」、「DR - 2」または「DR - 3」が表示されます。）

お知らせ

- リモコンのリモコンモードと本体のリモコンモードが違うと、操作したときに、本体側のリモコンモードが本体の表示窓に約3秒間表示されます。
- 他の当社製HDD&DVDレコーダー（HD DVDドライブ搭載機およびVTR一体型含む）は、リモコン操作できる機能が異なることがあります。
- リモコンの電池を入れ換えたとき、または本体の時刻表示が点滅したときには、本体とリモコンのリモコンモードを確認してください。

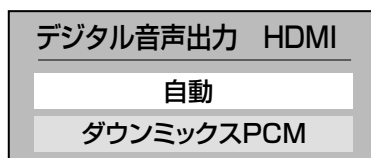
外部機器接続時の設定とオプション設定・つづき

音声出力の設定をする

HDMI 出力端子やビットストリーム /PCM（光）端子をお使いになる場合に必要な設定です。
接続しているテレビやオーディオシステムに合わせて設定します。

≫ 準備

- 以下の操作で「再生機能設定」の項目選択画面にする
  ① (スタートメニュー) を押す
  ②【設定メニュー】を▲・▼で選び、(決定) を押す
  ③【再生機能設定】を▲・▼で選び、(決定) を押す

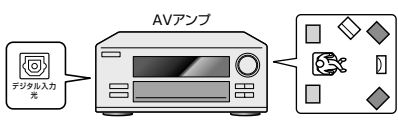
1 接続した機器に合わせて、【デジタル音声出力 光】または【デジタル音声出力 HDMI】を▲・▼で選び、(決定) を押す

2 出力する音声方式を▲・▼で選び、(決定) を押す

【デジタル音声出力 光】：
ビットストリーム、PCM から選びます。
【デジタル音声出力 HDMI】：
自動、ダウンミックス PCM から選びます。

デジタル音声出力　光（接続は ➡ 48 ページ）

アンプなどの外部機器を、本機のデジタル音声出力ビットストリーム／ PCM（光）端子に接続してあるとき、どの音声方式を出力するかを設定します。

設定項目		備考
AVアンプ / デジタル入力 光	**ビットストリーム**： ドルビーデジタル、DTS、AAC のデコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。	ドルビーデジタル、DTS、AAC のコンテンツを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。
AVアンプ / デジタル入力 光	**PCM**： 2ch デジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。	ドルビーデジタル、AAC のコンテンツを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

：フロントスピーカー　：サブウーファー　：サラウンドスピーカー　：センタースピーカー

※スピーカー類の配置は一例で、目安です。お使いの環境に合わせて設置してください。

ご注意

- 本機のビットストリーム /PCM（光）端子に、ドルビーデジタル、DTS のデコード機能を搭載していない AV デコード製品を接続してお使いになるときは、【デジタル音声出力　光】を、必ず【PCM】にしてください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

デジタル音声出力　HDMI（接続は⇨49 ページ）		
HDMI 端子付き機器を、本機の HDMI 出力端子に接続してあるとき、どの音声方式を出力するかを設定します。		
設定項目		備考
	自動： ドルビーデジタル、DTS、AAC、リニア PCM のデコーダーを内蔵した HDMI 機器を本機に接続しているとき。	ドルビーデジタル、DTS、AAC のコンテンツを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。接続した HDMI 機器がドルビーデジタル、または AAC に対応していないときは、リニア PCM に音声を変換して出力します。
	ダウンミックス PCM： 2ch デジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。	ドルビーデジタル、AAC のコンテンツを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

出力される音声の種類

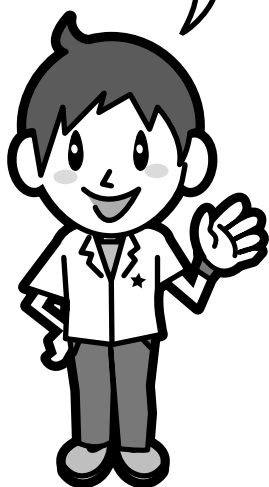
ディスク／放送	音声方式		アナログ音声出力端子	デジタル音声出力 光		デジタル音声出力 HDMI	
				ビットストリーム	PCM	自動	ダウンミックス PCM
DVD ビデオディスク	ドルビーデジタル		○	ビットストリーム	2ch PCM	接続機器に準ずる	2ch PCM
	L-PCM	48kHz	○	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
		96kHz	○	2ch PCM*1	2ch PCM*1	2ch PCM	2ch PCM*1
	DTS		−	ビットストリーム	−	接続機器に準ずる	−
音楽用 CD	L-PCM	44.1kHz	○	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	DTS CD		（ノイズ）	ビットストリーム	ビットストリーム	ビットストリーム	ビットストリーム
デジタル放送	視聴時	AAC	○	ビットストリーム	2ch PCM	接続機器に準ずる	2ch PCM
	TS 記録	AAC	○	ビットストリーム	2ch PCM	接続機器に準ずる	2ch PCM
	TSE 記録	AAC	○	ビットストリーム	2ch PCM	接続機器に準ずる	2ch PCM
	VR 記録	ドルビーデジタル	○	ビットストリーム	2ch PCM	接続機器に準ずる	2ch PCM
		L-PCM	○	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
アナログ放送／アナログ入力	視聴時	L-PCM	○	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	VR 記録	ドルビーデジタル	○	ビットストリーム	2ch PCM	接続機器に準ずる	2ch PCM
		L-PCM	○	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM

*1: ダウンサンプリング PCM

お知らせ

- デジタル音声出力をお使いになるときは、対応したAVアンプが必要です。
- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使ってする場合があります。このときは、『メニュー』を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたとき、およびディスクを交換したときは、「DVD音声言語」（⇨操作編180ページ）の設定どおりの音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。
- ビットストリーム／ PCM音声出力端子でアンプなどに接続する場合、二カ国語の音声切換ができない場合があります。このようなときは「設定メニュー」>「再生機能設定」>「デジタル音声出力　光」>「PCM」の順に選択、決定してください。
- 「DVD互換モード」（⇨操作編45ページ）を【入】にして録画したタイトルは、二カ国語の音声切換はできません。

ご注意と参考資料

本機をお使いに
なる上での
大事なお知らせ
があります。

使用上のお願い 必ずお読みください。

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

内蔵ハードディスク（HDD）、USB HDD および DVD ドライブについての重要なお願い

本機にはハードディスク（HDD）が内蔵されています。USB HDD を本機に接続して使用することもできます。これらの HDD は衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことにお気をつけください。

- 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
- 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
- 本機は水平に置いてください。USB HDD は、メーカーの指示に従って置いてください。
- 背面の内部冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
- 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
- 電源を入れたままの状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず電源ボタンを押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。

HDD は非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。このため HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとに、各 DVD ディスクなどにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。
また、HDD 内に壊れかけている部分があると、録画した場合には、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまうおそれがあります。こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に各 DVD ディスクにダビングしてください。パソコンと同様に、HDD は壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。DVD ディスクへのバックアップを前提の上で使用してください。

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 移動させるときは
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
  変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
  ディスクトレイから必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  電源プラグを抜いてください。（表示窓に“□”表示中は、本体の『停止』ボタンを長押しして、消灯したのを確認してから、行なってください。）

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオデッキの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオデッキからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、ビデオデッキなど熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本体のよごれはやわらかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを含ませて固く絞った柔らかい布で、拭き取ってください。その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
  This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続した場合、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合には改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

音量について

- 市販のDVDビデオディスクの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。
  これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

たいせつな録画・録音・編集について

- たいせつな録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行ない、正しくできることを確かめておいてください。
  本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、飛んだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限（録画禁止など）があるものがあります。この場合、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。
  ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。
  ただし、著作権保護のため1回だけ録画が可能な番組（コピーワンスプログラム）などの録画はバックアップをとることはできません。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合その内容は保存されません。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。
- 停電復帰後に、時計表示が点滅している場合は、時刻を合わせてください。

本体表示窓に「WAIT」と表示されたときには

- 「WAIT」表示中は、本機内部で動作処理中ですので、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
  「WAIT」の表示が消えるまでは、操作をしないで、そのままお待ちください。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販のDVDビデオディスクなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」が表示されることがあります。
  「⊘」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

録画・録音するときの制約

- 市販されているコピーが禁止されたDVDビデオディスク、音楽用CDの内容を、本機でコピーすることはできません。
  録画・録音が制限されていないものは、個人使用の範囲内でだけ、コピーや編集ができます。1回だけ録画が可能な映像（コピーワンス）や複数回コピー可能な映像（ダビング10）※1を、本機は内蔵HDDに録画します。
  内蔵HDDやUSB HDDに録画したコピーワンスの映像は、CPRM※2対応のDVD-RAM、DVD-R/RW（HDVR/VRフォーマット）へのダビング（移動）が可能ですが、ダビング（コピー）はできません。内蔵HDDやUSB HDDに録画したダビング10タイトルは、CPRM※2対応のDVD-RAM、DVD-R/RW（HDVR/VRフォーマット）へのダビング（移動またはコピー）が可能ですが、回数制限があります。コピーワンス、ダビング10ともにダビングの際やその他の編集制限があります。
  また、DVDディスクに記録されたダビング10タイトルは、HDDへコピーも移動もできません。
  ※1 ダビング10については、➡97ページをご覧ください。
  ※2 USB HDDからDVDディスクへ直接ダビングすることはできません。一度内蔵HDDへダビングし、内蔵HDDからDVDディスクへダビングしてください。
  ※3 CPRMや各ディスクについては、➡操作編40、55ページをご覧ください。

ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていただいたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
  また、本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波（地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信できる環境と設定が必要です）の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。（お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています。）ソフトウェアのバージョンアップや自動ダウンロードについては、➡42ページをご覧ください。
  ソフトウェアのバージョンアップ中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

使用上のお願い・つづき

地上デジタル放送について

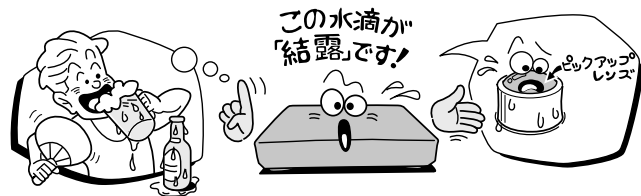
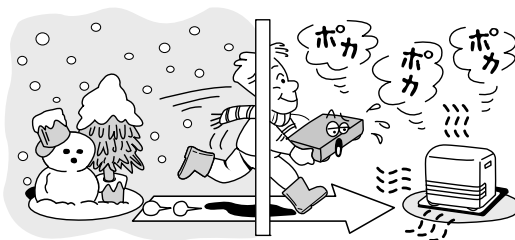
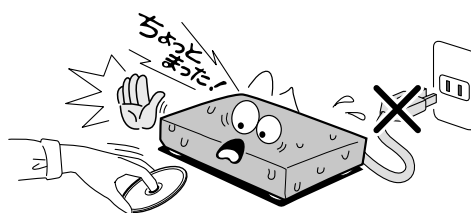
■地上デジタル放送とは？
地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送のことです。現在行なわれているアナログ方式の地上放送は、今後地上デジタル放送に変わっていきます。

■地上デジタル放送の特長
これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。
①デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
②高音質放送（MPEG-2 AAC 方式）
③ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
④データ放送や双方向通信サービス
（通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。また、電話回線等を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。）
（本機は電話回線を使用した双方向通信サービスには対応していません。）
⑤移動体受信・部分受信サービス
（本機では部分受信サービスは受信できません。）
地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。(ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。)

アナログ放送からデジタル放送への移行について

■デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

結露（露付き）について

■結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください
例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■“結露” はこんなときおきます
- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください
結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。しばらくそのまま放置して、水滴が乾燥してから使用してください。

クリーニングディスクについて

■市販の CD/DVD レンズクリーナーや CD/DVD レンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則にしたがってください。**
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、⇨操作編「設定を出荷時に戻す」（179 ページ）や、⇨操作編「HDD 初期化（全削除）」（179 ページ）を行ない、暗証番号や個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。本機に登録した USB HDD は、⇨操作編「記録用 USB 登録設定」（179 ページ）で登録を解除し、もう一度登録し直すことで初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画･保存したままで譲渡すると、著作権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
また、お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
本機では、停電や電源プラグが抜かれたりしたあと、再び電源を入れた際に、廃棄・譲渡時と判断して、設定を出荷時に戻すことをおすすめするメッセージが表示されることがありますが、廃棄・譲渡時でない場合は設定を出荷時に戻す必要はありません。『決定』を押してメッセージを消してからご使用ください。

著作権について

- ディスクや内蔵 HDD 録画内容を無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他の人に渡したり貸したりした場合にも著作権法上問題となることがあります。
- あなたが作成した作品や撮影した映像以外から複製したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金の問い合わせ先
〒 107-0052　東京都港区赤坂５丁目４番６号
赤坂三辻ビル 2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560
あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他の人に渡したり貸したりした場合にも著作権法上問題となることがあります。

本機は、ＡＶＣ規格特許ライセンスのもとで、個人的利用および非商業利用目的に限り、お客様が以下のいずれか、または両方の使用を行なうことが許諾されています。（ｉ）ＡＶＣ標準規格に従いビデオをエンコードすること（以下「ＡＶＣビデオ」という）、（ii）個人的、非商業的行為においてお客様によりエンコードされた、または／および、ＡＶＣビデオを提供するためにライセンスを受けたビデオ提供者から取得した、ＡＶＣビデオをデコードすること。他の使用についてはライセンスを許諾されていません。上記以外の情報については、ＭＰＥＧ ＬＡのＨＰ（http://mpegla.com）より入手できます。

本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Manufactured under license under U.S. Patent #: 5,451,942 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark & the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標又は登録商標です。

SHARC、SHARC ロゴ、SHARC Melody は、アナログ・デバイセズの登録商標です。

本製品には、暗号モジュール技術として、株式会社 ACCESS の AVE®-SSL を搭載しています。
ACCESS、AVE は株式会社 ACCESS の日本またはその他の国における商標または登録商標です。
Copyright© 1997-2006 ACCESS Co., LTD.

ACCESS

- 本取扱説明書に記載されている名称、会社名、商品名などには、各社の登録商標や商標が含まれています。
- 本　機　は、AACS（Advanced Access Content System）と CPRM（Content Protection for Recordable Media）著作権保護技術を採用しています。AACS とは、ディスクに含まれるコンテンツやタイトル（1 回だけ録画可能番組も含む）を保護する技術のことです。また CPRM とは、コピー制限のある番組に対する著作権保護技術です。本機のディスク情報では、CPRM に対応したディスクを HDVR フォーマットすると AACS と表示され、VR フォーマットした場合は CPRM と表示されます。

ダビング 10 番組について

ダビング 10 番組（以下、ダビング 10）とは、デジタル放送でダビング元が HDD のときに、ダビングが最大 10 回（コピー９回と移動 1 回）できる番組のことです。
- ダビング 10 の名称および機能は、予告無く変更されることがあります。

- 2004年4月から、BS/地上デジタル放送の番組が、コピー制限のある番組とされています。

※ダビングについて詳しくは、⇨ 操作編「活用する・ダビング」の章 149 ～ 169ページをご覧ください。

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

地域名と放送局一覧表

⇨61 ページの手順で地域名を設定すると、この表にある放送局が各リモコン番号に自動設定されます。
放送局等の変更があった場合は初めに、⇨「自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する」（61 ページ）をしたあと、⇨「手動で地上アナログ放送のチャンネルを設定／変更する」（62 ページ）で修正してください。
地域の区分や受信チャンネル番号は、送信所の違いや、CATV サービス局からの再送信の送信元の所在地など、お住まいの地域や環境によって異なる場合があります。そのような場合、お住まいの地域ではなく、送信元と思われる地域を元に設定していただき、チャンネル単位で変更してください。

北海道

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	HBC テレビ／1		NHK 総合／3	TVH テレビ／17	STV テレビ／5		UHB テレビ／27			HTB テレビ／35		NHK 教育／12
	函館	UHB テレビ／27		HTB テレビ／35	NHK 総合／4	TVH テレビ／21	HBC テレビ／6				NHK 教育／10		STV テレビ／12
	旭川		NHK 教育／2		TVH テレビ／33	UHB テレビ／37	HTB テレビ／39	STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	
	帯広	UHB テレビ／32		HTB テレビ／34	NHK 総合／4		HBC テレビ／6				STV テレビ／10		NHK 教育／12
	釧路		NHK 教育／2	HTB テレビ／39	UHB テレビ／41			STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	
	苫小牧		NHK 教育／49		HTB テレビ／61	UHB テレビ／53		STV テレビ／57		NHK 総合／51		HBC テレビ／55	TVH テレビ／47
	小樽		NHK 教育／2		HTB テレビ／4	UHB テレビ／26		STV テレビ／7		HBC テレビ／9		NHK 総合／11	TVH テレビ／24
	北見		NHK 教育／2		HTB テレビ／61	UHB テレビ／59		STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／53	
	室蘭		NHK 教育／2		TVH テレビ／29	UHB テレビ／37	HTB テレビ／39	STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	
	網走	HBC テレビ／1		NHK 総合／3		STV テレビ／5		UHB テレビ／27		HTB テレビ／35			NHK 教育／12
	稚内		UHB テレビ／26		NHK 総合／28		STV テレビ／22		HTB テレビ／24		HBC テレビ／10		NHK 教育／30
	名寄		UHB テレビ／26		NHK 総合／4		STV テレビ／6		HTB テレビ／24		HBC テレビ／10		NHK 教育／12
	根室		NHK 教育／2			UHB テレビ／62	HTB テレビ／60	STV テレビ／7		NHK 総合／9		HBC テレビ／11	

東北

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
青森	青森	青森放送／1		NHK 総合／3	ABA／34	NHK 教育／5							青森テレビ／38
	八戸		IBC テレビ／2	テレビ岩手／37	めんこいテレビ／29		岩手朝日テレビ／27	NHK 教育／7		NHK 総合／9	ABA／31	青森放送／11	青森テレビ／33
	むつ				NHK 総合／4		ABA／56		青森テレビ／58		青森放送／10		NHK 教育／12
岩手	盛岡	テレビ岩手／35			NHK 総合／4		IBC テレビ／6		NHK 教育／8		めんこいテレビ／33		岩手朝日テレビ／31
	釜石		NHK 総合／2		岩手朝日テレビ／62		めんこいテレビ／60		テレビ岩手／58		IBC テレビ／10		NHK 教育／12
	二戸		IBC テレビ／2		岩手朝日テレビ／27	NHK 総合／5			めんこいテレビ／29		テレビ岩手／37		NHK 教育／12
宮城	仙台	東北放送／1		NHK 総合／3		NHK 教育／5		東日本放送／32		ミヤギテレビ／34			仙台放送／12
	石巻	東北放送／59		NHK 総合／51		NHK 教育／49		東日本放送／61		ミヤギテレビ／55			仙台放送／57
	気仙沼		NHK 総合／2		東北放送／4		仙台放送／6		東日本放送／43		NHK 教育／10		ミヤギテレビ／37
秋田	秋田		NHK 教育／2			秋田朝日放送／31				NHK 総合／9		秋田放送／11	秋田テレビ／37
	大館	青森放送／1			NHK 総合／4	秋田朝日放送／59	秋田放送／6		NHK 教育／8				秋田テレビ／57
	大曲・横手		NHK 教育／43			秋田朝日放送／41				NHK 総合／45		秋田放送／47	秋田テレビ／51
山形	山形				NHK 教育／4		テレビユー山形／36		NHK 総合／8		山形放送／10	さくらんぼテレビ／30	山形テレビ／38
	鶴岡・酒田	山形放送／1		NHK 総合／3			NHK 教育／6		テレビユー山形／22			さくらんぼテレビ／24	山形テレビ／39
	米沢		さくらんぼテレビ／60		NHK 教育／50		テレビユー山形／56		NHK 総合／52		山形放送／54		山形テレビ／58
	新庄		NHK 教育／2		さくらんぼテレビ／28		テレビユー山形／26			NHK 総合／9		山形放送／11	山形テレビ／58
福島	福島・郡山		NHK 教育／2		テレビユー福島／31		福島中央テレビ／33			NHK 総合／9	福島放送／35	福島テレビ／11	
	いわき				NHK 総合／4		福島中央テレビ／58	テレビユー福島／62	福島テレビ／8		NHK 教育／10		福島放送／60
	会津若松	NHK 総合／1		NHK 教育／3	テレビユー福島／47		福島テレビ／6		福島中央テレビ／37		福島放送／41		

関東

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸	NHK 総合／44		NHK 教育／46	日本テレビ／42		TBS テレビ／40		フジテレビ／38		テレビ朝日／36		テレビ東京／32
	日立	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54		TBS テレビ／56		フジテレビ／58		テレビ朝日／60		テレビ東京／62
栃木	宇都宮	NHK 総合／51		NHK 教育／49	日本テレビ／53	栃木テレビ／31	TBS テレビ／55		フジテレビ／57		テレビ朝日／41		テレビ東京／44
	矢板	NHK 総合／40		NHK 教育／30	日本テレビ／36	栃木テレビ／33	TBS テレビ／42		フジテレビ／45		テレビ朝日／59		テレビ東京／61
群馬	前橋	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54	放送大学／40	TBS テレビ／56	テレ玉／38	フジテレビ／58		テレビ朝日／60	群馬テレビ／48	テレビ東京／62
	桐生	NHK 総合／51		NHK 教育／57	日本テレビ／53	放送大学／40	TBS テレビ／55		フジテレビ／35		テレビ朝日／59	群馬テレビ／41	テレビ東京／61
埼玉	さいたま	NHK 総合／1		NHK 教育／3	日本テレビ／4	放送大学／16	TBS テレビ／6	テレ玉／38	フジテレビ／8		テレビ朝日／10	群馬テレビ／48	テレビ東京／12
	熊谷・児玉	NHK 総合／51		NHK 教育／35	日本テレビ／53		TBS テレビ／55	テレ玉／30	フジテレビ／57		テレビ朝日／59	群馬テレビ／48	テレビ東京／61
	秩父	NHK 総合／14		NHK 教育／49	日本テレビ／16		TBS テレビ／18	テレ玉／47	フジテレビ／29		テレビ朝日／38		テレビ東京／44
千葉	千葉・船橋	NHK 総合／1	TOKYO MX／14	NHK 教育／3	日本テレビ／4	放送大学／16	TBS テレビ／6	tvk／42	フジテレビ／8	チバテレビ／46	テレビ朝日／10		テレビ東京／12
	銚子	NHK 総合／51		NHK 教育／49	日本テレビ／53		TBS テレビ／55		フジテレビ／57	チバテレビ／39	テレビ朝日／59		テレビ東京／61
東京	23区	NHK 総合／1	放送大学／16	NHK 教育／3	日本テレビ／4	TOKYO MX／14	TBS テレビ／6	tvk／42	フジテレビ／8	チバテレビ／46	テレビ朝日／10	テレ玉／38	テレビ東京／12
	八王子	NHK 総合／33		NHK 教育／29	日本テレビ／35	TOKYO MX／40	TBS テレビ／37		フジテレビ／31		テレビ朝日／45		テレビ東京／62
	多摩	NHK 総合／49		NHK 教育／47	日本テレビ／51	TOKYO MX／61	TBS テレビ／53		フジテレビ／55		テレビ朝日／57		テレビ東京／59
神奈川	横浜・川崎	NHK 総合／1		NHK 教育／3	日本テレビ／4	放送大学／16	TBS テレビ／6	tvk／42	フジテレビ／8	チバテレビ／46	テレビ朝日／10		テレビ東京／12
	横浜みなと	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54		TBS テレビ／56	tvk／48	フジテレビ／58	チバテレビ／46	テレビ朝日／60		テレビ東京／62
	平塚・茅ヶ崎	NHK 総合／33		NHK 教育／29	日本テレビ／35		TBS テレビ／37	tvk／31	フジテレビ／39		テレビ朝日／41		テレビ東京／43
	小田原	NHK 総合／52		NHK 教育／50	日本テレビ／54		TBS テレビ／56	tvk／46	フジテレビ／58		テレビ朝日／60		テレビ東京／62
	秦野	NHK 総合／47		NHK 教育／49	日本テレビ／51		TBS テレビ／53	tvk／61	フジテレビ／55		テレビ朝日／57		テレビ東京／59

表の見方

1	─ リモコン番号
NHK 総合／1	─ チャンネル名／受信チャンネル

選局の順番です。1 から 64 までが使用できます。

この表は 2009 年 6 月現在のものです。
※地上デジタル放送開始にともなう地上アナログ放送チャンネル移動の場合も、変更が必要です。

甲信越

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
新潟	新潟			UX 新潟テレビ 21 ／ 21	テレビ新潟／ 29	新潟放送／ 5			NHK 総合／ 8		新潟総合テレビ／ 35		NHK 教育／ 12
	上越	NHK 教育／ 1		NHK 総合／ 3			UX 新潟テレビ 21 ／ 37		テレビ新潟／ 27		新潟放送／ 10		新潟総合テレビ／ 33
山梨	甲府	NHK 総合／ 1		NHK 教育／ 3		山梨放送／ 5	テレビ山梨／ 37						
長野	長野（美ヶ原）		NHK 総合／ 2		長野朝日／ 20		テレビ信州／ 30			NHK 教育／ 9	長野放送／ 38	信越放送／ 11	
	長野（善光寺平）		NHK 総合／ 44		長野朝日／ 50		テレビ信州／ 40			NHK 教育／ 46	長野放送／ 42	信越放送／ 48	
	松本		NHK 総合／ 44		長野朝日／ 50		テレビ信州／ 48			NHK 教育／ 46	長野放送／ 42	信越放送／ 40	
	飯田			NHK 教育／ 3	NHK 総合／ 4		信越放送／ 6		テレビ信州／ 42		長野放送／ 40		長野朝日／ 44
	岡谷・諏訪	長野朝日／ 61			NHK 総合／ 4		信越放送／ 6		NHK 教育／ 8		テレビ信州／ 59		長野放送／ 47

中部

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
富山	富山	KNB テレビ／ 1		NHK 総合／ 3			チューリップテレビ／ 32				NHK 教育／ 10		富山テレビ／ 34
	高岡	KNB テレビ／ 50		NHK 総合／ 48			チューリップテレビ／ 42				NHK 教育／ 46		富山テレビ／ 44
石川	金沢				NHK 総合／ 4		北陸放送／ 6	北陸朝日／ 25	NHK 教育／ 8		テレビ金沢／ 33		石川テレビ／ 37
	七尾	テレビ金沢／ 57		北陸朝日／ 59		NHK 教育／ 5		石川テレビ／ 55		NHK 総合／ 9		北陸放送／ 11	
福井	福井			NHK 教育／ 3						NHK 総合／ 9		福井放送／ 11	福井テレビ／ 39
	敦賀						NHK 総合／ 6		福井放送／ 8		福井テレビ／ 38		NHK 教育／ 12
岐阜	岐阜	東海テレビ／ 1		NHK 総合／ 3		CBC テレビ／ 5	三重テレビ／ 33	テレビ愛知／ 25		NHK 教育／ 9	GBS ／ 37	メ～テレ／ 11	中京テレビ／ 35
	長良	東海テレビ／ 57		NHK 総合／ 53		CBC テレビ／ 55				NHK 教育／ 49	GBS ／ 61	メ～テレ／ 59	中京テレビ／ 47
	高山		NHK 教育／ 2	中京テレビ／ 26	NHK 総合／ 4		CBC テレビ／ 6		東海テレビ／ 8		GBS ／ 38		メ～テレ／ 12
	各務原	東海テレビ／ 1		NHK 総合／ 3		CBC テレビ／ 5				NHK 教育／ 9	GBS ／ 37	メ～テレ／ 11	中京テレビ／ 35
	中津川			中京テレビ／ 26	NHK 総合／ 4		メ～テレ／ 6		CBC テレビ／ 8		東海テレビ／ 10	GBS ／ 28	NHK 教育／ 12
静岡	静岡		NHK 教育／ 2		第一テレビ／ 31		あさひテレビ／ 33			NHK 総合／ 9		SBS ／ 11	テレビ静岡／ 35
	浜松		第一テレビ／ 30		NHK 総合／ 4		SBS ／ 6		NHK 教育／ 8		あさひテレビ／ 28		テレビ静岡／ 34
	三島・沼津		NHK 教育／ 51	第一テレビ／ 61		あさひテレビ／ 57		テレビ静岡／ 59		NHK 総合／ 53		SBS ／ 55	
	島田	NHK 総合／ 56		NHK 教育／ 54		SBS ／ 62		第一テレビ／ 48			あさひテレビ／ 50		テレビ静岡／ 58
	富士		NHK 教育／ 54	第一テレビ／ 27		あさひテレビ／ 29		テレビ静岡／ 39		NHK 総合／ 52		SBS ／ 41	
	藤枝	NHK 総合／ 42		NHK 教育／ 44		SBS ／ 40		第一テレビ／ 24			あさひテレビ／ 26		テレビ静岡／ 38
愛知	名古屋	東海テレビ／ 1		NHK 総合／ 3		CBC テレビ／ 5	三重テレビ／ 33	テレビ愛知／ 25		NHK 教育／ 9	GBS ／ 37	メ～テレ／ 11	中京テレビ／ 35
	豊橋	東海テレビ／ 56		NHK 総合／ 54		CBC テレビ／ 62	三重テレビ／ 33	テレビ愛知／ 52		NHK 教育／ 50	GBS ／ 37	メ～テレ／ 60	中京テレビ／ 58
	豊田	東海テレビ／ 57		NHK 総合／ 53		CBC テレビ／ 55	三重テレビ／ 33	テレビ愛知／ 49		NHK 教育／ 51	GBS ／ 37	メ～テレ／ 61	中京テレビ／ 59
三重	津	東海テレビ／ 1		NHK 総合／ 3		CBC テレビ／ 5	三重テレビ／ 33	テレビ愛知／ 25		NHK 教育／ 9	GBS ／ 37	メ～テレ／ 11	中京テレビ／ 35
	伊勢	東海テレビ／ 57		NHK 総合／ 53		CBC テレビ／ 55	三重テレビ／ 59	テレビ愛知／ 25		NHK 教育／ 49	GBS ／ 37	メ～テレ／ 61	中京テレビ／ 47
	名張	東海テレビ／ 62		NHK 総合／ 52		CBC テレビ／ 60	三重テレビ／ 58	テレビ愛知／ 25		NHK 教育／ 50	GBS ／ 37	メ～テレ／ 56	中京テレビ／ 54

近畿

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
滋賀	大津		NHK 総合／ 28		毎日テレビ／ 36		ABC テレビ／ 38	KBS 京都／ 34	関西テレビ／ 40	びわ湖放送／ 30	読売テレビ／ 42		NHK 教育／ 46
	彦根		NHK 総合／ 52		毎日テレビ／ 54		ABC テレビ／ 58		関西テレビ／ 60	びわ湖放送／ 56	読売テレビ／ 62		NHK 教育／ 50
京都	京都		NHK 総合／ 32	テレビ大阪／ 19	毎日テレビ／ 4		ABC テレビ／ 6	KBS 京都／ 34	関西テレビ／ 8		読売テレビ／ 10		NHK 教育／ 12
	山科		NHK 総合／ 52		毎日テレビ／ 54		ABC テレビ／ 56	KBS 京都／ 62	関西テレビ／ 58		読売テレビ／ 60		NHK 教育／ 50
	福知山		NHK 総合／ 50		毎日テレビ／ 54		ABC テレビ／ 58	KBS 京都／ 56	関西テレビ／ 60		読売テレビ／ 62		NHK 教育／ 52
	舞鶴		NHK 総合／ 51		毎日テレビ／ 53		ABC テレビ／ 55	KBS 京都／ 57	関西テレビ／ 59		読売テレビ／ 61		NHK 教育／ 49
大阪	大阪		NHK 総合／ 2	テレビ大阪／ 19	毎日テレビ／ 4	サンテレビ／ 36	ABC テレビ／ 6	KBS 京都／ 34	関西テレビ／ 8		読売テレビ／ 10		NHK 教育／ 12
兵庫	神戸		NHK 総合／ 28		毎日テレビ／ 31	テレビ大阪／ 19	ABC テレビ／ 41		関西テレビ／ 43	サンテレビ／ 36	読売テレビ／ 47		NHK 教育／ 45
	姫路		NHK 総合／ 50		毎日テレビ／ 54		ABC テレビ／ 58		関西テレビ／ 60	サンテレビ／ 56	読売テレビ／ 62		NHK 教育／ 52
	明石		NHK 総合／ 51		毎日テレビ／ 53	テレビ大阪／ 19	ABC テレビ／ 57		関西テレビ／ 59	サンテレビ／ 55	読売テレビ／ 61		NHK 教育／ 49
	川西		NHK 総合／ 29		毎日テレビ／ 35		ABC テレビ／ 37		関西テレビ／ 39	サンテレビ／ 33	読売テレビ／ 41		NHK 教育／ 31
	灘		NHK 総合／ 52		毎日テレビ／ 54	テレビ大阪／ 19	ABC テレビ／ 56		関西テレビ／ 58	サンテレビ／ 62	読売テレビ／ 60		NHK 教育／ 50
	長田		NHK 総合／ 44		毎日テレビ／ 38		ABC テレビ／ 40		関西テレビ／ 42	サンテレビ／ 34	読売テレビ／ 48		NHK 教育／ 46
	北淡・垂水		NHK 総合／ 51		毎日テレビ／ 53		ABC テレビ／ 57		関西テレビ／ 59	サンテレビ／ 55	読売テレビ／ 61		NHK 教育／ 49
	三木		NHK 総合／ 44		毎日テレビ／ 34		ABC テレビ／ 38		関西テレビ／ 40	サンテレビ／ 36	読売テレビ／ 42		NHK 教育／ 46
奈良	奈良		NHK 総合／ 2		毎日テレビ／ 4	KBS 京都／ 34	ABC テレビ／ 6		関西テレビ／ 8		読売テレビ／ 10	奈良テレビ／ 55	NHK 教育／ 12
	生駒		NHK 総合／ 2		毎日テレビ／ 4		ABC テレビ／ 6		関西テレビ／ 8		読売テレビ／ 10	奈良テレビ／ 26	NHK 教育／ 22
	五條		NHK 総合／ 43		毎日テレビ／ 33		ABC テレビ／ 35		関西テレビ／ 37		読売テレビ／ 39	奈良テレビ／ 41	NHK 教育／ 45
和歌山	和歌山		NHK 総合／ 32		毎日テレビ／ 42	テレビ和歌山／ 30	ABC テレビ／ 44		関西テレビ／ 46		読売テレビ／ 48		NHK 教育／ 25
	海南・田辺		NHK 総合／ 50		毎日テレビ／ 54	テレビ和歌山／ 56	ABC テレビ／ 58		関西テレビ／ 60		読売テレビ／ 62		NHK 教育／ 52
	新宮		NHK 総合／ 44		毎日テレビ／ 36	テレビ和歌山／ 34	ABC テレビ／ 38		関西テレビ／ 40		読売テレビ／ 42		NHK 教育／ 46

地域名と放送局一覧表・つづき

表の見方

1	— リモコン番号
NHK 総合／1	— チャンネル名／受信チャンネル

選局の順番です。1 から 64 までが使用できます。

中国

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
鳥取	鳥取	日本海テレビ／1		NHK 総合／3	NHK 教育／4						山陰放送／22		山陰中央テレビ／24
	米子			NHK 総合／42		NHK 教育／5			日本海テレビ／8		山陰放送／10		山陰中央テレビ／34
	倉吉	日本海テレビ／1		NHK 総合／3	NHK 教育／4				山陰中央テレビ／58		山陰放送／56		
島根	松江	日本海テレビ／30					NHK 総合／6		山陰中央テレビ／34		山陰放送／10		NHK 教育／12
	浜田		NHK 総合／2	日本海テレビ／54		山陰放送／5			山陰中央テレビ／58	NHK 教育／9			
岡山	岡山			NHK 教育／3		NHK 総合／5	テレビせとうち／23	瀬戸内海放送／25		西日本放送／9		山陽放送／11	岡山放送／35
	津山		NHK 総合／2		テレビせとうち／56		瀬戸内海放送／62	山陽放送／7		西日本放送／58		岡山放送／60	NHK 教育／12
	笠岡		NHK 総合／2		NHK 教育／4	テレビせとうち／19	山陽放送／6			西日本放送／17	瀬戸内海放送／21	岡山放送／60	
広島	広島	テレビ新広島／31		NHK 総合／3	中国放送／4			NHK 教育／7		広島ホームテレビ／35			広島テレビ／12
	福山	テレビ新広島／54		NHK 教育／3		NHK 総合／5		中国放送／7		広島ホームテレビ／57		広島テレビ／11	
	呉	NHK 教育／1		広島ホームテレビ／24		広島テレビ／5		テレビ新広島／26		中国放送／9		NHK 総合／11	
	尾道	NHK 総合／1		広島ホームテレビ／24		テレビ新広島／26		NHK 教育／7			中国放送／10		広島テレビ／12
山口	山口	NHK 教育／42					山口朝日放送／52	テレビ山口／49		NHK 総合／44		山口放送／46	
	下関	NHK 教育／41		TVQ ／23	山口放送／4		山口朝日放送／21	テレビ山口／33		NHK 総合／39	TNC ／10		FBS ／35
	宇部	NHK 教育／55					山口朝日放送／24	テレビ山口／44		NHK 総合／58	TNC ／10	山口放送／61	
	岩国	NHK 教育／1					山口朝日放送／28	テレビ山口／62		NHK 総合／9		山口放送／11	
	防府	NHK 教育／1					山口朝日放送／28	テレビ山口／38		NHK 総合／9		山口放送／11	

四国

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
徳島	徳島	四国放送／1		NHK 総合／3	毎日テレビ／4		ABC テレビ／6		関西テレビ／8		読売テレビ／10		NHK 教育／38
香川	高松			NHK 教育／39		NHK 総合／37	テレビせとうち／19	瀬戸内海放送／33		西日本放送／41		山陽放送／29	岡山放送／31
	丸亀			NHK 教育／40		NHK 総合／44	テレビせとうち／46	瀬戸内海放送／42		西日本放送／50		山陽放送／48	岡山放送／52
愛媛	松山		NHK 教育／2				NHK 総合／6		あいテレビ／29	EAT ／25	南海放送／10	広島ホームテレビ／35	テレビ愛媛／37
	今治		NHK 教育／30				NHK 総合／32		あいテレビ／27	EAT ／17	南海放送／34		テレビ愛媛／36
	新居浜		NHK 総合／2		NHK 教育／4		南海放送／6	EAT ／14	あいテレビ／27				テレビ愛媛／36
	宇和島	NHK 教育／1					NHK 総合／6		あいテレビ／25	EAT ／16	南海放送／10		テレビ愛媛／27
高知	高知				NHK 総合／4		NHK 教育／6		高知放送／8		テレビ高知／38		高知さんさんテレビ／40
	中村	NHK 総合／1		高知放送／3			テレビ高知／32		高知さんさんテレビ／14			NHK 教育／11	

九州・沖縄

都道府県	地域名	チャンネル名・受信チャンネルとリモコン番号											
		チャンネル名／受信 CH											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
福岡	福岡	KBC ／1		NHK 総合／3	RKB ／4	TVQ ／19	NHK 教育／6			TNC ／9			FBS ／37
	北九州		KBC ／2	FBS ／35		TVQ ／23	NHK 総合／6		RKB ／8		TNC ／10		NHK 教育／12
	久留米	KBC ／57		NHK 総合／46	RKB ／48	TVQ ／14	NHK 教育／54			TNC ／60			FBS ／52
	大牟田	KBC ／58		NHK 総合／53	RKB ／61	TVQ ／19	NHK 教育／50			TNC ／55			FBS ／43
	行橋		KBC ／57	FBS ／43		TVQ ／19	NHK 総合／49		RKB ／60		TNC ／54		NHK 教育／46
佐賀	佐賀		NHK 教育／40	FBS ／52	STS ／36	TVQ ／14	KBC ／57		RKB ／48	NHK 総合／38	TNC ／60	RKK ／11	
	伊万里	NHK 教育／44		FBS ／52	STS ／41	TVQ ／14	KBC ／57		RKB ／48	NHK 総合／51	TNC ／60	RKK ／11	
長崎	長崎	NHK 教育／1		NHK 総合／3		NBC ／5		KTN ／37		NCC ／27		NIB ／25	
	佐世保		NHK 教育／2				NCC ／31	KTN ／35	NHK 総合／8		NBC ／10	NIB ／17	
	諫早	NHK 教育／51		NHK 総合／59		NBC ／62		KTN ／39		NCC ／56		NIB ／32	
熊本	熊本		NHK 教育／2	KAB ／16	KKT ／22		TKU ／34			NHK 総合／9		RKK ／11	
	水俣	NHK 教育／1		KAB ／32	NHK 総合／4		RKK ／6		KKT ／36		TKU ／38		
大分	大分			NHK 総合／3		OBS ／5	OAB ／24	TOS ／36					NHK 教育／12
	中津			NHK 総合／48		OBS ／51	OAB ／17	TOS ／37					NHK 教育／45
	佐伯	NHK 教育／1				TOS ／49	OAB ／31	NHK 総合／7		OBS ／9			
宮崎	宮崎			UMK ／35					NHK 総合／8		MRT ／10		NHK 教育／12
	延岡		NHK 教育／2		NHK 総合／4		MRT ／6		UMK ／39				
鹿児島	鹿児島	MBC ／1		NHK 総合／3		NHK 教育／5		KKB ／32		KTS ／38		KYT ／30	
	鹿屋		NHK 教育／2		NHK 総合／4		MBC ／6		KKB ／31		KTS ／33		KYT ／25
	阿久根				KKB ／23		KTS ／35		NHK 総合／8		MBC ／10	KYT ／17	NHK 教育／12
沖縄	那覇		NHK 総合／2				QAB ／28		沖縄テレビ／8		琉球放送／10		NHK 教育／12

番組ナビ対応チャンネル名とCHコード一覧表

⇨「自動で地上アナログ放送のチャンネルを設定する」（61 ページ）で地域選択することで、自動的に以下のコードが設定されます。マンションのCATVシステムやアナアナ変換で受信チャンネルが変更になった場合など、設定を個別に変更するときには、以下のCHコードを参照してください。設定の変更は、⇨「番組表で表示するチャンネルを追加／変更する」（76 ページ）で行ないます。CHコードを入力すると自動的にチャンネル名が表示されます。

ADAMS 用 CH コード表（地上アナログ放送）

下記の「ADAMS」用の表は 2009 年 6 月現在のものです。CH コードは予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。※「iNET」用の CH コード一覧表は、http://www.rd-style.com/epg/ch/ch_map.htm からご確認ください。

	地域名	チャンネル名	CHコード
北海道	北海道（札幌）	NHK 総合	A800-131
		NHK 教育	A800-141
	北海道（函館）	NHK 総合	A800-132
		NHK 教育	A800-142
	北海道（旭川）	NHK 総合	A800-133
		NHK 教育	A800-143
	北海道（帯広）	NHK 総合	A800-134
		NHK 教育	A800-144
	北海道（釧路）	NHK 総合	A800-135
		NHK 教育	A800-145
	北海道（北見）	NHK 総合	A800-136
		NHK 教育	A800-146
	北海道（室蘭）	NHK 総合	A800-137
		NHK 教育	A800-147
	北海道	NHK 総合	A800-101
		NHK 教育	A800-102
		HBC	A800-104
		STV	A800-105
		UHB	A800-107
		HTB	A800-106
		TVH	A800-108

	地域名	チャンネル名	CHコード
東北	青森	NHK 総合	A800-236
		NHK 教育	A800-246
		青森放送	A800-204
		青森テレビ	A800-205
		青森朝日放送	A800-226
	秋田	NHK 総合	A800-232
		NHK 教育	A800-242
		秋田放送	A800-206
		秋田テレビ	A800-207
		秋田朝日放送	A800-229
	岩手	NHK 総合	A800-234
		NHK 教育	A800-244
		岩手朝日テレビ	A800-227
		テレビ岩手	A800-209
		IBC テレビ	A800-208
		めんこいテレビ	A800-225
	山形	NHK 総合	A800-233
		NHK 教育	A800-243
		山形放送	A800-210
		さくらんぼ	A800-228
		テレビユー山形	A800-224
		山形テレビ	A800-211
	宮城	NHK 総合	A800-231
		NHK 教育	A800-241
		TBC テレビ	A800-212
		仙台放送	A800-213
		ミヤギテレビ	A800-214
		東日本放送	A800-219
	福島	NHK 総合	A800-235
		NHK 教育	A800-245
		福島放送	A800-221
		福島中央テレビ	A800-216
		テレビユー福島	A800-223
		福島テレビ	A800-215

	地域名	チャンネル名	CHコード
関東	関東	NHK 総合	A800-031
		NHK 教育	A800-041
		日本テレビ	A800-004
		TBS テレビ	A800-005
		フジテレビ	A800-006
		テレビ朝日	A800-007
		テレビ東京	A800-008
		TOKYO MX	A800-016
		テレ玉	A800-012
		チバテレビ	A800-010
		TVK テレビ	A800-009
		群馬テレビ	A800-011
		とちぎテレビ	A800-018
		放送大学	A800-013

	地域名	チャンネル名	CHコード
甲信越	新潟	NHK 総合	A800-332
		NHK 教育	A800-342
		新潟放送	A800-217
		新潟総合テレビ	A800-218
		テレビ新潟	A800-220
		UX 新潟テレビ 21	A800-222
	長野	NHK 総合	A800-331
		NHK 教育	A800-341
		長野放送	A800-305
		長野朝日放送	A800-310
		テレビ信州	A800-308
		信越放送	A800-304
	山梨	NHK 総合	A800-333
		NHK 教育	A800-343
		YBS テレビ	A800-306
		テレビ山梨	A800-307

	地域名	チャンネル名	CHコード
中部	静岡	NHK 総合	A800-431
		NHK 教育	A800-441
		SBS テレビ	A800-408
		テレビ静岡	A800-409
		あさひテレビ	A800-418
		静岡第一テレビ	A800-419
	中部	NHK 総合	A800-432
		NHK 教育	A800-442
		東海テレビ	A800-406
		CBC テレビ	A800-405
		メ～テレ	A800-404
		中京テレビ	A800-407
		テレビ愛知	A800-420
		岐阜放送	A800-416
		三重テレビ	A800-417
	富山	NHK 総合	A800-439
		NHK 教育	A800-449
		チューリップ	A800-422
		KNB テレビ	A800-410
		富山テレビ	A800-411
	石川	NHK 総合	A800-437
		NHK 教育	A800-447
		石川テレビ	A800-413
		テレビ金沢	A800-429
		北陸朝日放送	A800-474
		MRO テレビ	A800-412
	福井	NHK 総合	A800-438
		NHK 教育	A800-448
		FBC テレビ	A800-414
		福井テレビ	A800-415

	地域名	チャンネル名	CHコード
近畿	関西（大阪）	NHK 総合	A800-531
		NHK 教育	A800-541
	関西（京都）	NHK 総合	A800-532
		NHK 教育	A800-542
	関西（神戸）	NHK 総合	A800-533
		NHK 教育	A800-543
	関西（奈良）	NHK 総合	A800-535
		NHK 教育	A800-545
	関西（大津）	NHK 総合	A800-536
		NHK 教育	A800-546
	関西（和歌山）	NHK 総合	A800-534
		NHK 教育	A800-544
	関西	NHK 総合	A800-501
		NHK 教育	A800-502
		毎日放送	A800-504
		ABC テレビ	A800-505
		関西テレビ	A800-506
		読売テレビ	A800-507
		テレビ大阪	A800-513
		京都テレビ	A800-508
		サンテレビ	A800-509
		奈良テレビ	A800-511
		テレビ和歌山	A800-510
		びわ湖放送	A800-512

	地域名	チャンネル名	CHコード
中国	岡山	NHK 総合	A800-632
		NHK 教育	A800-642
		山陽放送	A800-607
		OHK テレビ	A800-608
		テレビせとうち	A800-615
	広島	NHK 総合	A800-631
		NHK 教育	A800-641
		RCC	A800-609
		広島テレビ	A800-610
		TSS テレビ	A800-612
		広島ホーム	A800-611
	鳥取	NHK 総合	A800-633
		NHK 教育	A800-643
		日本海テレビ	A800-604
		BSS 山陰放送	A800-605
	島根	NHK 総合	A800-634
		NHK 教育	A800-644
		山陰中央テレビ	A800-606
	山口	NHK 総合	A800-635
		NHK 教育	A800-645
		KRY	A800-613
		TYS	A800-614
		YAB	A800-623

	地域名	チャンネル名	CHコード
四国	香川	NHK 総合	A800-734
		NHK 教育	A800-744
		西日本テレビ	A800-707
		瀬戸内海放送	A800-708
	徳島	NHK 総合	A800-733
		NHK 教育	A800-743
		四国放送	A800-704
	愛媛	NHK 総合	A800-731
		NHK 教育	A800-741
		南海テレビ	A800-709
		テレビ愛媛	A800-710
		あいテレビ	A800-715
		愛媛朝日テレビ	A800-716
	高知	NHK 総合	A800-732
		NHK 教育	A800-742
		さんさんテレビ	A800-718
		テレビ高知	A800-706
		高知放送	A800-705

	地域名	チャンネル名	CHコード
九州・沖縄	福岡（北九州）	NHK 総合	A800-831
		NHK 教育	A800-841
	福岡	NHK 総合	A800-832
		NHK 教育	A800-842
		KBC	A800-808
		RKB	A800-807
		TNC	A800-806
		FBS	A800-809
		TVQ	A800-830
	佐賀	NHK 総合	A800-838
		NHK 教育	A800-848
		STS	A800-812
	鹿児島	NHK 総合	A800-835
		NHK 教育	A800-845
		MBC	A800-817
		KTS	A800-818
		KKB	A800-822
		KYT	A800-879
	宮崎	NHK 総合	A800-836
		NHK 教育	A800-846
		MRT	A800-815
		UMK	A800-816
	大分	NHK 総合	A800-837
		NHK 教育	A800-847
		TOS	A800-805
		OAB	A800-876
		OBS	A800-804
	熊本	NHK 総合	A800-833
		NHK 教育	A800-843
		RKK	A800-813
		KAB	A800-828
		KKT	A800-821
		TKU	A800-814
	長崎	NHK 総合	A800-834
		NHK 教育	A800-844
		NIB	A800-878
		NCC	A800-829
		KTN	A800-811
		NBC	A800-810
	沖縄	NHK 総合	A800-839
		NHK 教育	A800-849
		琉球放送	A800-819
		沖縄テレビ	A800-820
		琉球朝日放送	A800-840

■ BS アナログ

BS 局	チャンネル名	CHコード
BS アナログ	衛星第 1	B800-003
	衛星第 2	B800-014
	WOWOW	B800-017
	ハイビジョン	B800-920

お知らせ

- ADAMS の番組データは、テレビ朝日系列から送信されています。テレビ朝日系列を受信できない地域では、ADAMS による番組データ提供サービスを利用することができません。
- テレビ朝日系列放送局（2009 年 6 月現在）：北海道テレビ放送（HTB）、青森朝日放送、岩手朝日テレビ、東日本放送、秋田朝日放送、山形テレビ、福島放送、テレビ朝日、UX 新潟テレビ 21、長野朝日放送、あさひテレビ、北陸朝日放送、メ～テレ、朝日放送（ABC テレビ）、広島ホームテレビ、山口朝日放送（YAB）、瀬戸内海放送、愛媛朝日テレビ、九州朝日放送（KBC）、長崎文化放送（NCC）、熊本朝日放送（KAB）、大分朝日放送（OAB）、鹿児島放送、琉球朝日放送
- ADAMS による番組データの提供は、2009 年 6 月現在、通常当日を含めて 8 日分です。（ただし一部局は 7 日分や 2 日分の場合があります。）
- ADAMS による番組データ提供サービスで番組データが提供される放送局や番組データの提供日数は、将来変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ADAMS による番組データ提供サービスは、将来地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行に伴い、2011 年までに中止や廃止となります。あらかじめご了承ください。

番組ナビ対応チャンネル名とCHコード一覧表・つづき

iNET用CHコード表について

⇨スカパー！チューナーを本機に接続して、本機の番組表にスカパー！のチャンネルも表示させたいときに必要な情報です。iNET の CH コードは、http://www.rd-style.com/epg/ch/ch_map.htm からご確認ください。

■スカパー！チャンネル

スカパー！チューナーを本機に接続しているときに番組表をお使いになるときは、CH コードの設定が必要です。

以下の iNET 用 CH コード設定例を参考にしてください。

※ 110 度 CS デジタル放送のスカパー！ e2 ではなく、従来からのスカパー！の受信チャンネル番号を登録してください。

例

スカパー！のチャンネル名	ch 番号	CH コード
CLUB スカパー！ TV	ch 200	C100-200

上記の例のように、CH コードの C100- の次には 3 けたの ch 番号を設定します。

スカパー！のチャンネル名と ch 番号に関しては、以下のホームページをご覧ください。

http://www.skyperfectv.co.jp/info_ch/channel/

（2009 年 6 月現在。アドレスは予告なく変更になる場合があります。
最新のアドレスは、http://www.rd-style.com/epg/ch/ch_sky.htm をご覧ください。）

お知らせ

- スカパー！ 番組表データは、DEPG サービスとは提供元が異なるため、番組表データのみのサービスとなります。従って、番組検索、人名リストによる検索はできないほか、お気に入り番組リストの表示にも制限があります。
- また、暫定サービスのため、動作・内容の保証はしておりません。お問い合せやカスタマーサポートはサービスの対象外となります。
- 放送局側の契約や意向により、一部チャンネルの情報が提供されない場合があります。

言語コード表

記号	言語名
ーーー	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語

記号	言語名
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	エスキモー語
IN/ID	インドネシア語

記号	言語名
IS	アイスランド語
IW/HE	ヘブライ語
JI/YI	イディッシュ語
JW/JV	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語

記号	言語名
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語

記号	言語名
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス
http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/contact

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発または作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント **原文**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox iptables	Exhibit A
glibc gcc	Exhibit B
ppxp	Exhibit C

対応ソフトウェアモジュール	
malloc	Exhibit D
libupnp	Exhibit E
pMON	その他

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

ExhibitA

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless
that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4.You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6.Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7.If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ExhibitB

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. Toachieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely welldefined independent of the application.

Therefore, Subsection 2d requires that any applicationsupplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8.You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10.Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library”, the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11.If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990

Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

ExhibitC

●利用と配布

Copyright (c) 1997, 1998, 1999 The PPxP Development Team, All rights reserved.

以下の条件が満たされる限り、変更の有無に関係なくソースおよびバイナリ形式での再配布と利用を許可します：

ソースコードの再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項がそのまま含まれていなければなりません。バイナリ形式の再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項が配布に含まれている文章、もしくはその他の資料にそのまま含まれていなければなりません。

このソフトウェアの機能や利用方法について記述されている全ての宣伝資料には以下の文章を記載して下さい：

この製品には PPxP 開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

事前承諾なしにこのソフトウェアから派生した製品の推奨や宣伝のためにこのチームや賛同者達の名前を利用することはできません。

●免責

PPxP 開発チームが提供しているのはソフトウェアそのもののみであり、保証や責任などを提供しているわけではありません。このソフトウェアを導入したり、利用したりすることにより、あるいは何もしないことによって生じたいかなる問題についてもこのチーム、そのメンバー、テスター、および本ソフトウェア内に名前が記載されている者が責任を負うことはありません。

ExhibitD

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain.

Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints,

performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c

Check before installing!

ExhibitE

under an open source software distribution license in 2000.

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。

※この製品には PPxP 開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

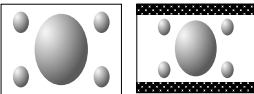
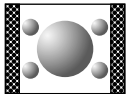
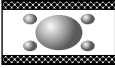
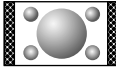
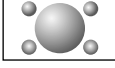
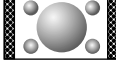
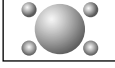
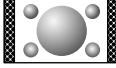
※この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、および変更することは禁止されています。ただし、LGPL が適用されるソフトウェアについては、お客様ご自身の個人的使用のための改変にかかるデバッグのためである場合は、この限りではありません。

アスペクト比（画面比）について

アスペクト比とは、映像を構成する画面（映像）サイズの幅と高さの比で、4:3 放送とワイド放送（スクィーズ放送、レターボックス放送）があります。放送の収録時にはこれらの異なるアスペクト比の素材が存在し、テレビ側でこのアスペクト比を変換して表示しています。

表のイラストについて

例）（△）ー 該当の TV 画面形状設定を行なったときの、問題あり／なしを表します。
（○）：画面に映像が正しく表示されます。
（△）：設定自体は間違いではないが、最適ではない状態です。
（×）：画面に映像が正しく表示されません。

お使いのテレビと本機の設定 ＼ 放送で送られてくる映像の種類			1 4：3 放送（通常放送） 通常は 4:3 または「ノーマル」と呼ばれています。 （地上アナログ、CATV（ライン入力）、スカパー！（ライン入力）、地上デジタル、110 度 CS デジタル、BS デジタル）	2 ワイド放送（レターボックス放送） ハイビジョンやワイドサイズで撮影した映像を、DVD や LD、一部のビデオソフトに編集する際に上下に黒い帯を入れることによってノートリミングで収録したものです。 （地上アナログ、CATV（ライン入力）、スカパー！（ライン入力）、地上デジタル、110 度 CS デジタル、BS デジタル）
お使いのテレビ 画面比 4：3 テレビ	本機のTV画面形状設定	4：3LB（推奨設定）	（○）正常	（○）正常
		4：3 ノーマル	（○）正常	（○）正常
		16：9 ワイド	（○）正常	（×）映像が縦伸びする（（○）放送によっては、このように表示される場合があります。）
		16：9 シュリンク	（×）映像が縦伸びする	（×）映像が縦伸びする（（×）放送によっては、このように表示される場合があります。）
お使いのテレビ 画面比 16：9 テレビ ※テレビを「フル」に設定していることを前提として説明しています。	本機のTV画面形状設定	4：3LB	（×）映像が横伸びする	（×）映像が横伸びする
		4：3 ノーマル	（×）映像が横伸びする	（×）映像が横伸びする
		16：9 ワイド	（×）映像が横伸びする テレビ側の設定を「ノーマル」にしてください。	（○）正常（（×）放送によっては、このように表示される場合があります。）
		16：9 シュリンク（推奨設定）	（○）正常	（○）正常（（△）放送によっては、このように表示される場合があります。）
		16：9 シュリンク（テレビ側が「ズーム」の時）	（×）映像が画面内にはいりきらない	（○）正常※ ワイド放送（レターボックス放送）のときは、テレビ側の設定をフルからズームに変更することをおすすめします。

- 「フル」、「ズーム」、「ワイド」、「ノーマル」などのモードの呼びかたはテレビによって異なる場合があります。
- 詳しくはお使いになるテレビの取扱説明書をご覧ください。

※ご使用のテレビによっては『解像度切換』で、480i（D1）または 480p（D2）を選んでいるときのみ、「ズーム」や「フル」などの切り換えが可能な場合があります。

●アスペクト比(画面比)に関する注意点について

- 録画する際は、放送に含まれるスクィーズ情報に応じて GOP と呼ばれる約 0.5 秒単位ごとに 4:3 か 16:9 であるという区別を書き込んでいます。
- デジタル放送などはスクィーズ放送が多数あり、一部チャンネルでは番組直前の宣伝と番組で 4:3 と 16:9 が切り換わることがあります。
- VR フォーマットで録画する場合、放送側でこの情報が切り換わっても、約 0.5 秒の単位内と続く約 1 秒は先に来た情報で記録され、実際の映像と異なる場合がありますが異なる画面比を混在して記録することができます。
- 「DVD-Video 作成」をする場合は、「チャプター編集」画面内の「画面比」の項目を見ながら混在しないようにチャプターを分割してからパーツ登録をするか、「DVD-Video 作成」の「画面比設定」で「4:3 固定」か「16:9 固定」を設定してください。いずれの場合でも、通常の 4:3 放送で上下に黒い帯がはいる場合は、ワイドではなく、単なる 4:3 放送ですので、「16:9 固定」に設定しないでください。

（網掛け）：放送で送られてくる映像に足される黒い帯を表します。

（黒）：本機の「TV 画面形状設定」に従って足される黒い帯を表します。

3 スクィーズ方式ワイド放送（レターボックスの場合もあります）	4 スクィーズ方式ワイド放送（4:3 サイドパネル付）
16:9 のワイド映像を放送時に左右方向を縮めてほぼ 4：3 の比率で放送し、受信したワイドテレビ側で引き伸ばすことで 16：9 を復元します。（CATV（ライン入力）、スカパー！（ライン入力）、地上デジタル、110 度 CS デジタル、BS デジタル）	スクィーズ放送ですが、4:3 の映像の左右にサイドパネルを付けて放送することで、受信したワイドテレビでフル表示しても 4：3 の映像が表示されます。（地上デジタル、110 度 CS デジタル、BS デジタル）
(○) 正常 (△) 放送によっては、このように表示される場合があります。	(○) 正常 (×) 放送によっては、このように表示される場合があります。
(○) 正常 (△) 放送によっては、このように表示される場合があります。	(○) 正常 (×) 放送によっては、このように表示される場合があります。
(×) 映像が縦伸びする	(×) 映像が縦伸びする
(×) 映像が縦伸びする	(×) 映像が縦伸びする
(×) 映像が横伸びする	(×) 映像が横伸びする (○) 放送によっては、このように表示される場合があります。
(×) 映像の左右部分が切れる	(○) 正常 (×) 放送によっては、このように表示される場合があります。
(○) 正常	(○) 正常
(○) 正常	(○) 正常
(×) 映像が画面内にはいりきらない	(×) 映像が画面内にはいりきらない

ご注意と参考資料

お知らせ

- 画面比が4：3テレビでワイド放送（スクィーズ）の映像をみたとき、本機の設定が「4：3LB」にもかかわらず、画面が縦長につぶれたように見えるときは、録画時に正しくスクィーズ信号が記録されていないことになります。S1出力対応の外部チューナー端子から、本機のS1対応の入力端子に接続されているかどうかご確認ください。
- 市販のDVDビデオディスク再生時は、設定に関わらず、4:3ノーマルでも、4:3LBとして表示されることがあります。
- 放送内容や再生するタイトルによっては、この表のとおりに映像が表示されない場合があります。

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（別添）

・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

・当社は、ハイビジョンレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
・補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
・修理のために取りはずした部品は、弊社で引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持込修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	ハイビジョンレコーダー
形名	RD-S1004K または RD-S304K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　　）　―

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

東芝 DVD インフォメーションセンター

フリーダイヤル **0120-96-3755**
受付時間：365日　9:00～20:00

携帯電話からのご利用は
ナビダイヤル 0570-00-3755（通話料：有料）

PHS や IP 電話などからのご利用は
03-6830-1855（通話料：有料）

・「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝　デジタルプロダクツ＆サービス社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

■新商品などの商品選びや、お買い上げ後の基本的な取扱方法および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については裏表紙をご覧ください。

B-CAS カード ID 番号記入欄

●下欄に B-CAS カードの ID 番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

商品のお問い合わせに関して

― 商品選びのご相談や、お買いあげ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談 ―

・新製品などの商品選びのご相談
・各種ケーブルの接続などのご相談
・リモコン設定／時刻合わせ等の基本的な設定
・内蔵チューナーのチャンネル設定
・電子番組表の設定
・録画／再生／削除などの基本操作
・表示窓に「ER XXXX」などが表示されたとき

注）ネットワーク接続設定を除きます。

上記についてのお問い合わせは

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は） フリーダイヤル（通話料：無料） **0120-96-3755**

（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は） ナビダイヤル（通話料：有料） **0570-00-3755**

（PHS や IP 電話からのご利用は） （通話料：有料） **03-6830-1855**

（FAX） （有料） **03-3258-0470**

受付時間：365 日　9:00 ～ 20:00

― 本機に関する編集やネットワークなどの高度な取扱方法 ―

・ネットワークに関してのご相談
・録画／編集などの高度な操作について
・その他の RD ／ AK シリーズの機能に関してのご相談

上記についてのお問い合わせは

『RD シリーズサポートダイヤル』

ナビダイヤル（通話料：有料） **0570-00-0233**

（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

受付時間：365 日　9:00 ～ 18:00（12:30 ～ 13:30 は休止）

■ホームページ上によくあるお問い合わせ情報を掲載しておりますのでご利用ください。
また、番組データ提供に関する情報、メンテナンス情報やトラブル情報につきましても、お問い合わせの前に、以下のホームページをご確認ください。
『http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/』

●「東芝 DVD インフォメーションセンター」「RD シリーズサポートダイヤル」は株式会社東芝　デジタルプロダクツ＆サービス社が運営しております。
●お客様の個人情報は、「東芝個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
●お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
●東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

★長年ご使用のハイビジョン レコーダーの点検を！

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● 電源コード、プラグが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	お願い	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝
デジタルプロダクツ＆サービス社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓓ GX1D00006185